機械設備工事特記仕様書

1. 工事種目（●印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 工事種目	工事種別			
	西病棟			
● 空気調和設備	一式			
● 換気設備	一式			
● 排煙設備	一式			
● 自動制御設備	一式			
● 衛生器具設備	一式			
● 給水設備	一式			
● 排水設備	一式			
● 給湯設備	一式			
● 消火設備	一式			
○ ガス設備				
○ 排水処理設備				
● 医療ガス設備	一式			
○ 厨房機器設備				
○ 浄化槽設備				
○ ＲＩ排水処理・監視設備				
○ ○○設備				

2. 指定部分　　○無　　○有（　　工期：令和　　年　　月　　日）

3. 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版、同公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版及び、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版による。
電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版及び国土交通大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版により、建築工事は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。
但し耐震に関する基準は建設住宅局建築指導課監修の『建築設備・昇降機耐震診断基準及び改修指針』（1996年版）及び同上監修の『建築設備耐震設計・施工指針』（2014年版）による。
工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック　建築設備編」によるほか、監督員の指示による。

4. CADデータの受け渡し
（1）CADデータの利用については、利用目的を明確化し、目的外の利用及び第三者への譲渡・転貸を禁止する。
（2）CADデータの受け渡しには、それぞれ著作権の所有を明示し、契約書を取り交わす。
・ Auto CAD　ファイル形式（DWG・LT2013以上）
・ DXFファイル方式（R14J以上）
・ DRA-CAD
・ 協議による

5. 特記仕様書
（1）特記仕様書記載事項の中で、設計内容に該当しないものは除外する。
（2）章は●印を適用し、○印のものは適用しない。
（3）項目の番号に○印のついたものを適用する。
（4）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、＊印の付いたものを適用する。
＊印と⊙印の付いた場合は、ともに適用する。
・印のものは、適用しない。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	①監督職員の読み替え	標準仕様書にある「監督職員」は、契約書に規定する監督職員とする。 本文「1.1.2用語の定義」は、下記に読み替える。 1.1.2 用語の定義(1)　「監督職員」とは、契約書に規定する、監督職員をいい、請負者に通知された総括監督員、主任監督員及び監督員を総称していう。
	②官公庁への手続	本工事に必要な関係法令に基づく官公署への他への手続は、全て受注者等が行う。
	③申請・検査手続への協力	発注者が行う、建築基準法に基づく計画変更申請・中間検査・完了検査（許可・確認申請等を含む）、その他建築関係法令に基づく申請・検査、および各種補助金等にかかわる申請・検査等に必要な手続き・資料作成（申請書・図面・積算書等）に協力すること。
	④完了検査等手数料	建築基準法に基づく計画変更申請・中間検査・完了検査等（許可・認定申請等を含む）の手数料負担者（請負者の希望による設計変更に起因する計画変更申請を除く） ＊発注者　　・請負者
	5 昇降機確認申請	昇降機の確認申請は、昇降機設備専門業者が建築主の代理者として行い、申請およびこれにかかわる検査に要する費用は、請負者の負担とする。
	⑥工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ（CORINZ）への登録	＊登録する　　・登録しない
	⑦設計図書等の取扱い	請負者は、設計図書に示された情報をもとに、製造者などの特定を経て、工程や下地などを考慮のうえ、責任を持って生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。
	⑧他工事との取合	＊工事区分表に示すものとする。 ＊設備機器類の位置、取り合いなどの検討が出来る図面を作成して、監督職員の承諾を受ける。図面の縮尺は1/50程度とする。
	⑨軽微な変更	現場の納り及び取合いなどから生じる、材料の寸法、形状、数量等の軽微な変更については、請負金額の範囲内で処理する。
	⑩設計変更	建築主の希望により、標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）に該当しない設計変更、追加工事を委嘱された時には、あらかじめ見積書を提出して監督職員の承諾を受けた上で工事に着手する。 この場合は特約のない限り各工事種目共、契約時の単価により監督職員の承諾する数量で請負金額の増減を行い、総合仮設及び経費については契約時の率にて増減する。
	⑪特許に関する注意	材料、機構または工法等が、第三者の所有する特許に触れる場合は、あらかじめその権利の使用に対する必要な手続きを完了した後、請負者の費用負担として、これを採用する。決してその権利を侵害するような行為をしてはならない。万一、その特許権を侵害するような事態が生じた場合はその動機の故意と不注意のいかんにかかわらず、請負者は自己の負担で、これを解決しなければならない。
	⑫施工図等	工事の施工上、監督職員の承諾を必要とする製作図(以下「施工図」等)は受注者等が遅滞なく作成し、監督職員はこれを照査の上、受理印を押印して返却する。 なお、返却後1週間以内に監督職員が書面をもって異議の申し立てを行わない場合には施工図等は承諾されたものとみなし、受注者等はその施工図等に基づいて工事を行う事ができる。施工にあたり別途関連工事の受注者等と協力して総合図を作成し、監督職員の承諾を得ること。
	⑬工事報告	＊工事月報（月末締、工事写真及び工事出来高表等添付）3部を監督職員の指示により作成し提出する。（提出は月初め5日までとする） ・ 工事半月報を提出する。
	⑭主任技術者等	下記資格を証明する資料を監督職員に提出する。 資格の区分1） （イ）建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）技術士法（昭和58年法律第25号）による第二試験のうち、技術部門を機械部門（選択科目を「流体機械」又は「暖冷房及び冷凍機械」とするものに限る。）、水道部門又は衛生工学部門に合格した者 資格の区分2） （イ）技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 （ロ）資格の区分1）の資格を有する者
	⑮電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ⊙要　・不要
	⑯技能士の適用	＊配管施工（配管工事）　＊建築板金施工（ダクト製作および取付け） ＊熱絶縁施工（保温工事）　＊冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の据付）
	⑰災害防止	作業場の内外を問わず、工事実施にともなう危険防止・騒音防止・火災防止・風水害防止等のため、建築基準法・労働基準法・消防法・電気工作物規則その他関係法規に従って、常に遺漏のないよう適切な方策を講ずる。他に損害を与えた場合は、請負者はその責を負わなければならない。
	⑱火災保険	本工事の物件に対する火災保険は、工事請負契約約款記載の該当事項によるが、請負者はあらかじめ火災保険の契約内容について、監督職員の同意を得なければならない。
	⑲発生材の処理	＊ 構外搬出適切処理 ・現場にて再利用を図るもの　（　　） ・引き渡しを要するもの　（　　） ・再資源化を図るもの　（　　） ・ 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は以下の内容とする。 種類（　　）　処理方法（　　）
	⑳支給材料	支給材料の引き渡しを受ける場合は、原則として監督職員立合いのうえ検査し、検査後はその保管を行う。
	㉑機材等	＊ 設備機材等は設計図書指定による。設計図書指定のない場合は（社）公共建築協会の定める「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質性能を有することの評価を受けたものを使用する。この場合評価書の写しを監督職員へ提出し、承諾を受ける。 ＊ 別表－1に機材等名が記載された製造業者等は次の1)から6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3）安定的な供給が可能であること。 4）法令等で定められある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものにあってはシステムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。
	㉒見本の提出	設計図書に定められた各材料ごとに、複数種の見本を提出し、材質、仕上げの程度、色、柄等について監督職員の指示を受ける。
	23 見本施工	特に見本施工を要するもの ・モックアップルーム 施工前にモックアップルームを作成し、建築主、施設利用者、監督員、受注者立会いのもと、使用材料、納まり、寸法、建具、家具、電気・空調・衛生設備等の検討確認を行い施工を行うこと。モックアップルームには本工事に含まれる家具、造作の他、電気、空調、衛生設備機器を仮設置する。 作成範囲：xxxxx 設置場所：xxxxx 設置期間：xxxxx
	㉔特定建設資材の再資源化等について	＊本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成２６年６月４日法律第５５号改正）の対象建設工事であり、分別解体、特定建設資材の再資源化等について適切な処理を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議する。分別解体・再資源化等の完了時に、以下の事項を書面にて監督職員に報告する。 ① 再資源化等が完了した年月日 ② 再資源化等をした施設の名称及び住所 ③ 再資源化等に要した費用 1）分別解体の方法 工程：・新築・増築・⊙修繕・模様替 作業内容：建築設備工事　⊙あり　・なし 分別解体の方法：＊手作業,機械作業併用　・手作業 2）特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設 特定建設資材廃棄物の種類：・コンクリート　・コンクリート及び鉄から成る建設資材　・木材　・アスファルト,コンクリート 再資源化等をする施設の名称：xxxxx 所在地：xxxxx
		＊ 本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、工事完了時に同計画書の実施報告書（書式は同一）を作成し、監督職員に提出する。
	㉕完成写真	＊ 建築工事特記仕様書による。
	㉖完成図（建築図参照）	完成図書は竣工検査時に提出すること。また部分完成・仮使用の場合はその検査毎に提出すること。ただし、最終の検査時には全ての完成図書を合せて提出すること。 ただし、製本された完成図の提出期日は下記による。 ＊竣工検査より14日以内 ・監督職員の指示する期日（○○より***日以内） （1）完成図等は下記設計図書を最終の状態に訂正の上、提出する。 ＊全ての設計図書、確認申請平面図（区画図カラー刷り）その他監督職員の指示による。 （2）完成図の提出は、下記の仕様による。 ＊CADデータ：AutoCADデータ（・およびJW_CADデータ）およびDXFデータをDVD-Rにて xx 部提出。 ＊PDFデータ：解像度を600dpiとし、オリジナルCADデータより直接書き出したもの（ただし表紙のみ施工者の押印したものをスキャニング）をDVD-Rにて xx 部提出。 ・原図　：a。による訂正完成原図一式（A1サイズとする） ・マイクロフィルム　：3.5mmフィルムを使用し、リストを付けロールにて1部提出。（監督職員の指定する業者にて作成の事。） （3）製本の表紙は工事名称、竣工年月、建築主、設計、監理、施工者名の文字入りとする。 ＊A3版縮小図（黒表紙、白焼、確認申請平面図の区画図はカラー刷り）xx 部（監督職員の指定する体裁とする事） （複写図・白焼） ・A1版見開き製本（複写図・白焼）2 部　・A1版見開き製本（青図）2 部 ・A3版縮小見開き製本（複写図・白焼）5 部　・A3版縮小見開き製本（青図）5部 ・A4版又は85版製本（黒表紙金文字入原紙大青図折込）1 部 ・監督職員の指示による図面（施工図・製作図等）のA1版見開き製本(青図)　部 （4）国土交通省「営繕工事電子納品要領」に準じる電子成果品について。 ・必要　・不要 （5）監督職員の指定する施工図、製作図、総合図等のAutoCAD（又はDXF）データ及びPDFデータをDVD-Rにて 2 部提出。
	㉗完成時提出書類	完成写真、完成図とは別に下記書類を合本又はファイリングの上、2部提出する。 （1）工事概要　（2）竣工引渡し書類目次　（3）竣工届　（4）竣工引渡書　（5）受領書 （6）鍵引渡書・鍵リスト（7）鍵受領書　（8）備品引渡書・備品明細書　（9）備品受領書 （10）工事監理報告書（建築士法第20条第3項）　（11）官公署提出書類一覧 （12）確認(計画)通知書(及び写し),官公署届出書類一式(及び写し),各種検査済証（及び写し） （13）保証書一覧表　（14）保証書　（15）受注者等の竣工後の連絡先 （16）協力業者一覧表　（17）メーカーリスト　（18）設計監理者竣工検査報告書 （19）発注者竣工検査報告書　（20）残工事リスト　（21）引渡し時の各メーカー読み結果一覧表 （22）地中残置物記録 （23）保全に関する資料 ・建築物等の利用に関する説明書　・機器取扱い説明書　・機器性能試験報告書 ・建築物等の利用に関する説明書作成は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」（国土交通省　平成28年11月版）による。 ＊建築主への説明を実施すること。 ・保全マニュアル　・長期修繕計画書 （24）計算書（現場変更対応済みのもの）（PDF・元データ）
	㉘著作権	設計者が創造するデザインや建物は著作権法で保護されており、主に建物及び図面については設計者が著作権を有する。建物引き渡し後もその著作権は設計者が有する。
	㉙仮使用	本工事に伴い、施工建物または、既設建物部分に仮使用の発生が生じる場合、請負者は監督職員の指示に従い安全計画書を作成し必要な措置を講ずるものとする。
	㉚竣工後検査	工事目的物を建築主へ引き渡したのち、工事請負契約書に定める契約不適合責任期間内に、工事目的物について、調査を行う。
	㉛場外検査立会い	＊別表-1による。
	32 監督職員事務所（機械設備単独発注の場合）	＊設けない　・設ける（・20㎡程度　・35㎡程度　・　程度）
	33 監督職員事務所の備品など（機械設備単独発注の場合）	イ）監督職員事務所には次の備品を置くこと。数量は監督職員の指示による。 ・曇敷の更衣室　・便所　＊流し　＊冷暖房設備　＊電話　＊机×xx　＊いす×xx ＊会議テーブル　＊書棚　＊見本棚　＊図面架　＊ロッカー×〇 ・A3カラー複合機（プリンター、コピー、スキャナー、ファックス機能付き） ・A1カラープリンター（請負者と兼用可） OA機器のメンテナンス、消耗品、雑材費を含む。 ＊ゴム長靴　＊雨がっぱ　＊墜落制止用器具　＊安全靴　＊防寒着（左記 xx 人分） ＊白板　・製図板　・デジタルカメラ　・携帯灯具　・冷蔵庫　・電子レンジ　・電気ポット ＊掛時計　＊各種文房具 ＊その他監督職員の指示するもの ロ）監督員事務所には次のOA機器を備えること。 ＊パソコン一式 xx セット（・うち xx セットはノートパソコンとする） OS　：＊Windows 11 Professional 64bit CPU　：＊Core i5 以上　・Core i7 以上 メモリ：＊8GB以上　・16GB以上 HDD　：＊500GB 以上　・1TB 以上 光学ドライブ：＊DVDスーパーマルチドライブ ディスプレイ：（デスクトップ型）＊21インチ FHD 以上（ノート型）・15インチ FHD 以上　・17インチ FHD 以上 グラフィック性能　＊導入するソフトのメーカー標準動作性能を満たすもの その他：・その他監督員の指示するもの ＊ソフト（バージョン等は監督員の指示によるが、基本的に最新バージョンとする） ・Outlook　＊Word　＊Excel　・PowerPoint ・AutoCAD　＊AutoCAD LT　・Vectorworks　・Revit　・GLOOBE ＊Acrobat Standard　・Photoshop　・Illustrator ＊セキュリティ（ウイルス）対策ソフト（McAfee VirusScan Enterprise 同等程度） ＊その他監督員の指示するもの ＊ネットワーク ＊インターネット回線への接続（光回線）（プロバイダー及び回線使用料を含む） ＊適切なセキュリティを確保できるネットワーク構成とすること
● 共通工事	①工事用水	構内既存の施設　＊利用出来ない　・利用出来る（＊有償　・無償）
	②工事用電力	構内既存の施設　＊利用出来ない　・利用出来る（＊有償　・無償） 本受電から引き渡しまでの使用料金　基本料金　＊請負者　・発注者 使用料金　＊請負者　・発注者
	③工事用仮設物	構内につくることが　＊できる　・できない
	④足場・さん橋類	＊別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・上記以外に必要な足場等は本工事で設置とする。 ・改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。 ・内部仮設足場等（・　種　・　種） ・外部仮設足場等（・　種　・　種）
	5 建設発生土の処理	＊建設発生土（残土）は、場外搬出（適正処分）とする。 ・監督職員が指示する構内の場所に敷ならしとする。
	6 埋め戻し土・盛土	＊山砂の類　・根切り土の中の良質土
	7 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは監督員と協議の上決定する。
	⑧機材の承諾図	国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の機械設備工事機材承諾図様式集（令和4年版）　によるほか、監督職員の指示による。
	⑨電源周波数	・50Hz　・60Hz
	⑩容量等の表示	＊機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 ＊電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
	11 建築物導入部の変位吸収方法	配管の建築物導入部の変位吸収方法は、標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）による。下記の変位吸収方法a、bの場合、トレンチ、蓋等は本工事とする。 ・(a)フレキシブルジョイントを使用　・(b)ボールジョイントを使用 ・(c)スリークッション
	12 建築物導入部の異種管接合	建物導入部において、異種管と接合する場合、接合部が容易に点検できるように点検用桝を設ける。 なお、点検用桝は標準図による。
	13 配管溶接部の非破壊検査	配管溶接部の非破壊検査は　・不要　⊙要（標準仕様書 第2編 2.5.15.2 による） 突合せ溶接部の検査の種類は　⊙放射線透過検査　・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 非破壊検査の抜取率は、標準仕様書 表2.2.17 による。 ＊非破壊検査の適用範囲は、標準仕様書による。 ＊放射線透過検査の判定基準は、WPS-008-97（水道用鋼管現場溶接継手部の非破壊検査基準）によること。
	⑭絶縁継手	取付け箇所はステンレス鋼管又は鋼管と異種管接続部と図示による。絶縁継手はフランジ接続とし、接続要領は（＊絶縁フランジ　・絶縁シート　・絶縁スリーブ）とする。
	⑮樹脂管の接合	ポリエチレン管　＊電気融着接合　・メカニカル接合 架橋ポリエチレン管　・電気融着接合　・メカニカル接合 ポリブテン管　・電気融着接合　・メカニカル接合　・熱融着接合 ポリプロピレン二層管（ＧＲＰ管）　＊電気融着接合　・
	16 地中埋設標等	（1）地中埋設標　＊要（＊分岐、曲り部　・図示箇所）　・不要 （2）埋設表示用テープ　・要（排水管を除く）　・不要
	⑰耐火二層管の伸縮継手	伸縮継手の設置箇所は、　・図面による　・竪主管15mごと、横主管20mごと
	⑲施工調査	＊下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。 事前調査 調査項目　・ 調査範囲　・図示　・ 調査方法　・図示　・
	⑲試験	＊ 各種配管の試験は、新設配管に適用する。 ＊ 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
	⑳撤去	＊ 撤去する保温材やガスケット、パッキン等にアスベストが含有されている恐れがあるものは、アスベスト含有の有無を調査し、含有されていた場合は適切に撤去、処分すること。
	㉑総合調整	総合調整に先立ち、総合調整計画書を提出する。 対象は下記による。その他、特殊設備類は図示による。 ＊風量調整　＊水量調整　＊温度、湿度調整　＊気流じんあい調整 ＊騒音測定　＊振動測定　＊初期運転状態の記録 ＊冷熱源：機器能力、水量、騒音、振動、電気特性、補機との連動 ＊空調機：能力、出入口温湿度、風量、静圧、電流値、騒音振動、空気清浄度 ＊室内状態：全室風量測定、全室温湿度測定、騒音測定（指定箇所） ＊送排風機：風量、静圧（全圧）、電流値、騒音振動、回転数 ＊ポンプ類：水量、揚程、電流値、騒音振動 ＊タンク及びヘッダー類：満水、水圧、防錆 ＊自動制御：耐電圧及び作動、全制御項目及び測定項目 ＊給排水給湯：出水量、飲料水水質、雑用水水質、排水状態、水圧、騒音振動、漏水の有無 ＊ガス設備：ガス圧、ガス漏れの有無 ＊消火設備：ポンプ機能、放出テスト状態、警報作動試験、防災盤との連動 ＊室差圧測定（・陰圧室　・　）
	22 塩害仕様	＊屋外設置機器及び外気導入部には、塩害対策を行うこと。 詳細は下記による。 （1）機器　・塩害仕様　・重塩害仕様 （2）外気、排気ガラリチャンバー　・ステンレス製　・重耐塩塗装 （3）外気取入ダクト　・ステンレス製　・重耐塩塗装 （4）空気調和機の外気取入れセクション　・ステンレス製　・重耐塩塗装 （5）
	㉓機器の仕様	＊図示によるほか標準仕様書による（国土交通省仕様） ・図示によるほか製造者標準仕様とする
	㉔スリーブ 等	＊土中埋設する鋼管類が地中梁及び地中壁を貫通する部分(水密を要さない部分に限る)には、硬質塩化ビニル管(VU)（JIS　K6741）のスリーブを設ける。 ＊外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブは （⊙つば付鋼管　・VU管(止水リング付)）とする。
	25 免震構造	免震構造の場合は、免震継手、クリアランス、管理などの施工については、免震構造特記仕様書による。

● 空気調和設備

① 設計温湿度

下記条件は,建築設備設計基準(令和 6年版)鳥取地区の値を参照

	外気条件		室内 一般系統		室内 病室		室内	
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	36.0℃	53.1%	26 ℃	50 %	26 ℃	50 %	26 ℃	50 %
冬季	-0.4℃	78.5%	24 ℃	40 %	24 ℃	40 %	23 ℃	50 %

② 機器付属の制御盤

標準仕様書第2編 1.2.2 による。ただし、下記の項目は本仕様による。
⊙故障表示及び故障表示用無電圧接点並びに端子を設ける。
・往復動冷凍機、パッケージ形空気調和機、遠心冷凍機、吸収冷凍機及び直炊き吸収冷温水機には、ポンプインターロック用端子を設ける。
・往復動冷凍機には、冷凍機操作用の遠方、手元切り換えスイッチを設ける。
・遠心冷凍機の主開閉器は気中式とする。
⊙電動機停止時には電動機及び進相コンデンサは無電圧となるように主回路に電磁接触器を設ける。
⊙空気調和機内設置のモータは全閉型とする。
・ボイラー、チラー、冷温水機ユニット、パッケージ空調機には運転時間計、及び表示用端子を取り付ける。
・インバーター機器には、高調波対策としてDCリアクトル、アクティブフィルターを設置する。
⊙進相コンデンサの容量が電力会社の電気供給規定にないものは、定格能力時における改善後の力率を90%以上となるように選定する。

3 オイルタンク

オイルタンクは ・鋼製タンク
・二重殻タンク ＊SF型(鋼板製、外殻FRP)
・FF型(内外ともFRP)
オイルタンクを設置する躯体等は ＊建築工事 ・本工事 とする。

4 ばい煙濃度計

＊設ける ・設けない

5 ばいじん量測定口

＊設ける(測定口は80φ以上とし、煙道の直線部に取り付ける。)

6 煙突

・別途工事 ・本工事(機器付属) ・建築工事

7 煙道

・鋼板製(・6.0t ・4.5t) ・ステンレス鋼板製(・ t)

⑧ 風道

使用ダクトは ⊙低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト
＊長方形ダクトはアングルフランジ工法、又はコーナーボルト工法とする。
＊屋外露出ダクトは(＊SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。
・ダクトはグラスウール製を使用して良い。使用範囲は標準仕様書による。

⑨ 風量測定口

取り付け箇所は(・図示した位置 ⊙送風機吐出ダクト又は吸い込みダクト
⊙外気取り入れダクト ⊙空調機出口チャンバーの分岐ダクト)とする。

⑩ チャンバー

＊内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外寸を示す。
＊空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内張りしたチャンバーには点検口を設ける。
＊点検口の大きさは図示による。
＊外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには排水管(呼び径２０)を設け、屋外又は間接排水口に導く。

⑪ 制気口及びダンパー

・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。
(範囲:一般居室、)
＊外気が浸入する恐れのある部分の空調吹出口は、結露防止型とする。

⑫ 防煙ダンパー

標準仕様書第3編 1.15.8 によるほか、下記による。
＊自動閉鎖機構はソレノイド(瞬時通電式)又は電動式とし、自動復帰機構は電動式とする。定格入力はDC24V、0.7A 以下とする。
＊煙感知器、連動制御器及び配管配線(煙感知器から連動自動制御器を経て防煙ダンパーに至るまで)は(＊電気設備工事 ・)とする。

⑬ 弁類

⊙JIS 5 kgf/cm ・JIS 10 kgf/cm
⊙蒸気ヘッダー弁はベローシール弁とする。
＊65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。
＊鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。
＊ステンレス配管を使用する場合の弁の材質はステンレス製とする。
＊ファンコイルユニット等と冷温水管の接続部(送り・返り)は、フレキシブル管とし、ボール弁を取付ける。また,接続部(返り)には、(・定流量弁 ・流量調整弁
⊙自動定流量弁)を取付ける。

14 温度計

取付け箇所は、標準図 配管要領によるほか、図示による。

15 圧力計

取付け箇所は、標準図 配管要領によるほか、図示による。

16 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング

下記の管に取り付ける。尚、タッピングは 32A とする。
・冷凍機の冷水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。
⊙直焚き吸収冷温水機の冷温水管及び冷却水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。
・空気調和機の冷温水管(送り又は返り)に(・流量計 ・タッピング)を設ける。
・冷温水ヘッダーの各送り管に(・流量計 ・タッピング)を設ける。

17 油面制御装置

フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

18 遠隔油量指示計

・設ける
遠隔油量指示計はフロートの作動による抵抗変化式液面計又は磁歪式液面計とする。

⑲ つり金物

機械室内配管のつり金物は下記による。

機械室名		熱源機械室	機械室		
防振	シングル		○		
つり金物	ダブル	○			
施工範囲		冷温水管、温水管、冷水管			

⑳ 保温及び消音内張り

標準仕様書第2編 3.1.4 による。ただし、下記の部分は本仕様による。
＊返り風道の保温要(保温の厚さ25mm) (＊屋外露出 ＊屋内露出 ・全て)
＊外気風道の保温要(保温の厚さ25mm) (・空調室の天井内 ⊙全て)
＊換気用風道の保温要、但し(保温の厚さ25mm) (⊙全長 ・外壁より1m)
＊全熱交換器の室外側ダクト(OA,EA)は、全長に保温を行うこと。
＊火気使用系統排気ダクトの保温(ロックウール ＊50mm)
＊油脂分を含む電気,電磁調理器等からの排気ダクトの保温(ロックウール ＊50mm ・25mm)
排ガス管や排ガスダクトの保温(使用温度上限600℃以下 ロックウール ＊75mm ・50mm)
(使用温度上限600℃超 けい酸カルシウム保温材 ＊75mm)
・風道のインペイ部分の保温材は、保温帯を使用してよい(亀甲金網押え)。

＊風道の保温の外装は下記による。

屋内露出	倉庫・書庫	⊙アルミガラスクロス+金網 ・ガラスクロス ・着色亜鉛鉄板
	各階機械室	⊙アルミガラスクロス+金網 ・ガラスクロス ・着色亜鉛鉄板
	中央機械室	⊙アルミガラスクロス+金網 ・着色亜鉛鉄板 ・アルミニウム板
	居室・廊下など	・着色亜鉛鉄板 ・アルミニウム板 ・ステンレス鋼板
屋外露出及び浴室		・亜鉛鉄板 ・着色亜鉛鉄板 ⊙ステンレス鋼板
厨房などの多湿箇所		・ガルバリウム鋼板

＊配管の保温の外装は下記による。
⊙給水、給湯、排水、消火配管等も同様とする。

屋外露出及び浴室	・亜鉛鉄板 ・着色亜鉛鉄板 ⊙ステンレス鋼板
厨房などの多湿箇所	・ガルバリウム鋼板・化粧保温カバー
機械室内露出	⊙アルミガラスクロス+金網 ・アルミ箔+金網 ・着色亜鉛鉄板
インペイ部分	⊙アルミガラスクロス+金網 ・アルミ箔+金網 ・着色亜鉛鉄板
冷媒管	・ステンレス鋼板 ⊙保温化粧ケース(指定色)

・屋外露出の配管、弁類は防凍保温とし、標準仕様書第2編3.1.4のブライン管の項による。
⊙共同溝内の保温の外装材は(＊ステンレス鋼板製 ・ガルバニウム鋼板製)とする。
⊙冷水及び冷温水の吊りバンドには合成樹脂製の支持受けを使用する。
⊙建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。
⊙空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。
・屋内複管(PS内、機械室露出、多湿箇所)の塗装は不要とする。
・屋内複管(PS内、機械室露出、多湿箇所)の塗装は不要とする。
＊蒸気(往・還)用の弁類、フランジには保温(容易に着脱可能なもの)を設ける。
＊蒸気(還)管には保温(⊙全面 ・PS内FL+2000程度まで ・機械室内)を行う。
＊隠ぺいダクトのフランジ部(補強を含む)は厚さ25ｍｍの保温を重ね巻きする。
＊アルミガラスクロス仕上げの保温は、アルミガラス化粧保温筒(露出部分は原紙入り)を使用してもよい。
＊管及びダクトの保温材はグラスウールを使用しても良い。
(但し防火区画貫通部及び多湿箇所、蒸気管、火気排気系統等を除く)
＊冷媒配管 断熱材被覆銅管の断熱厚さは JCDA 0009によるものとし、
(・液管10mm ガス管20mm ⊙液管20mm ガス管30mm)とする。
なお、断熱厚さはJCDA 0009多湿箇所等に使用する場合は下記による。
＊液管 20 mm以上、ガス管 30 mm以上
・空調機トラップは、フロートボール式(蒸気加湿系のトラップはSUS製)とする。
・冷媒管用ラックは歩行用(⊙ステンレス製 ・ガルバニウム鋼板製)とする。
・冷却塔の天板には手すり(⊙ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ)を設置する。
⊙ファンコイルユニット及び、パッケージエアコン用のドレン管で、機器から第一接続箇所までは、断熱ドレンホースを使用してもよい。

㉑ その他

● 自動制御設備

① システム構成その他

図示による。

② 電気計装工事の配線

＊使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11の使用する電線類の規格による。(機器、盤類は除く)
＊屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
＊天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

● 換気

①風道

＊使用ダクト
(⊙低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト(・ｱﾝｸﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法・ｺｰﾅｰﾎﾞﾙﾄ工法))
・下記の部分は１番手厚いものを使用する。
範囲(＊厨房用排気ダクト ・)
＊屋外露出ダクトは(＊SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。
＊厨房用排気ダクトは(＊SUS鋼板製 ・ガルバリウム鋼板製)とする。
・塩ビコーティングダクトの使用範囲は(・薬品性排気 ・)とする。
・塩ビ製ダクトの使用範囲は(・薬品性排気 ・)とする。
・制気口ボックスは、グラスウール製としても良い。
(範囲:一般居室、)

②風量測定口

取り付け位置は(・図示した位置 ⊙送風機吐出ダクト又は吸込みダクト
⊙外気取り入れダクト)とする。

③防煙ダンパー

空気調和設備の防煙ダンパーの項による。

④ピストンダンパー

空気調和設備のピストンダンパーの項による。

⑤多湿箇所の風道範囲

＊範囲は(⊙厨房 ⊙浴室 ・)
＊多湿箇所の排気ダクトは標準図によりシールを施工する。
＊ダクトには水抜管を設ける。

⑥ベントキャップ

＊仕様は、SUS製、外風雨対策型、水切り付、指定色焼付塗装仕上げとする。

● 排煙設備

①風道

⊙亜鉛鉄板 ・普通鋼板製(厚さ1.6t) ・コンクリート

②排煙口の形式

⊙天井取り付け (・1枚形 ・)
・壁取り付け (・表面スリット形 ・)

3 排煙口開放装置

・手動 ＊手動及び遠隔操作可能なもの

4 排煙風量測定

建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。

● 衛生器具設備

①大便器洗浄弁

節水形のバキュームブレーカー付とする。

②大便器自動洗浄弁

・センサー一体型 ⊙洗浄スイッチ(⊙タッチ式 ・センサー式 ⊙洗浄便座リモコン)
洗浄スイッチは ⊙無線式 ・有線式(＊衛生工事 ・空調(自動制御)工事)とする。

3 大・小便器洗浄弁

⊙中水対応洗浄弁 水源は雑用水(⊙井水 ・雨水利用水 ・中水)

④小便器洗浄弁

⊙個別本体組込み型 ・別置集合型

⑤汚物流し洗浄弁

⊙非接触センサー式 ・レバーハンドル式

⑥温水洗浄便座

(⊙温水貯湯型 ・温水瞬間型)とする。 なお、水源は上水とする。

⑦洗面器・手洗器

洗面器、手洗器のオーバーフロー穴、ポップアップは無いものとする。

⑧化粧鏡

車いす利用者の洗面器の化粧鏡(⊙平形(450w×1000h 程度) ・傾斜鏡)
なお、鏡は防食タイプとする。

⑨止水栓

流し台等に設ける水栓の給水、給湯管には止水栓(水栓の付属品ではない)を設ける。

10 しびん洗浄栓

(⊙スパウト式 ・ホース式)とする。 なお、水源は上水とする。

● 給水設備

1 量水器

⊙親メーター(⊙貸与品 ・)
⊙子メーター(⊙貸取り ・)
計量方式は(⊙現地表示式 ・遠隔表示式)とする。

2 タンク

・受水槽、高架水槽の天板には手すり(・SUS製 ・溶融亜鉛メッキ)を設置する。
・高架水槽の底板の高さが床面から2ｍ以上のものは点検歩廊を設ける。

3 量水器桝

⊙水道事業者指定品(・貸与品 ・貸取り) ・標準図MC形

④弁

⊙水道直結部分 JIS(⊙10kgf/cm² ・)
⊙その他の部分 JIS(・ 5kgf/cm² ⊙10kgf/cm²)
＊上水給水管を直結で加湿給水管、空調配管等に接続する場合の逆止弁は、減圧式逆流防止装置を使用する。

5 つり金物

機械室内の配管つり金物は下記による。

機械室名		機械室			
防振	シングル				
つり金物	ダブル				
施工範囲					

6 管の埋設深さ

管の地中埋設深さは、車路部分(＊600mm ・750mm ・1200mm)以上、
それ以外は(＊300mm ・450mm ・凍結震度 mm)以上とする。

⑦保温

標準仕様書第2編3.1.5による。但し、下記の部分は本仕様とする。
・鋼板製高置水槽の保温(⊙不要 ・要)
・鋼板製受水槽の保温 (⊙不要 ・要)
・屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。

8 引き込み納付金等

・要(・別途工事 ・本工事) ⊙不要

⑨給水管の誤接続防止

上水給水管と雑用水給水管、給湯管で同じ配管材を使用する場合は、保温を行う前に色別テープ等を貼り(2m間隔)、系統を確認後に保温を行う。保温施工後は直ちに色別テープを貼ること。各系統確認試験を実施する。

10 地中埋設標

＊要(＊分岐,曲り部 ・) ・不要

11 水槽の災害対策

⊙緊急遮断弁装置(制御盤共)(⊙電気式 ・機械式) ・給水車対応水位調整板
・給水車対応補給水口 ⊙災害時取水口

● 排水設備

①洗面器等の排水管

洗面器及び手洗い器に直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズアップとする。
流し床上部分の配管は、VP(又はHT)管としても良い。

②満水試験継手

＊標準仕様書による ・図示箇所に取り付ける

③保温

排水鋳鉄管の保温はロックウール保温帯を使用してもよい。

4 グリーストラップ

グリーストラップの蓋は防臭型(・SUS製 ・アルミ製)とする。

④試験

衛生器具などの取り付け完了後に行う試験は、煙試験又は通水試験とする。

5 放流納付金

・要(・別途工事 ・本工事) ⊙不要

● 給湯設備

①電触防止継手

＊取り付ける。

②弁

JIS(⊙5kgf/cm² ・10kgf/cm²)

③給湯器の給水管接続

給湯器と給水管の接続には、ステンレス製フレキシブルチューブ(ステンレス用ガスケット)を使用してもよい。

④保温

給湯管(・中央式 ⊙局所式)の保温は標準仕様書第2編3.1.5によるほか保温厚さは下記による。
・32A未満の配管30mm、32A以上の配管40mm(標準仕様書の冷温水管の厚さ)
・32A未満の配管20mm、65A未満の配管30mm、65A以上40mm(標準仕様書の蒸気管の厚さ)
⊙100A未満の配管20mm、100A以上の配管25mm(標準仕様書の給湯管の厚さ)
・給湯管の保温を行わない範囲(・流し用給湯器 ・)
・膨張水槽及び減圧水槽の保温は(・要 ・)とする。
・屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。

⑤給湯器の転倒防止

＊給湯器本体の満水時の質量(支持部材含む)が15kg 超のものは、H24年建設省告示第1447号に規定する構造方法により転倒防止策を行うこと。

○ ガス設備

①ガス種別

⊙都市ガス (発熱量 45 MJ/m³) 供給業者: 東京ガス(株)
負担金 (⊙無 ・有: 円 税込み)
・液化石油ガス(発熱量 50.2 MJ/kg)

②管類

＊都市ガス供給会社指定品(責任施工)

3 ボンベ

・別途(・10kg ・20kg ・50kg)× 00 本。

4 集合装置

標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による。 00 本組。

5 転倒防止等

標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)の(⊙(a)壁に支持できる場合
・(b)壁に支持できない場合)による。

⑥メーター

⊙貸与品 ・小メーターは買い取り

7 塗装

⊙本工事 ・別途工事

8 はつり

⊙本工事 ・別途工事

⑨スリーブ

⊙本工事 ・別途工事

10 ガス漏れ警報器

⊙本工事(図示による) ・別途工事(電気設備工事)

11 漏洩検知装置

・要 ・不要

12 電気防食

・要 ・不要

● 消火設備

1 屋内消火栓

＊機器表による ・HB-1A ・HB-1B ・HB-2A ・HB-2B ・HB-4A ・1号易操作性消火栓

2 ホース掛け

・くし形 ・リール形

3 消火栓弁

＊10kgf/cm²

4 消火栓BOX

・屋内消火栓及び、補助散水栓BOXは消火器BOXを併設する。
・屋内消火栓及び、補助散水栓BOXの表面仕上げは、指定色とする。
・手すりにかかる屋内消火栓、及び補助散水栓BOXは、横型とする(火報分離)。
＊屋外に面する場所に設置する消火栓BOXの材質はステンレス鋼板製とする。

⑤保温

標準仕様書第2編3.1.5による。但し、下記の部分は本仕様による。
・呼水槽の保温は(・要 ・不要)とする。
保温仕様は標準仕様書第2編3.1.5 f2(イ)IXによる。
⊙スプリンクラー及び泡消火配管の保温は(⊙不要 ・要)とする。
・屋内消火栓、連結送水管、連結散水管の保温は(・不要 ・要)とする。
・屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和設備の項による。

⑥その他

・スプリンクラー設備において、ヘッド及び巻き出し配管は実数の10%予備を見込む。

○ 厨房機器設備

1 機器の寸法

概略寸法とする。

2 燃焼機器

使用ガス(⊙都市ガス ・液化石油ガス)
発熱量(・ 45.0 MJ/m³・ 50.2 MJ/kg)
低ふく射型機器の使用 (・有 ・無)

3 制御盤・操作盤

製造者の標準形とする。

4 床固定

＊燃焼機器類 ＊高さ１ｍ以上の機器 ・

5 システム

＊ドライシステム

○ 浄化槽設備

1 処理対象人員

000 人

2 処理水量

000 m³/日

3 放流水水質

水素イオン濃度(PH)	000	
生物化学的酸素要求量(BOD)	000	mg/l以下
化学的酸素要求量(COD)	000	mg/l以下
浮遊物質(SS)	000	mg/l以下

4 処理種別

・小規模合併処理(・分離接触ばっ気 ・嫌気濾床接触ばっ気 ・脱窒濾床接触ばっ気)
・合併処理 (・回転盤接触 ・接触ばっ気 ・長時間ばっ気
・000)

5 型式

・ユニット型 ・現場施工型

6 電源

・単相 ・3相 000 V ・ 000 W以下 ・000 KW以下

7 施工範囲

施工範囲は標準仕様書第８編１．１．２によるほか、下記による。
・コンクリート躯体は(・建築工事 ・)とする。
・基礎杭は(・不要 ・要)とする。
・送風機室は(・不要 ・要)とする。
・防護柵は(・不要 ・要)とする。防護柵の材質は(・アルミ製 ・鋼製
・ネットフェンス)とし、柵の高さは、 000 mとする。
＊電気工事(＊配線 ＊配管)は、(・別途分電盤 ＊制御盤)以降を本工事とする。

8 設置条件

・設置面積約 000 m² (約 000 m x約 000 m)
・スクリーン ・調整槽 ・ばっ気槽
・沈殿槽等は(・地上設置・地下設置)とする。
・送風機室は(・地上設置 ・地下設置)とする。
・浄化槽上部は(・車路舗装 ・植栽 ・コンクリートスラブ天板露出)とする。

9 消毒剤

1ヶ月相当分以上を納入する。

10 手続き等

官公署への手続き又は手続き変更は、請負者が代行処理する。

11 流入管底

流入管底は 約GL- 000 mmとする。

12 マンホール等

マンホール等は脱落防止装置を取り付け、施錠(・ボルトロック ・)を(・行う
・行わない)。 マンホール等の材質は、(・合成樹脂製 ・)とする。

13 支持金物

槽内は全てステンレス鋼製とする。

14 満水試験

槽類は24時間以上の満水試験を行う。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第215902号
鮫島 慎一

鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	M − 002
特記仕様書(2)	A1:− A3:−	

●医療ガス設備

1 供給設備

液化酸素供給装置（・定置式　　・可搬式）
圧縮空気供給装置　　形式（・空気圧縮機方式　・ボンベ方式　・ガス混合装置方式）
制御方式（・自動交互　　・自動交互追従）

2 吸引装置

吸引ポンプ（・水封ロータリー式　　・油回転式）

3 余剰麻酔ガス排出装置

排出動力部（・エアーエジェクター方式　　・ブロア方式）

④器具

アウトレット（・ニードルバルブ　　・コック式　　・流量調整器付属形
⊙壁取り付け形　　・ホース取り付け形）

⑤配管材料

酸素、笑気、窒素、圧縮空気ガス用配管　（⊙着色ポリエチレン被覆銅管　・　　）
吸引配管　（⊙着色ポリエチレン被覆銅管・銅管・鋼管）
余剰ガス配管　（⊙着色ポリエチレン被覆銅管・銅管・鋼管）

6 区域別遮断弁

※区域別遮断弁箱には、供給区域がわかるようにすること。
・区域別遮断弁は、緊急導入口付きとすること。

⑦配管分岐取り出し

改修工事の配管分岐、切替え時等において、工事範囲外の医療ガスの供給が停止することがないようにバックアップをとること。

⑧その他

アウトレットの配置に関して、標準仕様書以外の配置を行う場合は、
施主への説明とその結果を記録に残すと共に、スペースなどの確認を行うこと。

○その他設備

1 特殊排水処理設備　※図示による。

2 床暖房設備　※図示による。

3 地中熱利用設備　※図示による。

4 太陽熱利用設備　※図示による。

5 脱臭設備　※図示による。

6 さく井設備　※図示による。

7 コージェネレーション設備　※図示による。

8 融雪設備　※図示による。

●室内空気汚染に関する特記事項

①総則

1.室内空気汚染対策(ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物)については、他の項の適用による他、屋内仕上については本項の内容を厳守すること。また、屋外仕上についても使用材料等を吟味し、化学物質の放散に十分に留意すること。
2.建材、施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJASまたはJIS等を参考に適切に選択すること。
3.仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した製品安全データシート(PRTR法による)の内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。ただし、製品安全データシートの成分表示には表記されない揮発性有機化合物が含まれている可能性もあるため、疑いのある製品の使用については十分に考慮すること。
4.施工中、接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、適切な換気を十分に行い、室内に放散した溶材成分等の希釈を図ること。
5.各建材、材料について、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物に関する規格の等級、又は安全を証明する試験データ等は、写真又は書類として監督職員へ報告し保管すること。
6.内装仕上げに用いる建築材料の取付状況の写真撮影を行い、官庁による中間検査、完了検査時に提出すること。

②ホルムアルデヒドに関する等級について

1.合板類、木質系フローリング、集成材、単板積層材(LVL)、OSBに関する
ホルムアルデヒド放散量のJASで定める等級は下記とする。
※F☆☆☆☆　　・F☆☆☆　　・図示
2.MDF、パーティクルボード、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料に関する
ホルムアルデヒド放散量のJISで定める等級は下記とする。
※F☆☆☆☆　　・F☆☆☆　　・図示

③塗装工事

1.塗装はホルマリン不検出で、水性系のものまたは環境配慮型のものとし、水性系塗料は日本塗料工業会「VOCを標準とした室内塗料分類」M-1に準じ、または同等以上とすること。
・厚生労働省の定める指定13物質全て不検出とする。
・天然系塗料とする。
・錆止め塗料は、鉛、クロム等の有害な重金属を含まない無公害型のものとする。

④配管工事・ダクト工事

・接合材、接着剤、シーラー、プライマー
全ての工事に用いる接合材、接着剤等（シーラー、プライマー含む）は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものまたは環境配慮型のものとすること。（主剤、可塑剤、硬化剤共）
・トルエン、キシレン、アセトアルテヒド、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル
不検出とする。
・保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、
放散が極めて少ないものとする。

⑤ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定

測定　※建築工事　　・本工事
工事完成前(別途工事家具等備品搬入前)に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督員に提出すること。また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督員と是正方法を協議し、対策を施した後、再測定をおこなうこと。

1.測定を行う部屋　（計　000　ヶ所）
※測定室の候補は、偏らない選出とし、監督員との協議の上、決定する。
・設備関連諸室、各シャフト類、倉庫をのぞく全ての室(計　000　ヶ所)

2.測定対象物質
※ホルムアルデヒド　　・アセトアルデヒド　　※トルエン　　※キシレン
・パラジクロロベンゼン　　※エチルベンゼン　　※スチレン
・厚生労働省の定める13物質及びTVOC

3.測定方法
1)第三者機関により、厚生労働省の定める「室内空気中化学物質の測定マニュアル」の標準の方法を準用すること。
2)空気の採取:採取時間について、パッシブ方式は(※8　・24)時間以上、アクティブ方式は30分間、2回以上とする。
※パッシブ方式(※測定バッジ　・パッシブサンプラー　・パッシブガスチューブ)
・アクティブ方式　　・検知管法(簡易測定法)
3)測定、分析は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下の相関の高い方法によって行うこともできる。
ホルムアルデヒド　　高速液体クロマトグラフ法
揮発性有機化合物　　ガスクロマトグラフィー質量分析法

⑥ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ及び揮発性有機化合物の発散

工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の発散のため室内暖房および換気を行うこと。
1.発散を行う部屋　　※全室　　・　24-8-1による測定を行う室
2.発散方法
1)室内の設定温度を30℃に設定し1日8時間の暖房運転を行う。
2)暖房運転終了後直ちに換気を行う。換気時間　　8時間
3)上記工程を3回以上繰り返す。
4)換気(自然、機械共)は引渡しまでの間、常時行うこととする。

⑦建材の安全性に関する確認

使用する建材に含まれるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について、製造所が作成した安全データシート、試験データ等により成分が確認できない場合は、チャンバー法による材料の試験を行い、安全性を確認のうえ使用すること。

⑧改修工事に関する特記

改修工事においても、上記項目を適用すること。
・工事着手前に工事範囲のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を24-8の内容に準じておこなうこと。
1.測定を行う部屋　　(計　000　ヵ所)

⑨準用すべき規格,基準

※ 木質建材:JAS　　※ 工業製品:JIS　壁紙等:(※ISM　・SV)　※ 接着剤:JAI
※ 日本塗料工業会目標基準　　・ 学校環境衛生の基準[教室等の空気]
・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律
・ 住宅品質確保の促進等に関する法律
・ 厚生労働省事務連絡「ホルムアルテヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」
・ 国土交通省住宅局住宅総合整備課課通知「公営住宅における化学物質の室内濃度測定方法等」

●その他

下記内容は、関連する項目全て適用する。

⊙共通事項

※屋外基礎のアンカーボルトは、ステンレス製とする。
※屋外露出の支持金物は、ステンレス製とする。
※ピット・トレンチ内の支持金物は、ステンレス製とする。
※空調機・外調機の外気導入セクションの内面は樹脂コーティングを施したものとする。
※施工要領として、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針」（令和元年版）及び国土交通省住宅局建築指導課等編集の「建築設備設計・施工上の運用指針」（2013年版）に準ずること。
※屋外の油配管は土中埋設とせず、ピットを設け配管する。
また、建物導入部には変位吸収措置をとること。

⊙病院用途関連

※屋外の医療ガス配管は、土中埋設とせず、ピットを設け配管する。
また、建物導入部には変位吸収措置をとること。
※クリーンエリアの空調機（外調機含む）はVベルト屑飛散防止の為、直駆動方式とし、インバーター制御等の風量制御機能付とする。
※ダクトの材質は下記による。
ステンレスダクト（ｼｰﾙ有）・・・・・厨房系統、水治療室、浴室、シャワー室（US除く）
塩ビコーティングダクト（ｼｰﾙ有）・・解剖室系統、病理検査系統、RI排気系統の
排気ダクト屋外露出部分
特殊排水処理槽系統(感染系・中和・ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞｰ)
その系統のボックス、ダンパー等はそれぞれの材質とする。
MRIヘリウム放出ダクト、オートクレーブ排蒸管はSUS管とする。
※放射線等の防護区画（床･天井スラブ、壁）を貫通するダクト及び配管等の貫通処理は、（⊙区画の片側1ｍ部分に2mm鉛巻を行う　　・別図（放射線区画貫通要領図）による）
※停電断水等が必要となる場合には、事前に施設担当者と綿密に打合せを行い、
詳細計画を立て承認後施工すること。
※各室の空気清浄度クラスは　別表-2 により測定を行う。

・改修工事関連

別表

別表－1　　機材等の検査または試験の内容

機　材　等	検査または試験の内容
○○○	○○○

その他監督員の指示による。

別表-2　　空気清浄度クラスは下記により測定を行う。
(JIS B 9920)（ISO 14644-1）

空気清浄度クラス	系　統　名　・　室　名	測　定　項　目
クラス 100,000 ISO 8	・手術ホール等（手術エリア）　・ICUｽﾃｯﾌﾟｽﾃｰｼｮﾝ	⊙浮遊粉塵数 ⊙落下菌数
クラス 10,000 ISO 7	・手術室　・ICU　・既滅菌室　・	⊙浮遊粉塵数 ⊙落下菌数
クラス 1,000 ISO 6		・浮遊粉塵数 ・落下菌数
クラス 100 ISO 5		・浮遊粉塵数 ・落下菌数
クラス 10 ISO 4		・浮遊粉塵数 ・落下菌数

●改修工事

①仮設,盛替え工事

※本工事は既設建物を使用しながら行う工事であるため、施設機能,運営を極力停止しないように工事手順に応じた仮設・盛替を行うこと。
※停電,断水等が必要となる場合には、事前に施設管理者と綿密に打合せを行い詳細計画を立て承認後施工すること。

②再使用品

⊙再使用する機材は、取外し前に状態及び性能・機能の確認を行い、機材に損傷を与えないように取外す。なお、確認する状態及び性能・機能は下記による。
⊙外観　⊙動作　・絶縁状態　・風量　・　　・　　)
※取外し後、機材の清掃洗浄等を行い、再取付け後は状態、機材の性能・機能確認を行う。
・機材の分解・整備等による特別な清掃は下記による。
(・エアハンドリングユニット　・ファン　・ポンプ　・ファンコイルユニット　　)
試験機材（・　　)

③足場その他

内部足場の種別は下記によるほか、改修工事標準仕様書2.2.1による。
※設ける（・単管足場　・くさび緊結式足場　・枠組足場　）　・設けない
外部足場の種別は下記によるほか、改修工事標準仕様書2.2.1による。
※設ける（・施工箇所面に枠組足場を設ける　・施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける
・施工箇所面に単管足場を設ける　・高所作業車を使用する）
・設けない

④ 仮設間仕切り

仮設間仕切り範囲は図示による。種別は（・A種　⊙B種　・C種）とする。

⑤ 養生範囲

既存部分の養生範囲は図示による。

⑥ 撤　去

機器、配管の撤去前に内容物（・冷媒　・吸収液　・廃油等）の回収が必要である。
・冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し、フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等）
・臭化リチウム水溶液等は、関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。
⊙石綿含有建材の除去工事
事前調査　　※ 行う（事前調査結果の報告 ⊙行う　・行わない）
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。
分析による石綿含有建材の調査　　・ 行わない　　⊙ 行う（10 箇所）
測定箇所等は　⊙下記による　　・監督職員の指示による
石綿含有品　⊙フランジ用ガスケット　⊙配管　⊙ダクト）⊙配管用保温材
⊙たわみ継手　・耐火二層管　・ 天井材　・外壁（・塗材　・スレート）
石綿作業主任者は有資格者とし、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。
撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。
石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

⑦ 撤去跡の補修及び復旧

※機器撤去跡の取付ボルト孔及び壁面、天井面の変色等の補修並びに床補修等は、周辺の仕上げ同等とし、凹凸のないように仕上げること。
※床,壁,天井等の撤去後の開口部の補修の方法及び仕上げの仕様は、既設と同等とし、凹凸のないように仕上げること。

⑧ 発生材の処理

発注者に引渡しを要するもの並びに特別管理産業廃棄物の処理（　・有　　・無　）
※処理方法：
工事現場において再利用を図るもの及び再資源化を図るもの（　・有　　・無　）
なお、再資源化を図るものは、分別を行い、所定の再資源化施設等に搬入後、調書を作成し監督職員に提出すること。
特別管理産業廃棄物の処理（　・有　　・無　）
※処理方法：

⑨はつり

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターを用いる。
また、その際、配筋、埋設配管等を切断しないように X 線撮影等の調査を行うこと。

⑩ 既設配管の再生を行う場合

再生を行う場合、事前に既設配管の肉厚等を十分に調査し、対応可能なものとする。
対象範囲及びサンプリング個数は、
・給水管（　ヶ所）・給湯管（　ヶ所）・排水管（　ヶ所）・冷水管（　ヶ所）
・温水管（　ヶ所）・冷温水管（　ヶ所）・冷却水管（　ヶ所）
作業後、管内の洗浄及び消毒を行う。　・給水管　・給湯管　は、通水後、末端部の水栓等より採水し、水質検査を行い、監督職員に提出する。

⑪ インサート及びアンカー

・既存のインサート及びアンカーボルトは、使用しない。
・既存のインサート及びアンカーボルトを再使用する場合は、状態及び強度を確認し、十分に清掃を行ってから使用すること。
引張強度の確認試験（　※要　　・不要　）

⑫ 確認試験

あと施工アンカーの性能確認試験（　※要　　・不要　）
あと施工アンカーの施工後確認試験（　※要　　・不要　）

⑬ 試験(空気調和)

分割搬入を行う機器の試験（ ⊙要　　・不要）

⑭ 既設ダクトの再利用

既設ダクトを再利用する場合、ダクト内清掃は（※要　　・不要）とする。
吹出口、吸込口、ダンパー等を作業場一時取外し、再利用する機材は再取付け前の清掃を（※要　　・不要）とする。
⊙所定の清掃作業終了後にダクト系の機能を調査確認する。また、清掃後のダクト内面の状態は、監督職員の指示による記録場所と個所数の記録写真を撮り監督職員に提出する。
・再使用する吹出口、吸込口、ダンパー等の機材は再取付け前に清掃を行う。
・ダクト内清掃に伴う仮設ダクトの設置（・要　　・不要）

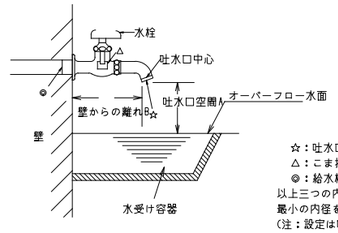
15 仮設工事(昇降機)

複数台のエレベーターが同一昇降路内に設置されている場合で、やむを得ず隣接するエレベーターを運転する場合は、防護ネット等により作業区分を分離し、安全対策等の措置を講ずる。
・要　　・不要

⑯ その他

※本工事は既設建物を使用しながら行う工事であるため、増築改修手順に応じた仮設・盛替を行うこと。

別図-1　吐水口空間



☆：吐水口の内径 d
△：こま押さえ部分の内径
◎：給水栓の接続の内径
以上三つの内径のうち、
最小の内径を「有効開口の内径 d'」として表す。
(注：設定は呼び径が25mmを超える場合の設定)

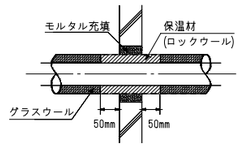
吐水口空間

呼び径	近接壁から吐水口の中心までの水平距離　B	オーバーフロー水面から吐水口の中心までの垂直距離　A
13 以下	25 mm以上	25 mm以上
13を超え20以下	40 mm以上	40 mm以上
20を超え25以下	50 mm以上	50 mm以上

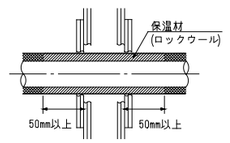
備考1)　浴槽に給水する場合、オーバーフロー水面から吐水口の中心までの垂直距離は50 mm未満であってはならない。
備考2)　プール等水面が特に波立ちやすい水槽、ならびに事業活動に伴い洗剤または薬品を使う水槽、及び容器に給水する場合、オーバーフロー水面から吐水口の中心までの垂直距離は200 mm未満であってはならない。

別図-2　区画貫通処理　施工要領

※1　鋼管の区画貫通処理要領は下記による。



鋼管 区画貫通処理 要領図（no scale）
＜コンクリート壁の場合＞



鋼管 区画貫通処理 要領図（no scale）
＜ボード壁の場合＞

※2　「冷媒配管」「樹脂管」等の防火区画、防火上主要な間仕切壁の貫通部は、下記の認定工法による（参考）。
使用箇所には認定マークを添付のこと。

PF管貫通部
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0213
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0711,0712
※床壁貫通部　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0638

冷媒配管貫通部
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0131
国土交通大臣認定番号：PS060WL-0130
※床壁貫通部　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0129

銅製電線管貫通部
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0269
※床壁貫通部　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0290

VP,HI管貫通部
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0069
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0103
※床貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0070

RF-VP管貫通部
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0064
※床貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0072

耐火二層管貫通部(VP,HI,RF-VP)
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0998
※壁貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060WL-0312
※床貫通部　　国土交通大臣認定番号：PS060FL-0391

配管材料等一覧表

	名称	記号	施工場所	使用配管材料					
●	冷温水管 (送り)	—CH—	屋内一般	● 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	● 空調配管用高性能ポリエチレン管 保温付(スーパーエスロメラックス)(25A以下)
	(返り)	—CHR—		○	○	○	○	○	○
●	冷水管 (送り)	—C—	屋内一般	● 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB JWWA K 116	● 空調配管用高性能ポリエチレン管 保温付(スーパーエスロメラックス)(25A以下)
	(返り)	—CR—		○	○	○	○	○	○
○	温水管 (送り)	—H—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○ 空調配管用高性能ポリエチレン管
	(返り)	—HR—		○	○	○	○	○	○
○	冷却水管 (送り)	—CD—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB JWWA K 116	○ 空調配管用高性能ポリエチレン管
	(返り)	—CDR—		○	○	○	○	○	○
○	空調用膨張管	—E—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3459	○ 空調配管用高性能ポリエチレン管
○	高圧蒸気管(送り)	—S(8K)—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	○	○	○
○	中圧蒸気管(送り)	—S(5K)—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	○	○	○
●	低圧蒸気管(送り)	—S(2K)—	屋内一般	● 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	○	○	○
○	高圧蒸気管(返り)	—SR(8K)—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管(溶接) SUS-304 JIS G 3448	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○	○
○	中圧蒸気管(返り)	—SR(5K)—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管(溶接) SUS-304 JIS G 3448	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○	○
●	低圧蒸気管(返り)	—SR(2K)—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管(溶接) SUS-304 JIS G 3448	● 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○	○
●	ドレン管	—D—	屋内一般	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 耐火二層管(VP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP) RF-VP JIS K 9798	● 空調ドレン用結露防止層付 硬質塩化ビニル管	● 硬質塩化ビニル管(VP) VP JIS K 6741
			ピット 埋設	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 硬質塩化ビニル管(VP) VP JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP JIS K 9798	○	○
○	ドレン管(ボイラー)	—BD—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT JIS K 6776	○ ○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT JIS K 6776
●	冷媒管	—R—	全般	○ 銅及び銅合金継目無管 JIS H 3300	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒) STPG370 JIS G 3454	● 断熱材被覆銅管(ポリスチレン保温材) JIS H 3300	○	○	○
○	油管 (送り)	—OS—	屋内一般 屋外架空	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	○	○	○
	(返り)	—OR—	ピット、トラフ内	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	○	○	○
	(通気)	—OV—	土中埋設	○ 石油輸送用ポリエチレン管(保護管付き) 危険物保安技術協会認定品(危評第0066号)					
●	給水管(上水)	—-—	屋内一般	● 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB JWWA K 116	○ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PA JWWA K 132	○ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PB JWWA K 132	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	● 架橋ポリエチレン管 (エスロペックス)(25A以下)
	(揚水)	—•—	埋設	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6742	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K 6742	○ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWWA G 115	○ 水道用ポリエチレン二層管 PE JIS K 6762	○ 水道配水用ポリエチレン管 HPPE JWWA K 144
			引込直結	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6742	○ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWWA G 115	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K 6742	○ 水道用ポリエチレン二層管 PE JIS K 6762	○ 水道用ポリエチレン二層管 PE JIS K 6762
●	給水管(雑用水・井水)	—--—	屋内一般	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VA JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VB JWWA K 116	● 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PA JWWA K 132	○ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PB JWWA K 132	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	● 架橋ポリエチレン管 (エスロペックス)(25A以下)
	(揚水)	—••—	埋設	○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-VD JWWA K 116	○ 水道用硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6742	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 SGP-PD JWWA K 132	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K 6742	○ 水道用ステンレス鋼鋼管 JWWA G 115	○ 水道用ポリエチレン二層管 PE JIS K 6762
●	給湯管(送り)	—I—	屋内一般	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	● 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-316 JIS G 3448	○ 架橋ポリエチレン管(保温材10mm付) JIS K 6769	○ ポリブデン管(保温材10mm付) JIS K 6778	● 架橋ポリエチレン管 (エスロペックス)(25A以下)
	(返り)	—II—	湯沸廻り	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	● 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-316 JIS G 3448	○ 架橋ポリエチレン管(保温材10mm付) JIS K 6769	○ ポリブデン管(保温材10mm付) JIS K 6778	● 架橋ポリエチレン管 (エスロペックス)(25A以下)
○	給湯用膨張管	—E—	屋内一般	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-316 JIS G 3448	○	○	○
●	汚水管		屋内一般	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 耐火二層管(VP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ メカニカル形排水用鋳鉄管 HASS 210	● 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 FS-VP 国土交通大臣 認定品
			ピット 埋設	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP JIS K 9798	○	○
			ポンプアップ	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K 6742	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741
			器具接続	○ 排水用鉛管 HASS 203	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	● 塩ビコーティング鋼管 衛生器具メーカー標準品 + 接続ジョイント 衛生器具メーカー標準品			
●	排水管		屋内一般	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 耐火二層管(VP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP) RF-VP JIS K 9798	● 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 FS-VP 国土交通大臣 認定品	○
			ピット 埋設	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP JIS K 9798	○	○
			ポンプアップ	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管 SGP-NTA WSP 032	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JIS K 6742	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 配管用ステンレス鋼鋼管 Sch20s SUS-304 JIS G 3459	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741
			器具接続	○ 排水用鉛管 HASS 203	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	● 塩ビコーティング鋼管 衛生器具メーカー標準品 + 接続ジョイント 衛生器具メーカー標準品			
○	屋外排水管		埋設	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP JIS K 9798	○ 硬質塩化ビニル管(埋設250A以上) VU JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル三層管(埋設250A以上) RS-VU JIS K 9797	○ 遠心力鉄筋コンクリート管 JIS A 5372(外圧管1種B形)	
●	通気管	------	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(VP)(ピット内は硬質塩化ビニル管VP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP)(ピット内は硬質塩化ビニル管RF-VP) RF-VP JIS K 9798	● 建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 FS-VP 国土交通大臣 認定品	
○	雨水排水管	—RD—	屋内一般	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ 耐火二層管(VP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 水道用亜鉛めっき鋼管 JIS G 3442	○ カラーVP(屋外露出) VP JIS K 6741
			埋設	○ 硬質塩化ビニル管 VP JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル発泡三層管 RF-VP JIS K 9798	○ 硬質塩化ビニル管(埋設250A以上) VU JIS K 6741	○ リサイクル硬質塩化ビニル三層管(埋設250A以上) RS-VU JIS K 9797	○ 遠心力鉄筋コンクリート管 JIS A 5372(外圧管1種B形)	
○	検査系排水管	—CD—	全部	○ 耐火二層管(VP)(ピット内はVP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP)(ピット内はRF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ ポリプロピレン二層管 GRP			
○	透析系排水管	—DD—	全部	○ 耐火二層管(VP)(ピット内はVP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP)(ピット内はRF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT JIS K 6776		
○	感染系排水管	—ID—	全部	○ 耐火二層管(VP)(ピット内はVP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP)(ピット内はRF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○		
○	RI排水管	—RI—	全部	○ 耐火二層管(VP)(ピット内はVP) VP JIS K 6741	○ 耐火二層管(RF-VP)(ピット内はRF-VP) RF-VP JIS K 9798	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○		
○	厨房排水管	—KD—	全部	○ 耐火二層管(VP)(ピット内はVP) VP JIS K 6741	○ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 D-VA WSP 042	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT JIS K 6776		
○	高温排水管	—HD—	全部	○ ポリプロピレン二層管 GRP	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒) 黒管 JIS G 3452	○ 耐熱性硬質塩化ビニル管 HT JIS K 6776	○		
○	都市ガス管(中圧)	—MG—	全部	○ ガス供給会社指定品					
○	都市ガス管(低圧)	—G—	全部	○ ガス供給会社指定品					
○	プロパンガス管	—PG—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(白)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○ ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 3469	○ 塩化ビニル被覆鋼管	○ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774	
			埋設	○ ポリエチレン被覆鋼管 JIS G 3469	○ 塩化ビニル被覆鋼管				
						施工場所			
○	屋内・外消火栓管	—X—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○	埋設	○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041	○ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管 (消防認定品)	
○	連結送水管	—XS—	屋内一般	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(白)Sch40 STPG370 JIS G 3454	○	埋設	○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 STPG370VS 白管SCH40 WSP041	○ 消火用ポリエチレン外面被覆鋼管 STPG370PS 白管SCH40 WSP044	
○	連結散水管	—XB—	屋内一般	○ 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	○	埋設	○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041	○ 消火設備配管用高性能ポリエチレン管 (消防認定品)	
●	スプリンクラー管	—SP—	屋内一般	● 配管用炭素鋼鋼管(白) 白管 JIS G 3452	● 消火用フレキ	埋設	○ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 SGP-VS WSP 041	● 消火設備配管用高性能ポリエチレン管 (消防認定品)	
○	プールろ過循環吸込管	—PR—	全部	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JWWA K 118	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140		○	
○	プールろ過循環吐出管	—PS—	全部	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JWWA K 118	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140		○	
○	水位連通管	—WL—	全部	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JWWA K 118	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140		○	
○	プール補給水管	—FS—	全部	○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 HIVP JWWA K 118	○ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS-304 JIS G 3448	○ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA JWWA K 140		○	

※蒸気の逃し管の材質は、当該蒸気管(送り)と同じとする。
※樹脂管の接合方法については、共通工事 15 樹脂管の接合による。

名称	記号	備考
仕切弁	GV GV	ライニング管等には管端コア付、ライニング弁、SUS管はSUS製弁、VP管は塩ビ製弁とする
バタフライ弁	BV BV	
玉形弁	SV SV	蒸気(送り)、高温水用 蒸気ヘッダーの玉形弁は、ベローシール弁とする
逆止弁	CV CV	ライニング管等には管端コア付、ライニング弁、SUS管はSUS製弁、VP管は塩ビ製弁とする
ボール弁	BAV BAV	ライニング管等にはライニング弁、SUS管はSUS製弁、VP管は塩ビ製弁とする
埋設弁		
コック	CK CK	
安全弁及び逃し弁		
自動空気抜弁装置	Ⓐ	装置の内容は、標準図の装置組立要領による
圧力計	Ⓟ	
水高計	Ⓦ	
速成計	Ⓒ	
温度計	Ⓣ	
瞬間流量計	Ⓕ	
ストレナー	Ⓢ	
Y型ストレナー		
地中埋設標	□ ●	コンクリート製・鉄製
ベローズ型伸縮継手		
防振継手		
フレキシブルジョイント		
ボールジョイント		
減圧弁装置		装置の内容は、標準図の装置組立要領による
温度調整装置		装置の内容は、標準図の装置組立要領による
電動弁装置	M M	バイパス管付き 装置の内容は、標準図の装置組立要領による
電磁弁装置		バイパス管付き 装置の内容は、標準図の装置組立要領による
トラップ装置	Ⓣ	装置(熱交換器、貯湯槽など): フロート式、バケット式 主管用:フロート式 管末用:フロート式
油量計	OM	
電極棒	◎	
屋内消火栓		
屋内消火栓(放水口共)		
連結送水管放水口		
連結送水管放水口(器具格納箱付)		
屋外消火栓(地上式)		
屋外消火栓(組込形)		
送水口		単口(埋込型)、双口(埋込型)、双口(自立型)
放水口		単口(自立型)、双口(自立型)
テスト弁		
制御盤		
スプリンクラー・泡・連結散水ヘッド		
ガス消火・粉末消火噴射ヘッド		
アラーム弁		
ボンベユニット		
選択弁		
流水検知器	FD	
直流電源装置		
手動起動装置		
復帰箱		
モーターサイレン		
スピーカー		
ピストンレリーザー	○→	
ピストンレリーザー	⊗→	
レリーザー操作管	------	

名称	記号	備考
量水器	M	
水栓		水、湯、混合
洗浄弁	◎	バキュームブレーカー付
ボールタップ		
シャワー		
水抜栓		
水栓柱		SUS製1500H、ステンレス管、ウレタン保温
散水栓		SUSボックス(鍵付) 上水は床埋込型は使用不可
床上掃除口		COA:非防水、COB:防水型
床下掃除口	CO	上向き45°
床排水トラップ		
排水金物	⊗	
間接排水金物	◎	
トラップ類		
Uトラップ		
トラップ桝	T	
インバート桝		
ため桝	⊠	
公設桝	公	
一口ガスカラン		
二口ガスカラン		
ガスメーター	GM	
埋込ガスカラン		
制御盤		
二方弁		
三方弁		
電磁弁		
温度調節器	T	
湿度調節器	H	
計測センサー	○	
弁操作器	□	
ダンパ操作器	∅	
流量計	⊗	
圧力発信機		
投光・受光器	□ □	
天井隠ぺい配管	———	
床埋込配管	— — — —	
地中配管		
露出配管	------	
空配管		
立上り配管		
引下り配管		
プルボックス	⊠	
ジョイントボックス	□	
接地極		
接地埋設標	□	
地中線埋設標	△	

名称	記号	備考
給気ダクト	SA	亜鉛鉄板製
還気ダクト	RA	亜鉛鉄板製
排気ダクト	EA	亜鉛鉄板製
外気ダクト	OA	亜鉛鉄板製
排煙ダクト	SM	亜鉛鉄板製
風量調整ダンパー	VD	
防火ダンパー	FD	
防火ダンパー	HFD	
防火・風量調整兼用ダンパー	FVD	
防煙ダンパー	SD	
防煙・防火兼用ダンパー	SFD	
防煙・防火・風量調整兼用ダンパー	SFVD	
排煙ダンパー	SMD	
排煙・防火兼用ダンパー	SMFD	
排煙・防火・風量調整兼用ダンパー	SMFVD	
モーターダンパー	MD	
チャッキダンパー	CD	
ピストンダンパー	PD	
ピストンレリーザー付防火ダンパー	PFD	
吹出口		
吹出口		
吸込口		
吸込口		
排煙口		
排煙口		
外気取入れガラリ		
排気ガラリ		
ドアガラリ		
ベントキャップ		SUS製指定色焼付塗装
たわみ継手		
消音チャンバー		
消音エルボ		
ガイドベーン		
ダクト遮音		
フレキシブルダクト		
排煙手動開放装置		
可変風量装置	VAV	
定風量装置	CAV	
酸素アウトレット	O Ⓞ	壁付、天吊り形
吸引アウトレット	V Ⓥ	壁付、天吊り形
圧縮空気アウトレット	A Ⓐ	壁付、天吊り形
笑気アウトレット	N Ⓝ	壁付、天吊り形
窒素アウトレット	N2 N2	壁付、天吊り形
余剰麻酔アウトレット	Ex Ex	壁付、天吊り形
メディカルコンソール		
シャットオフバルブ		
遠隔警報器	E	

機　器　リ　ス　ト　（空気調和機－７）

機器番号	系　統　名　称	機　　器　　仕　　様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考
ＡＨＵ／２７	空気調和機 ３Ｆ図書・研究室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－１３０Ｋ２－Ｃ　垂直型 冷房能力　８４，０００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　５５，７００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型＃２　１／２　７，６００ｍ³／ｈ　３０　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８２０×１１４０×２８０ℓ／ｍｉｎ 出口空気　１６．５６　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９５　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃３３－１５００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　４４．７　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	5.5 0.1 60W×2	1	２Ｆ　図書・ 研究ＡＣ室	
ＡＨＵ／２８	空気調和機 ３Ｆ新生児室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－３５ＬＥＫ２　垂直型 冷房能力　２１，０００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　１４，７００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　リミットロード型＃２　１／２　２，０００ｍ³／ｈ４８　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ　７８１２×５００×７０ℓ／ｍｉｎ 出口空気　１７．２５　℃ コイル　　〃　　出口空気　２１．８１　℃ 再熱　ＷＨＡ６４１２×５００×５１ℓ／ｍｉｎ 出口空気　２１．８１　℃ コイル フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２２－１０００重量法８０％以上 ドライスチーム加湿器　ＨＥＭ－９１Ｍ－Ｍ２　加湿量　１１．２　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	1.5 0.1 60W×2	1	３Ｆ　新生児 ＡＣ室	
ＡＨＵ／２９	空気調和機 ３Ｆ東棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－８０Ｋ２－Ｃ　垂直型 冷房能力　５３，６００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３５，６００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型＃２　１／４　４，８５０ｍ³／ｈ　２５　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１６×８７０×１７９ℓ／ｍｉｎ出口空気　１６．５６　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９９　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　２８．６　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	2.2 0.1 60W×2	1	３Ｆ　東棟 ＡＣ室	
ＡＨＵ／３０	空気調和機 ４Ｆ西棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－９０Ｋ２－Ｂ　垂直型 冷房能力　５７，５００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３８，１００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型＃２　１／４　５，２００ｍ³／ｈ３５　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１８×８９０×１８２ℓ／ｍｉｎ出口空気　１６．５５　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９４　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　３０．６　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	3.7 0.1 60W×2	1	４Ｆ　西棟 ＡＣ室	

機　器　リ　ス　ト　（空気調和機－８）

機器番号	系　統　名　称	機　　器　　仕　　様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考
ＡＨＵ／３１	空気調和機 ４Ｆ東棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－９０Ｋ２－Ｂ　垂直型 冷房能力　５５，２００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３６，６００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型＃２　１／４　５，０００　ｍ³／ｈ３０　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１８×８９０×１８４ℓ／ｍｉｎ 出口空気　１６．５７　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９２　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　２９．４　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	3.7 0.1 60W×2	1	４Ｆ　東棟 ＡＣ室	
ＡＨＵ／３２	空気調和機 ５Ｆ西棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－９０Ｋ２－Ｂ　垂直型 冷房能力　５７，５００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３８，１００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型　＃２　１／４　５，２００ｍ³／ｈ３５　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１８×８９０×１８２ℓ／ｍｉｎ出口空気　１６．５５　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９４　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　３０．６　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	3.7 0.1 60W×2	1	５Ｆ　西棟 ＡＣ室	
ＡＨＵ／３３	空気調和機 ５Ｆ東棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－９０Ｋ２－Ｂ　垂直型 冷房能力　５４，７００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３６，３００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型　＃２　１／４　４，９５０　ｍ³／ｈ２９　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１８×８９０×１８３ℓ／ｍｉｎ出口空気　１６．５６　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９６　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　２９．２　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	3.7 0.1 60W×2	1	５Ｆ　東棟 ＡＣ室	
ＡＨＵ／３４	空気調和機 ６Ｆ西棟病室系統 （２４時間） （木村工機）	型式　　ＦＣＶ－９０Ｋ２－Ｂ　垂直型 冷房能力　５７，５００　　ｋｃａｌ／ｈ 暖房能力　３８，１００　　ｋｃａｌ／ｈ 送風機　シロッコ型　＃２　１／４　５，２００ｍ³／ｈ２８　ｍｍＡｑ　（機外 冷温水　ＷＲ７８１８×８９０×１８２ℓ／ｍｉｎ出口空気　１６．５５　℃ コイル　　〃　　出口空気　２２．９４　℃ フィルター　オートロールフィルターＨ－Ｆ＃２５－１２００重量法８０％以上 差圧制御，圧損（初期１２～最終４０　ｍｍＡｑ） フィルター　中性能フィルター　比色法　６０％以上 加湿器　　蒸気スプレー，加湿量　３０．６　ｋｇ／ｈ ドレンパン　ＳＵＳ３０４製　１．５　ｍｍｔ マリンランプ　防水電灯 防振装置　　スプリング式	3－200 3－200 1－100	3.7 0.1 60W×2	1	６Ｆ　西棟 ＡＣ室	

凡例

撹去対象機器・器具を示す。

機 器 リ ス ト （FCC, FCU）－1

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考（起動方式）（非常電源）
FCC／2	ファンコイルユニット 合計；4台撤去	型式　標準型　KCS－201GK　天井カセット型 冷却能力 全熱 1，640 kcal/h 顕熱 1，350 kcal/h 加熱能力 全熱 2，500 kcal/h 送風量　370 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　5ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	58W	47	4～6階　処置室；3台撤去 6階　ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室；1台撤去	木村工機
FCC／3	ファンコイルユニット	型式　標準型　KCS－301GK　天井カセット型 冷却能力 全熱 2，280 kcal/h 顕熱 1，880 kcal/h 加熱能力 全熱 3，420 kcal/h 送風量　520 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　7．5ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	65W	61		木村工機
FCC／4	ファンコイルユニット 合計；3台撤去	型式　標準型　KCS－401GK　天井カセット型 冷却能力 全熱 3，060 kcal/h 顕熱 2，500 kcal/h 加熱能力 全熱 4，590 kcal/h 送風量　690 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　10ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	82W	103	4～5階　ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室；2台撤去 6階　家族控室；1台撤去	木村工機
FCC／6	ファンコイルユニット 合計；5台撤去	型式　標準型　KCS－601GK　天井カセット型 冷却能力 全熱 4，370 kcal/h 顕熱 3，600 kcal/h 加熱能力 全熱 6，520 kcal/h 送風量　1，000 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　15ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	105W	49	4～6階　NS休憩室；3台撤去 4～5階　家族控室；2台撤去	木村工機
FCC／8	ファンコイルユニット	型式　標準型　KCS－801GK　天井カセット型 冷却能力 全熱 6，120 kcal/h 顕熱 4，830 kcal/h 加熱能力 全熱 9，210 kcal/h 送風量　1，290 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　20ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	165W	1		木村工機
FCU／3	ファンコイルユニット 合計；15台撤去	型式　標準型　FCU－3－302K　床置型 冷却能力 全熱 1，750 kcal/h 顕熱 1，450 kcal/h 加熱能力 全熱 2，770 kcal/h 送風量　420 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　6ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	58W	49	4階　病室1B468,470～473；5台撤去 5階　病室1B568,570～573；5台撤去 6階　病室1B668,670～673；5台撤去	木村工機
FCU／4	ファンコイルユニット	型式　標準型　FCU－4－402K　床置型 冷却能力 全熱 2，550 kcal/h 顕熱 2，070 kcal/h 加熱能力 全熱 4，260 kcal/h 送風量　560 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　8ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	64W	14		木村工機

機 器 リ ス ト （FCC, FCD, FCC－DR）－2

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考（起動方式）（非常電源）
FCU／6	ファンコイルユニット 合計；42台撤去	型式　標準型　FCU－6－602K　床置型 冷却能力 全熱 3，900 kcal/h 顕熱 3，100 kcal/h 加熱能力 全熱 5，810 kcal/h 送風量　m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　12ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	77W	71	4階 4階 4階 4階 5階 5階 5階 5階 6階 6階 6階 6階	木村工機
FCD／2	ファンコイルユニット	型式　標準型　FCU－2－200BK　天井隠蔽型 冷却能力 全熱 1，400 kcal/h 顕熱 1，240 kcal/h 加熱能力 全熱 2，240 kcal/h 送風量　360 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　4ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	45W	2		木村工機
FCD／3	ファンコイルユニット	型式　標準型　FCU－3－300BK　天井隠蔽型 冷却能力 全熱 2，010 kcal/h 顕熱 1，750 kcal/h 加熱能力 全熱 3，140 kcal/h 送風量　510 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　6ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	50W	1		木村工機
FCD／6	ファンコイルユニット	型式　標準型　FCU－6－600BK　天井隠蔽型 冷却能力 全熱 3，900 kcal/h 顕熱 3，470 kcal/h 加熱能力 全熱 6，040 kcal/h 送風量　1，020 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　12ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	88W	3		木村工機
FCD／8	ファンコイルユニット 合計；3台撤去	型式　標準型　FCU－8－800BK　天井隠蔽型 冷却能力 全熱 5，480 kcal/h 顕熱 4，660 kcal/h 加熱能力 全熱 8，820 kcal/h 送風量　1，320 m³/h 冷温水　冷水 （7 ℃），温水 （55 ℃） コイル　16ℓ/min フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	1－100	128W	9	4～6階　デイルーム食堂；3台撤去 (RA・SAﾁｬﾝﾊﾞｰ(GW25t内貼)1600x300x400H共)	木村工機
FCC／4D	ファンコイルユニット	型式　DC型　KCS－401GW2　天井カセット型 冷却能力 全熱 2，280 kcal/h 顕熱 2，160 kcal/h 加熱能力 全熱 2，250 kcal/h 冷温水　冷水 （7 ℃） コイル　7．9ℓ/min 冷温水　温水 （55 ℃） コイル　4ℓ/min	1－100	89W	1		木村工機
FCC／6D	ファンコイルユニット	型式　DC型　KCS－601GW2　天井カセット型 冷却能力 全熱 3，450 kcal/h 顕熱 3，270 kcal/h 加熱能力 全熱 2，950 kcal/h 冷温水　冷水 （7 ℃） コイル　11．5ℓ/min 冷温水　温水 （55 ℃） コイル　4ℓ/min	1－100	99W	3		木村工機

凡例

撤去対象機器・器具を示す。

機 器 リ ス ト

機器番号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考（起動方式）（非常電源）
ＦＣＣ／２　ＤＲ	ファンコイルユニット	型式　特ＤＣ型　ＫＣＳ－２０１ＧＷ２　天井カセット型 冷却能力　全熱　１，１４０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　１，１００　ｋｃａｌ／ｈ 冷却能力　全熱　７４７　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　６６９　ｋｃａｌ／ｈ 加熱能力　全熱　１，７４０　ｋｃａｌ／ｈ 送風量　３７０　ｍ³／ｈ 冷温水　冷温水　（７℃，５５℃） コイル　４．１　ℓ／ｍｉｎ 冷水　冷水　（７℃） コイル　３　ℓ／ｍｉｎ フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	１－１００	58W	3		木村工機
ＦＣＣ／３　ＤＲ	ファンコイルユニット	型式　特ＤＣ型　ＫＣＳ－３０１ＧＷ２　天井カセット型 冷却能力　全熱　１，６８０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　１，６７０　ｋｃａｌ／ｈ 冷却能力　全熱　１，２００　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　１，１２０　ｋｃａｌ／ｈ 加熱能力　全熱　２，４８０　ｋｃａｌ／ｈ 送風量　５２０　ｍ³／ｈ 冷温水　冷温水　（７℃，５５℃） コイル　５．６　ℓ／ｍｉｎ 冷水　冷水　（７℃） コイル　４　ℓ／ｍｉｎ フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	１－１００	65W	10		木村工機
ＦＣＣ／４　ＤＲ	ファンコイルユニット	型式　特ＤＣ型　ＫＣＳ－４０１ＧＷ２　天井カセット型 冷却能力　全熱　２，２８０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　２，１６０　ｋｃａｌ／ｈ 冷却能力　全熱　１，４２０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　１，３１０　ｋｃａｌ／ｈ 加熱能力　全熱　３，２２０　ｋｃａｌ／ｈ 送風量　６９０　ｍ³／ｈ 冷温水　冷温水　（７℃，５５℃） コイル　７．９　ℓ／ｍｉｎ 冷水　冷水　（７℃） コイル　４　ℓ／ｍｉｎ フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	１－１００	82W	11		木村工機
ＦＣＣ／６　ＤＲ 合計；15台撤去	ファンコイルユニット	型式　特ＤＣ型　ＫＣＳ－６０１ＧＷ２　天井カセット型 冷却能力　全熱　３，４５０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　３，２７０　ｋｃａｌ／ｈ 冷却能力　全熱　１，８９０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　１，６９０　ｋｃａｌ／ｈ 加熱能力　全熱　４，７００　ｋｃａｌ／ｈ 送風量　１，０００　ｍ³／ｈ 冷温水　冷温水　（７℃，５５℃） コイル　１１．５　ℓ／ｍｉｎ 冷水　冷水　（７℃） コイル　４　ℓ／ｍｉｎ フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	１－１００	108W	40	4～6階　N5；9台撤去 4階　病室4B475；2台撤去 5階　病室4B575；2台撤去 6階　病室4B675；2台撤去	木村工機
ＦＣＣ／８　ＤＲ	ファンコイルユニット	型式　特ＤＣ型　ＫＣＳ－８０１ＧＷ２　天井カセット型 冷却能力　全熱　４，８００　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　４，３５０　ｋｃａｌ／ｈ 冷却能力　全熱　２，９２０　ｋｃａｌ／ｈ　顕熱　２，６１０　ｋｃａｌ／ｈ 加熱能力　全熱　７，０６０　ｋｃａｌ／ｈ 送風量　１，２９０　ｍ³／ｈ 冷温水　冷温水　（７℃，５５℃） コイル　１６　ℓ／ｍｉｎ 冷水　冷水　（７℃） コイル　６　ℓ／ｍｉｎ フィルター　ポリオレフィン 付属品　ファンコイル弁・ファンコイルフレキ・小型二方弁組込	１－１００	165W	1		木村工機

凡例

撤去対象機器・器具を示す。

機　器　リ　ス　ト　（送風機－５）

機器番号	機　器　名　称	機　器　仕　様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考
FE／203	排気ファン ２F　ＩＣＵ諸室系統	型式　天吊片吸込シロッコ型　ＦＹ－１２ＦＫＳ－Ｂ#２ 能力　#２　３，７００m³／ｈ １７　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	1.5	1	２F　廊下	松下電器製 ＡＨＵ／１５と連動
FE／204	排気ファン ２F　手術ホール器材庫系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－０８ＦＫＳ－Ｂ#１　１／４ 能力　#１　１／４　１，３５０m³／ｈ ２１　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	0.4	1	１F　ＯＰ ＡＣ室	松下電器製 ＡＨＵ／１７と連動
FE／205	排気ファン ２F　中材既滅菌系統	型式　消音型キャビネットファン　ＦＹ－２５ＳＣＴ 能力　２５０φ　１，０５０m³／ｈ １５　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	３－２００	210	1	２F　既滅菌 材料	松下電器製 ＡＨＵ／２４と連動
FE／206	排気ファン ２F　中材オートクレーブ系統	型式　天吊キャビネットファン　ＦＹ－１５ＦＵＳ－Ｂ#２　１／２ 能力　#２　１／２　５，２００m³／ｈ １４　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	３－２００	1.5	1	２F　既滅菌 材料	松下電器製 ＡＨＵ／２４と連動
FE／207	排気ファン ２F　健診（診察・ディルーム） 系統	型式　消音型キャビネットファン　ＦＹ－２５ＳＣＧ１ 能力　２５０φ　８００m³／ｈ １３　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	180W	1	２F　組合 事務所	松下電器製 手元発停
FE／208	排気ファン ２F　健診（眼底・採血・受付） 系統	型式　消音型キャビネットファン　ＦＹ－２０ＳＣＳ 能力　２００φ　４５０m³／ｈ １１　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	88W	1	２F　組合 事務所	松下電器製 手元発停
FE／209	排気ファン ２F　ＩＣＵ（熱傷）系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－４０ＵＳＨ#３　１／２ 能力　４００φ　１，３００m³／ｈ ２５　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	424W	1	２F　ＩＣＵ４Ｂ	松下電器製 手元発停
FE／210	排気ファン ２F　ＩＣＵ（無菌）系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－４０ＵＳＬ#３　１／２ 能力　#３　１／２　１，３００m³／ｈ １６　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	290W	1	２F　ＩＣＵ１Ｂ （無菌）	松下電器製 手元発停
FE／211	排気ファン ２F　ＩＣＵ１Ｂ系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－４０ＵＳＬ#３　１／２ 能力　#３　１／２　１，０００m³／ｈ ２２　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	290W	1	２F　廊下	松下電器製 手元発停
FE／212	排気ファン ２F　家族控室（手術・ＩＣＵ） 系統	型式　消音型キャビネットファン　ＦＹ－１８ＳＣＳ 能力　１８０φ　３００m³／ｈ ８　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	71W	1	２F　家族控 室（ＯＰ）	松下電器製 手元発停
FV／201	天井扇 ２F　組合事務所系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２７ＳＫ１ 能力　２５０m³／ｈ ５　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	35W	1	２F　組合 事務所	松下電器製 手元発停
FV／202	天井扇 ２F　ＮＳ当直室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４Ｓ１ 能力　１００m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	15.5W	1	２F　ＮＳ 当直室	松下電器製 手元発停
FV／203	天井扇 ２F　管理女子更衣室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２７ＳＫ１ 能力　２５０m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	35W	1	２F　管理女 子更衣室	松下電器製 手元発停
FV／204	天井扇 ２F　管理男子更衣室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２７Ｓ２ 能力　２００m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	29W	1	２F　管理男 子更衣室	松下電器製 手元発停
FV／205	天井扇 ２F　管理倉庫系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４ＳＫ１ 能力　１５０m³／ｈ ４　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	24W	1	２F　管理 倉庫	松下電器製 手元発停
FV／206	天井扇 ２F　組合事務所系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４ＳＫ１ 能力　１７５m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	24W	2	２F　組合 事務所	松下電器製 手元発停
FV／207	天井扇 ２F　人工透析隔離室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４Ｓ１ 能力　１００m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	15.5	1	２F　人工透 析隔離室	松下電器製 手元発停
FV／208	送風機 ２F　人工透析カウンター内系統	型式　パイプファン　ＦＹ－０８ＰＣ２ 能力　５０m³／ｈ ０．８　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	2.7W	5	２F　人工透 析カウンター 内	松下電器製 手元発停
FV／209	天井扇 ２F　ＣＶＣＦ室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２７ＳＫ１ 能力　２５０m³／ｈ ３　ｍｍＡｑ 付属品　サーモ	１－１００	35W	1	２F　ＣＶＣＦ	松下電器製 サーモ発停
FE／301	排気ファン ３F　新生児・前室・器材庫系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－３５ＵＳＭ 能力　３５０φ　４５０m³／ｈ １１ｍｍＡｑ(弱ノッチ) 付属品　吊防振	１－１００	109W	1	３F　産科 廊下	松下電器製 中央発停
FE／302	排気ファン ３F　汚物処理室系統	型式　中間用ダクトファン　ＦＹ－１８ＤＺＫ 能力　１５０m³／ｈ ８　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	37W	1	３F　産科 廊下	松下電器製 中央発停
FE／303	排気ファン ３F　ＬＤＲ－１系統	型式　中間用ダクトファン　ＦＹ－２０ＤＺＸ 能力　２００m³／ｈ ７　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振，防湿型	１－１００	56W	1	３F　ＬＤＲ－1	松下電器製 手元発停
FE／304	排気ファン ３F　ＬＤＲ－２系統	型式　中間用ダクトファン　ＦＹ－２０ＤＺＸ 能力　２００m³／ｈ ７　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振，防湿性	１－１００	56W	1	３F　ＬＤＲ－1	松下電器製 手元発停

機　器　リ　ス　ト　（送風機－６）

機器番号	機　器　名　称	機　器　仕　様	電動機容量 φ－V	電動機容量 KW	台数	設置場所	備考
FE／305	排気ファン ３F　未熟児・ＬＤＲ前室系統	型式　静音型キャビネットファン　ＦＹ－１８ＮＣＦ 能力　１８０φ　３００m³／ｈ ９　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	95.8W	1	３F　ＬＤＲ－2	松下電器製 手元発停
FV／301	天井扇 ３F　当直室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４ＳＫ１ 能力　１００m³／ｈ ５　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	24W	3	３F　当直室	松下電器製 手元発停
FV／302	天井扇 ３F　業務座務，湯沸室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－３２ＳＧ１ 能力　２５０m³／ｈ ４ｍｍＡｑ(弱ノッチ) 付属品	１－１００	44W	1	３F　業務	松下電器製 手元発停
FV／303	天井扇 ３F　新生児・隔離室系統	型式　低騒音天井埋込型　ＦＹ－２４ＳＫ１ 能力　１００m³／ｈ ７　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	24W	1	３F　新生児 ・隔離室	松下電器製 手元発停
FE／701	排気ファン ７F　厨房系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１８ＦＫＳ－ＢＣ#３ 能力　#３　８，３００m³／ｈ １７　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	1.5	1	ＰＨ　ファンルーム	松下電器製 手元発停
FE／702	排気ファン ７F　一般・職員食堂系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－２３ＮＣＴ 能力　３００φ　１，０００m³／ｈ ９　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	３－２００	291W	1	ＰＨ　ファンルーム	松下電器製 手元発停
FE／704	排気ファン ７F　便所系統	型式　消音斜流ファン　ＦＹ－２８ＵＳＦ 能力　２５０φ　３００m³／ｈ １０　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振	１－１００	87W	1	ＰＨ，ＡＣ　室	松下電器製 手元発停
FE／705	排気ファン ７F　ＥＬＶ機械室系統	型式　静音型キャビネットファン　ＦＹ－２８ＮＣＴ 能力　２５０φ　１，５００m³／ｈ ８　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振，サーモ	３－２００	325W	1	７F　エレベー ター ホール	松下電器製 サーモ発停
FV／701	天井扇 ７F　食堂倉庫	型式　低騒音型天井埋込型　ＦＹ－２４ＳＩ 能力　１００m³／ｈ　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	15.5W	1	７F　食堂 倉庫	松下電器製 手元発停
FV／702	天井扇 ７F　洗濯室	型式　低騒音型天井埋込型　ＦＹ－２７ＳＫＩ 能力　２５０m³／ｈ ８　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	35W	1	７F　洗濯室	松下電器製 手元発停
FV／703	天井扇 ７F　Ｘ線フィルム庫	型式　低騒音型天井埋込型　ＦＹ－２７ＳＫＩ 能力　２５０m³／ｈ ８　ｍｍＡｑ 付属品	１－１００	35W	1	７F　Ｘ線　フィ ルム庫	松下電器製 手元発停
LU／701	空調換気扇 ７F　理容室	型式　熱交換気ユニット　ＦＹ－５００ＺＤＲ 能力　５００m³／ｈ ４　ｍｍＡｑ 付属品　吊防振，スイッチ，透湿膜加湿器	１－１００	270W	1	７F　理容室	松下電器製 手元発停
FE／R01	排気ファン 西棟病室便所系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１８ＦＫＳ－ＢＣ#３ 能力　#３　９，６５０m³／ｈ ３８　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	3.7	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R02	排気ファン 西棟病室浴室系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１２ＦＫＳ－ＢＣ#２ 能力　#２　３，５００m³／ｈ ３３　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	1.5	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R03	排気ファン 西棟病室湯沸室系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－０６ＦＫＳ－ＢＣ#１ 能力　#１　５５０m³／ｈ １３　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	0.2	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R04	排気ファン 管理・講義・図書系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１８ＦＫＳ－ＢＣ#３ 能力　#３　８，４００m³／ｈ ５１　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	3.7	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R05	排気ファン 西棟病室ゴミ集積室系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－０９ＦＫＳ－ＢＣ#１　１／２ 能力　#１　１／２　１，５００m³／ｈ １６　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	0.4	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R06	排気ファン 西棟病室職員便所系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－０６ＦＫＳ－ＢＣ#１ 能力　#１　７００m³／ｈ １７　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	0.4	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R07	排気ファン 西棟病室ナースステーション系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１２ＦＫＳ－ＢＣ#２ 能力　#２　５，２５０m³／ｈ ３８　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	2.2	1	７F　西棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R08	排気ファン 東棟病室便所系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１８ＦＫＳ－ＢＣ#３ 能力　#３　１２，２００m³／ｈ３６　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	5.5	1	７F　東棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R09	排気ファン 東棟病室浴室系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１５ＦＫＳ－ＢＣ#２　１／２ 能力　#２　１／２　５，９００m³／ｈ ４３　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	2.2	1	７F　東棟　ファ ンルーム	松下電器製 中央発停
FE／R10	排気ファン 東棟病室配膳室系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－０９ＦＫＳ－ＢＣ#１　１／２ 能力　#１　１／２　１，５００m³／ｈ １６　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	0.4	1	ＰＨ　屋上	松下電器製 中央発停
FE／R11	排気ファン 東棟病室ナースステーション系統	型式　床置片吸込シロッコ型　ＦＹ－１２ＦＫＳ－ＢＣ#２ 能力　#２　３，９５０m³／ｈ ２８　ｍｍＡｑ 付属品　スプリング防振	３－２００	1.5	1	ＰＨ　屋上	松下電器製 中央発停

凡例

▨　撤去対象機器・器具を示す。

機器表(AHU)

記号	名称	機器仕様 型式	設置位置	送風量 還気量 (m3/h)	外気量 排気量 (m3/h)	機外静圧 (Pa)	電気容量 相 (φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	防振装置	風量制御	コイル組合せ	コイル(上段：冷却 下段：加熱) 能力 (kW)	入口空気 DB℃	入口空気 WB℃	出口空気 DB℃	出口空気 WB℃	入口水温 (℃)	出口水温 (℃)	水量 (L/min)	加湿ユニット 種別	有効加湿量 (kg/h)	電源容量 (kW)	フィルター メイン 型式	プレ 型式	台数	非常電源	参考重量 (kg)	設置場所
AHU-30	外気処理空気調和機	ユニット型	床置	6,000	—	350	3	200	3.7	SP	INV	CH	66.9	36.0	26.8	16.55	15.6	7.0	12.0	191.7	蒸気	28.3	—	中性能	不織布	1	○		4階 AC室
				—	6,000		—	—	—				44.3	-0.4	-1.6	24.66	15.6	55.0	50.0	126.9									
AHU-32	外気処理空気調和機	ユニット型	床置	6,000	—	350	3	200	3.7	SP	INV	CH	66.9	36.0	26.8	16.55	15.6	7.0	12.0	191.7	蒸気	28.3	—	中性能	不織布	1	○		5階 AC室
				—	6,000		—	—	—				44.3	-0.4	-1.6	24.66	15.6	55.0	50.0	126.9									
AHU-34	外気処理空気調和機	ユニット型	床置	6,000	—	350	3	200	3.7	SP	INV	CH	66.9	36.0	26.8	16.55	15.6	7.0	12.0	191.7	蒸気	28.3	—	中性能	不織布	1	○		6階 AC室
				—	6,000		—	—	—				44.3	-0.4	-1.6	24.66	15.6	55.0	50.0	126.9									

-特記事項-

1. 機器類の能力・容量は表示された能力以上とし、
   電動機出力は参考値とする。
2. 機動方式は特記なき限り7.5kW以下直入起動
   11.0kW以上はｽﾀｰﾃﾞﾙｶ起動とする。
3. 電動機の保護方法は、室内は防滴保護型、屋外は全閉防まつ型とする。
4. ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は既設利用とする。
5. 防振 SP：ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ防振架台(高性能型)
6. 風量制御装置 SD：ｽｸﾛｰﾙﾀﾞﾝﾊﾟｰ
   INV：ｲﾝﾊﾞｰﾀとする(機器付属)
7. ｺｲﾙ組合せ種別 CH：冷温水ｺｲﾙ
   C：冷水ｺｲﾙ
   H：温水ｺｲﾙ
8. ｺｲﾙの耐圧は、冷水・温水ｺｲﾙは10kg/cm2とする。
9. ﾄﾞﾚﾝﾄﾗｯﾌﾟを設けること。
10. 動力制御盤(INV)付属とし、遠方発停、運転表示、故障表示接点付とする。
    また、INV故障時のﾊﾞｲﾊﾟｽ回路付とする。
11. 機器搬入が分割の場合、搬入後の機内配線工事はﾒｰｶｰ工事とする。
12. 加湿給水用電磁弁を組込みとする。
13. その他
    ・機内静圧は200Pa以下とし、ﾌｨﾙﾀｰ及び全熱交換器の圧力損失は含まない。
    ・最小断面積平均通過速度、ﾕﾆｯﾄ型は2.5m/s以下、ｺﾝﾊﾟｸﾄ型は3.0m/s以下とする。
    ・ﾄﾞﾚﾝﾊﾟﾝはｽﾃﾝﾚｽ鋼板(SUS304)による厚さ1.5mm以上とする。
    ・基礎ﾎﾞﾙﾄ、銘板付
    ・ﾌｨﾙﾀｰには差圧計付とする。

機器表(FCU)

記号	型式	方式	冷房能力 (全熱) (kW)	暖房能力 (kW)	水量 種類	流量 (L/min)	入口温度 (℃)	出口温度 (℃)	風量 (m3/h)	電気容量 相 (Φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	圧縮機出力 (kW)	ｴｱﾌｨﾙﾀｰ	容量制御 2方弁組込	定流量弁	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	ﾄﾞﾚﾝﾎﾟﾝﾌﾟ	設置場所	台数 合計	4F	5F	6F	非常電源	参考重量 (kg)	備考
FBP-13	CID	2管 冷温水	2.00	2.20	冷水	3.0	7.0	12.0	240	1	100	0.66	0.3	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 観察室(1床)	9	3	3	3	—	48	参考型番：FBP13AAL
					温水	3.0	55.0	50.0																		
FBP-24	CID	2管 冷温水	3.20	4.00	冷水	6.0	7.0	12.0	390	1	100	0.66	0.4	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 病室(4床)	24	8	8	8	—	63	参考型番：FBP24ABL
					温水	6.0	55.0	50.0																		
FBP-34	CID	2管 冷温水	4.00	4.90	冷水	8.0	7.0	12.0	480	1	100	0.80	0.4	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 観察室(4床)	6	2	2	2	—	63	参考型番：FBP34ABL
					温水	8.0	55.0	50.0																		
FCC-2	CK-2	4管	1.77	2.35	冷水	5.1	7.0	12.0	300	1	100	0.06	—	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 準備室	3	1	1	1	—	25	
					温水	3.0	55.0	50.0																		
FCC-4	CK-2	4管	3.47	4.37	冷水	10.0	7.0	12.0	594	1	100	0.11	—	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 休憩室	3	1	1	1	—	31	
					温水	5.0	55.0	50.0																		
FCC-6	CK-2	4管	5.15	6.36	冷水	14.7	7.0	12.0	920	1	100	0.13	—	○	(自動制御)	○	○	×	4～6階 デイルーム他	12	5	5	2	—	36	
					温水	6.0	55.0	50.0																		
FCC-8	CK-2	4管	6.63	8.33	冷水	18.9	7.0	12.0	1227	1	100	0.18	—	○	(自動制御)	○	○	×	6階 デイルーム・Nｓステーション	3	0	0	3	—	46	
					温水	7.0	55.0	50.0																		

-特記事項-

1. 機器類の能力・容量は表示された数値以上とする。
2. 機器は全てメーカー標準仕様とする。
3. 上記の能力は入口空気条件
   夏期DB26℃ WB18.7℃、冬期 DB22℃ WB15.4℃の能力とする。
4. 天井カセット型は2方向吹出型とする。(化粧パネル付)
5. 天井埋込型は機外静圧50Pa以上とする。
6. カセット形にはドレン高さ調整用ハカマを付属とする。(ドレンアップメカ不可)
7. フィルターは標準品とし、天井埋込ダクト形にはフィルター組込チャンバーを付属する。
8. FCCのドレンパンはSUS製とする。
9. FCCの小型電動ボール弁×2（シングルコイルは×1）、温度検出器、デジタル調節器は、自動制御設備からファンコイルメーカーへ支給し、
   ファンコイルメーカー工事にて取付、配線とする。リモコンスイッチは自動制御設備工事とする。
10. ドレン30A以下はCトラップとする。
11. FBPはヒートポンプ付きファンコイルユニットを示す。
12. FBPの制御機器、スイッチはユニット工事に含み、リモコンスイッチは自動制御設備に支給する。

機器表(AC)

記号	名称	仕様 型式	冷房 能力 (kW)	暖房 能力 (kW)	送風量 風量 (m3/h)	送風量 機外静圧 (Pa)	フィルター メーカー標準	電気容量 相 (φ)	電圧 (V)	圧縮機 出力 (kW)	送風機 屋外 (kW)	送風機 屋内 (kW)	消費電力 冷房 (kW)	消費電力 暖房 (kW)	ヒーター出力 (kW)	加湿器出力 (kW)	ドレンアップメカ出力 (kW)	始動方式	設置場所	台数 合計	4F	5F	6F	付属品 リモコン方式	機器架台及び防振架台	非常電源	備考
AC-28	パッケージ型空気調和機	壁掛形	2.8	3.6	810	—	○	1	100	0.75	0.021	0.026	0.78	0.89	—	—	—	直入	4～6階 病室(1床)、仮眠室、器材室3	24	8	8	8	○	○	—	

-特記事項-

1. フィルター捕集効果はプレ（重量法 70%以上）、中性能（光散乱積算法補修効果 90%以上）とする。
2. 屋内外機の渡り配線は本工事とする。（冷媒配管共巻き）
3. リモコン及び配線工事は本工事とする。
4. 冷媒は新冷媒（R32）とする。
5. 屋外機の基礎は本工事とする。（ベランダ）
6. 各室のリモコンは多機能リモコンとする。
7. フィルター予備は100%とする。
8. 屋外機器のアンカーボルトはSUS304とする。

送風機

記号	名称	系統 階	系統名称・室名称	24時間換気対応	仕様 型式	接続ダクト (φ)	サイズ (#)	風量 (m3/h)	機外静圧 (Pa)	フィルター プレ	中性能	HEPA	電気容量 相 (φ)	電圧 (V)	容量 (kW)	始動方式	設置場所	台数 合計	4F	5F	6F	屋上	付属品 コントロールスイッチ	機器架台及び防振架台	制御	非常用電源	参考重量 (kg)	備考
FE-R01	片吸込シロッコファン	屋上	西病棟便所系		床置形	150	3	9,650	380	—	—	—	3	200	3.7	L-S	屋上	1				1	—	○	D	—	10	中央発停
FE-R02	片吸込シロッコファン	屋上	西病棟浴室系		床置形	200	2	3,500	330	—	—	—	3	200	1.5	L-S	屋上	1				1	—	○	D	—	15	中央発停
FE-R05	片吸込シロッコファン	屋上	ゴミ集積系		床置形	150	1	1,500	160	—	—	—	3	200	0.4	L-S	屋上	1				1	—	○	D	—	10	中央発停
FE-R06	片吸込シロッコファン	屋上	職員便所系		床置形	300×750	1	700	170	—	—	—	3	200	0.2	L-S	屋上	1				1	—	○	D	—	90	中央発停
FE-R07	片吸込シロッコファン	屋上	SS系		床置形	200	2	5,250	380	—	—	—	3	200	3.7	L-S	屋上	1				1	—	○	D	—	20	中央発停
FV-1	天井扇				低騒音形	100	-	75	50	—	—	—	1	100	0.015	L-S	4～6階 病室(1床)、観察室(1床)	15	5	5	5		○	—	A	—	3.6	
FV-2	天井扇				低騒音形	100	-	120	50	—	—	—	1	100	0.023	L-S	4～6階 病室(4床)	27	9	9	9		○	—	A	—	3.6	
FV-3	天井扇				低騒音形	150	-	250	50	—	—	—	1	100	0.035	L-S	4～6階 観察室(4床)	6	2	2	2		○	—	A	—	3.6	

-特記事項-

1. フィルター捕集効果はプレ（重量法 70%以上）、中性能（光散乱積算法補修効果 65%以上）とする。
2. 換気ファンの電動機出力[kW]は、JIS C 9603(換気扇)で規定された消費電力に0.75を乗じた値とする。
3. 換気ファンの電動機は、JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機)に規定された低圧トップランナーモーターとする。
5. ベンドキャップは全てSUS製平型（焼付塗装色）とする。（給気：防虫網付、排気：防虫網付）
6. 天井扇は天吊り金具を付属とする。
7. 片吸込みシロッコファンには、Ｖベルトガード裏カバー、回転測定口、ドレン抜き、かご型天吊りベッド（#2以上の機種）を付属とする。

■制御仕様

Ａ：手元スイッチによるＯＮ／ＯＦＦ（電気工事）
Ｂ：手元スイッチ＋タイマーによるＯＮ／ＯＦＦ（電気工事）
Ｃ：コントロールスイッチによるＯＮ／ＯＦＦ（配管・配線は本工事）
Ｄ：自動制御工事（本工事）
Ｅ：サーモ・ヒューミスイッチによるＯＮ／ＯＦＦ（電気工事）
Ｆ：人感センサー（遅延タイマー付）によるＯＮ／ＯＦＦ（電気工事）
Ｇ：他機器と連動（電気工事）
Ｈ：室圧によるＯＮ／ＯＦＦ（本工事）

区分	階数	室名	系統		吹出口				系統		吸込口				備考
			空調	換気	風量m^3/h	型式	寸法	個数	空調	換気	風量m^3/h	型式	寸法	個数	
	4	１Ｂ×４室	AHU-30		100	VHS	１５０×１５０	１×４		FE-R01	100	HS	１５０×１５０	１×４	
		４Ｂ×９室	AHU-30		150	VHS	２００×１５０	１×９							
		１Ｂ×５室	AHU-30		100	VHS	１５０×１５０	１×５							
		特１Ｂ	AHU-30		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R01	150	HS	１５０×１５０	1	
		デイルーム・食堂	AHU-30		250	C2	＃１２．５	1		FE-R07	250	HS	２００×２００	1	
		デイルーム・食堂	FCD-8		660	VHS	３５０×３５０	2			660	HS	３５０×３５０	2	
		ＮＳステーション	AHU-30		300	C2	＃１５	2		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	2	
		処置室	AHU-30		100	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	２００×１５０	1	
		観察室４Ｂ	AHU-30		250	C2	＃１２．５	1		FE-R07	250	HS	２５０×２００	1	
		ＮＳ休憩室	AHU-30		150	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		カンファレンス	AHU-30		100	C2	＃１２．５	2		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	2	
		家族控室（湯沸）	AHU-30		100	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	２００×１５０	1	
		〃	AHU-30		150	C2	＃１２．５	1							
		搬送室	AHU-30		150	VHS	２００×１５０	1							
		ＥＶホール	AHU-30		75	ＢＬ－Ｓ	1000	2							
		廊下	AHU-30		200	C2	＃１２．５	6							
		MWC								FE-R01	350	HS	２５０×２００	2	
		WWC								FE-R01	300	HS	２００×２００	2	
		汚物処理室								FE-R01	100	HS	１５０×１５０	1	蓄尿棚１００^{CMH}
															便器棚１００^{CMH}
		車イスＷＣ								FE-R01	150	HS	１５０×１５０	1	
		乾燥室								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗濯								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗髪								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		浴室・脱衣室								FE-R02	400	HS	３００×２００	1	
		リネン庫								FE-R02	50	HS	１５０×１５０	1	
		器材庫								FE-R02	150	HS	１５０×１５０	1	
		洗面								FE-R02	200	HS	２００×１５０	1	
		ポータブル庫								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	1	
		リネン庫								FE-R07	50	HS	１５０×１５０	1	
		汚物処理室								FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		WC								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	1	
		ゴミ集積室								FE-R05	500	HS	３５０×２００	1	
		医療用ＥＶホール	AHU-31		50	ＢＬ－Ｓ	1000	2							
		配膳室	AHU-31		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R10	250	HS	２５０×２００	1	
		観察室４Ｂ	AHU-31		125	C2	＃１２．５	2		FE-R11	250	HS	２５０×２００	1	
		ＮＳステーション	AHU-31		300	C2	＃１５	2		FE-R11	100	HS	１５０×１５０	2	
		処置室	AHU-31		100	C2	＃１２．５	1		FE-R11	150	HS	２００×１５０	1	
		ＮＳ休憩室	AHU-31		150	C2	＃１２．５	1							
		カンファレンス室	AHU-31		100	C2	＃１２．５	1							
		１Ｂ×４室	AHU-31		100	VHS	１５０×１５０	１×４							
		プレイルーム	AHU-31		100	VHS	１５０×１５０	1							
		４Ｂ×９室	AHU-31		150	VHS	２００×１５０	１×９							
		１Ｂ×６室	AHU-31		100	VHS	１５０×１５０	１×６		FE-R08	100	HS	１５０×１５０	１×６	
		デイルーム・食堂	AHU-31		125	C2	＃１２．５	2							
		廊下	AHU-31		213	C2	＃１５	4							
		職員ＷＣ								FE-R06	250	HS	２５０×１５０	1	
		汚物処理・小児ＷＣ								FE-R11	250	HS	２５０×１５０	1	
		リネン庫								FE-R11	50	HS	１５０×１５０	1	
		MWC								FE-R08	350	HS	２５０×２００	2	
		WWC								FE-R08	325	HS	２５０×２００	2	
		汚物処理室								FE-R08	100	HS	１５０×１５０	1	蓄尿棚１００^{CMH}
															便器棚１００^{CMH}
		車イスＷＣ								FE-R08	200	HS	２００×１５０	1	
		乾燥室								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗濯								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗髪								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		浴室・脱衣室								FE-R09	350	HS	２５０×２００	1	
		器材庫								FE-R09	150	HS	１５０×１５０	1	
		リネン庫								FE-R09	50	HS	１５０×１５０	1	
		洗面								FE-R09	200	HS	２００×１５０	1	

区分	階数	室名	系統		吹出口				系統		吸込口				備考
			空調	換気	風量m^3/h	型式	寸法	個数	空調	換気	風量m^3/h	型式	寸法	個数	
	5	4B	AHU-32		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R01	100	HS	１５０×１５０	1	
		１Ｂ×４室	AHU-32		100	VHS	１５０×１５０	１×４		FE-R01	100	HS	１５０×１５０	１×４	
		４Ｂ×４室	AHU-32		150	VHS	２００×１５０	１×４							
		１Ｂ×５室	AHU-32		100	VHS	１５０×１５０	１×５							
		特１Ｂ	AHU-32		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R01	150	HS	２００×１５０	1	
		４Ｂ×４室	AHU-32		150	VHS	２００×１５０	4							
		デイルーム・食堂	AHU-32		250	C2	＃１２．５	1							
		デイルーム・食堂	FCD-8		660	VHS	３５０×３５０	2			660	HS	３５０×３５０	2	
		MWC								FE-R01	350	HS	２５０×２００	2	
		WWC								FE-R01	300	HS	２００×２００	2	
		汚物処理室								FE-R01	100	HS	１５０×１５０	1	蓄尿棚１００^{CMH}
															便器棚１００^{CMH}
		車イスＷＣ								FE-R01	150	HS	１５０×１５０	1	
		乾燥室								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗濯室								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗髪室								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	1	
		浴室・脱衣室								FE-R02	400	HS	３００×２００	1	
		リネン庫								FE-R02	50	HS	１５０×１５０	1	
		器材室								FE-R02	150	HS	１５０×１５０	1	
		洗面室								FE-R02	200	HS	２００×１５０	1	
		ＮＳステーション	AHU-32		300	C2	＃１５	2		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	2	
		処置室	AHU-32		100	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		観察４Ｂ	AHU-32		250	C2	＃１２．５	1		FE-R07	250	HS	２５０×２００	1	
		ＮＳ休憩室	AHU-32		150	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		カンファレンス	AHU-32		100	C2	＃１２．５	2		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	2	
		ポータブル庫								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	1	
		リネン庫								FE-R07	50	HS	１５０×１５０	1	
		家族控室（湯沸）	AHU-32		100	C2	＃１２．５	1		FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		〃　（控室）	AHU-32		150	C2	＃１２．５	1							
		汚物処理室								FE-R07	150	HS	１５０×１５０	1	
		WC								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	1	
		搬送室	AHU-32		150	VHS	２００×１５０	1							
		ＥＶホール	AHU-32		75	BL-S	1000	2							
		ゴミ集積室								FE-R05	500	HS	３５０×２００	1	
		廊下	AHU-32		200	C2	＃１２．５	4							
		職員ＷＣ								FE-R06	250	HS	２５０×１５０	1	
		医療用ＥＶホール	AHU-33		50	BL-S	1000	2							
		配膳室	AHU-33		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R10	250	HS	２５０×１５０	1	
		観察室４Ｂ	AHU-33		125	C2	＃１２．５	2		FE-R11	250	HS	２５０×２００	1	
		ＮＳステーション	AHU-33		300	C2	＃１５	2		FE-R11	100	HS	１５０×１５０	2	
		処置室	AHU-33		100	C2	＃１２．５	1		FE-R11	150	HS	１５０×１５０	1	
		汚物処理・小児ＷＣ								FE-R11	250	HS	２５０×１５０	1	
		ＮＳ休憩室	AHU-33		150	C2	＃１２．５	1							
		カンファレンス室	AHU-33		100	C2	＃１２．５	1							
		リネン庫								FE-R11	50	HS	１５０×１５０	1	
		１Ｂ×５室	AHU-33		100	VHS	１５０×１５０	１×５							
		デイルーム・食堂	AHU-33		125	C2	＃１２．５	2							
		４Ｂ×８室	AHU-33		150	VHS	２００×１５０	１×８							
		4B	AHU-33		150	VHS	２００×１５０	1		FE-R08	100	HS	１５０×１５０	1	
		１Ｂ×４室	AHU-33		100	VHS	１５０×１５０	１×４		FE-R08	100	HS	１５０×１５０	１×４	
		特１Ｂ	AHU-33		150	C2	＃１２．５	1		FE-R08	150	HS	２００×１５０	1	
		MWC								FE-R08	350	HS	２５０×２００	2	
		WWC								FE-R08	325	HS	２５０×２００	2	
		汚物処理室								FE-R08	200	HS	２００×１５０	1	蓄尿棚１００^{CMH}
															便器棚１００^{CMH}
		車イスＷＣ								FE-R08	200	HS	２００×１５０	1	
		器材庫								FE-R09	150	HS	１５０×１５０	1	
		浴室・脱衣室								FE-R09	350	HS	２５０×２００	1	
		洗髪室								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		洗濯室								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		乾燥室								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	1	
		リネン庫								FE-R09	50	HS	１５０×１５０	1	
		洗面室								FE-R09	200	HS	２００×１５０	1	
		廊下	AHU-33		213	C2	＃１５	4							

凡例

（斜線）撤去対象機器・器具を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第215902号
鮫　島　慎　一

鳥取市立病院西病棟改修工事
空調換気設備　制気口リスト(1)(撤去)
2026.3
A1:－
A3:－
MA-006

区分	階数	室名	系統 空調	系統 換気	吹出口 風量m³/h	吹出口 型式	吹出口 寸法	吹出口 個数	系統 空調	系統 換気	吸込口 風量m³/h	吸込口 型式	吸込口 寸法	吸込口 個数	備考
	6	１Ｂ×５室	AHU-34		100	VHS	１５０×１５０	１×５							
		１Ｂ×４室	AHU-34		100	VHS	１５０×１５０	１×４		FE-R01	100	HS	１５０×１５０	１×４	
		特１Ｂ	AHU-34		150	VHS	２００×１５０	１		FE-R01	150	HS	２００×１５０	１	
		４Ｂ×９室	AHU-34		150	VHS	２００×１５０	１×９							
		デイルーム・食堂	AHU-34		250	C2	＃１２．５	１		FE-R07	250	HS	２００×２００	１	
		デイルーム・食堂	FCD-S		660	VHS	３５０×３５０	２			660	HS	３５０×３５０	２	
		ＮＳステーション	AHU-34		300	C2	＃１５	２		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	２	
		処置室	AHU-34		100	C2	＃１２．５	１		FE-R07	150	HS	２００×１５０	１	
		観察室４Ｂ	AHU-34		250	C2	＃１２．５	１		FE-R07	250	HS	２５０×２００	１	
		ＮＳ休憩室	AHU-34		150	C2	＃１２．５	１		FE-R07	150	HS	１５０×１５０	１	
		カンファレンス室	AHU-34		100	C2	＃１２．５	１		FE-R07	100	HS	１５０×１５０	１	
		家族控室（浴槽）	AHU-34		100	C2	＃１２．５	１		FE-R07	150	HS	２００×１５０	１	
			AHU-34		150	C2	＃１２．５	１							
		搬送室	AHU-34		150	VHS	２００×１５０	１							
		ＥＶホール	AHU-34		75	ＢＬ－Ｓ	1000	２							
		廊下	AHU-34		200	C2	＃１２．５	６							
		MWC								FE-R01	350	HS	２５０×２００	２	
		WWC								FE-R01	300	HS	２００×２００	２	
		汚物処理室								FE-R01	100	HS	１５０×１５０	１	蓄尿棚１００CMH
															便器棚１００CMH
		車イスＷＣ								FE-R01	150	HS	１５０×１５０	１	
		乾燥室								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	１	
		洗濯								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	１	
		洗髪								FE-R02	100	HS	１５０×１５０	１	
		浴室								FE-R02	400	HS	３００×２００	１	
		器材庫								FE-R02	150	HS	１５０×１５０	１	
		洗面								FE-R02	200	HS	２００×１５０	１	
		汚物処理室								FE-R07	150	HS	１５０×１５０	１	
		MC								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	１	
		職員ＷＣ								FE-R06	250	HS	２５０×２００	１	
		ポータブル庫								FE-R07	100	HS	１５０×１５０	１	
		リネン庫								FE-R07	50	HS	１５０×１５０	１	
		ゴミ集積室								FE-R05	500	HS	３５０×２００	１	
		リネン庫								FE-R02	50	HS	１５０×１５０	１	
		医療用ＥＶホール	AHU-35		50	ＢＬ－Ｓ	1000	２							
		配膳室	AHU-35		150	VHS	２００×１５０	１		FE-R10	250	HS	２５０×２００	１	
		観察室４Ｂ	AHU-35		125	C2	＃１２．５	２		FE-R11	250	HS	２５０×２００	１	
		ＮＳステーション	AHU-35		300	C2	＃１５	２		FE-R11	100	HS	１５０×１５０	２	
		処置室	AHU-35		100	C2	＃１２．５	１		FE-R11	150	HS	１５０×１５０	１	
		ＮＳ休憩室	AHU-35		150	C2	＃１２．５	１							
		カンファレンス室	AHU-35		100	C2	＃１２．５	１							
		１Ｂ×５室	AHU-35		100	VHS	１５０×１５０	１×５							
		４Ｂ×９室	AHU-35		150	VHS	２００×１５０	１×９							
		特１Ｂ	AHU-35		150	VHS	２００×１５０	１		FE-R08	150	HS	１５０×１５０	１	
		デイルーム・食堂	AHU-35		125	C2	＃１２．５	２							
		１Ｂ×４室	AHU-35		100	VHS	１５０×１５０	１×４		FE-R08	100	HS	１５０×１５０	１×４	
		廊下	AHU-35		213	C2	＃１５	４							
		汚物処理・小児ＷＣ								FE-R11	250	HS	２５０×１５０	１	
		職員ＷＣ								FE-R06	250	HS	２５０×１５０	１	
		リネン庫								FE-R11	50	HS	１５０×１５０	１	
		MWC								FE-R08	350	HS	２５０×２００	２	
		WWC								FE-R08	325	HS	２５０×２００	２	
		汚物処理室								FE-R08	100	HS	２００×１５０	１	蓄尿棚１００CMH
															便器棚１００CMH
		車イスＷＣ								FE-R08	200	HS	２００×１５０	１	
		乾燥室								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	１	
		洗濯								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	１	
		洗髪								FE-R09	100	HS	１５０×１５０	１	
		浴室・脱衣室								FE-R09	350	HS	２５０×２００	１	
		器材庫								FE-R09	150	HS	１５０×１５０	１	
		リネン庫								FE-R09	150	HS	１５０×１５０	１	
		洗面								FE-R09	200	HS	２００×１５０	１	

区分	階数	室名	系統 空調	系統 換気	吹出口 風量m³/h	吹出口 型式	吹出口 寸法	吹出口 個数	系統 空調	系統 換気	吸込口 風量m³/h	吸込口 型式	吸込口 寸法	吸込口 個数	備考
	7	外来食堂	AHU-36		500	C2	＃２０	５		FE-702	250	HS	２５０×２００	２	
		職員食堂	AHU-36		550	C2	＃２０	４		FE-703	250	HS	２５０×２００	２	
		更衣室	AHU-36		100	VHS	１５０×１５０	１							
		ＥＶホール	AHU-36		150	BL-S	1000	２							
		厨房	AHU-42		950	VHS	６５０×２００	６		FE-701	500	HS	３５０×２００	１	
		パントリー	AHU-42		300	VHS	２００×２００	１		FE-701	300	HS	２５０×２００	１	
		MWC								FE-704	150	HS	１５０×１５０	１	
		WWC								FE-704	150	HS	１５０×１５０	１	
		厨房ＷＣ								FE-704	100	HS	１５０×１５０	１	
		理容室		LU-701	500	VHS	５００×２００	１		LU-701	500	HS	４００×２００	１	
		ＥＶ機械室		FO-701	750	VHS	３５０×２００	２		FE-705	750	HS	５００×２００	２	
厨房	B1	配膳車ブール	AHU-40		290	VHS	３００×２００	５							
		盛付コーナ	AHU-40		600	VHS	６００×２００	３							
			RH-B04		667	HS	５５０×２００	３							
		調理コーナ	AHU-40		378	P.K	12	７							
			RH-B04		2500	HS	７００×５００	２							
		下処理コーナ	AHU-40		367	VHS	３００×２００	３							
		洗浄コーナ	AHU-40		425	P.K	12	２							
		パン洗浄	AHU-40		250	VHS	２００×２００	１		FE-B10	400	HS	３５０×２００	１	
		炊飯コーナ	AHU-40		350	VHS	３００×２００	１							
		洗浄室	AHU-40		400	VHS	３００×３００	１		FE-B10	200	HS	２００×２００	１	
		調乳室	AHU-40		350	CF	１	１		CF-1	1539	HS	７００×３００	１	
		前室								FE-B10	200	HS	２００×２００	１	
エネルギーセンター	1	中央監視室		LU-E11	200	VHS	２００×２００	１		LU-E11	200	HS	２００×２００	１	
		中央集塵機械室		FV-E14	630	VHS	７００×２５０	１							
		ボイラー室		FO-E11	2567	VHS	７５０×３００	３		FE-E11	1400	HS	６５０×３００	２	
		機械室		FO-E12	2500	VHS	８００×３００	６		FE-E12	5000	HS	８５０×８５０	３	

凡例

撤去対象機器・器具を示す。

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録　第215902号
鮫島　慎一

鳥取市立病院西病棟改修工事

空調換気設備　制気口リスト(2)(撤去)

2026.3

A1:-
A3:-

MA-007

制気口リスト(1)(4階)

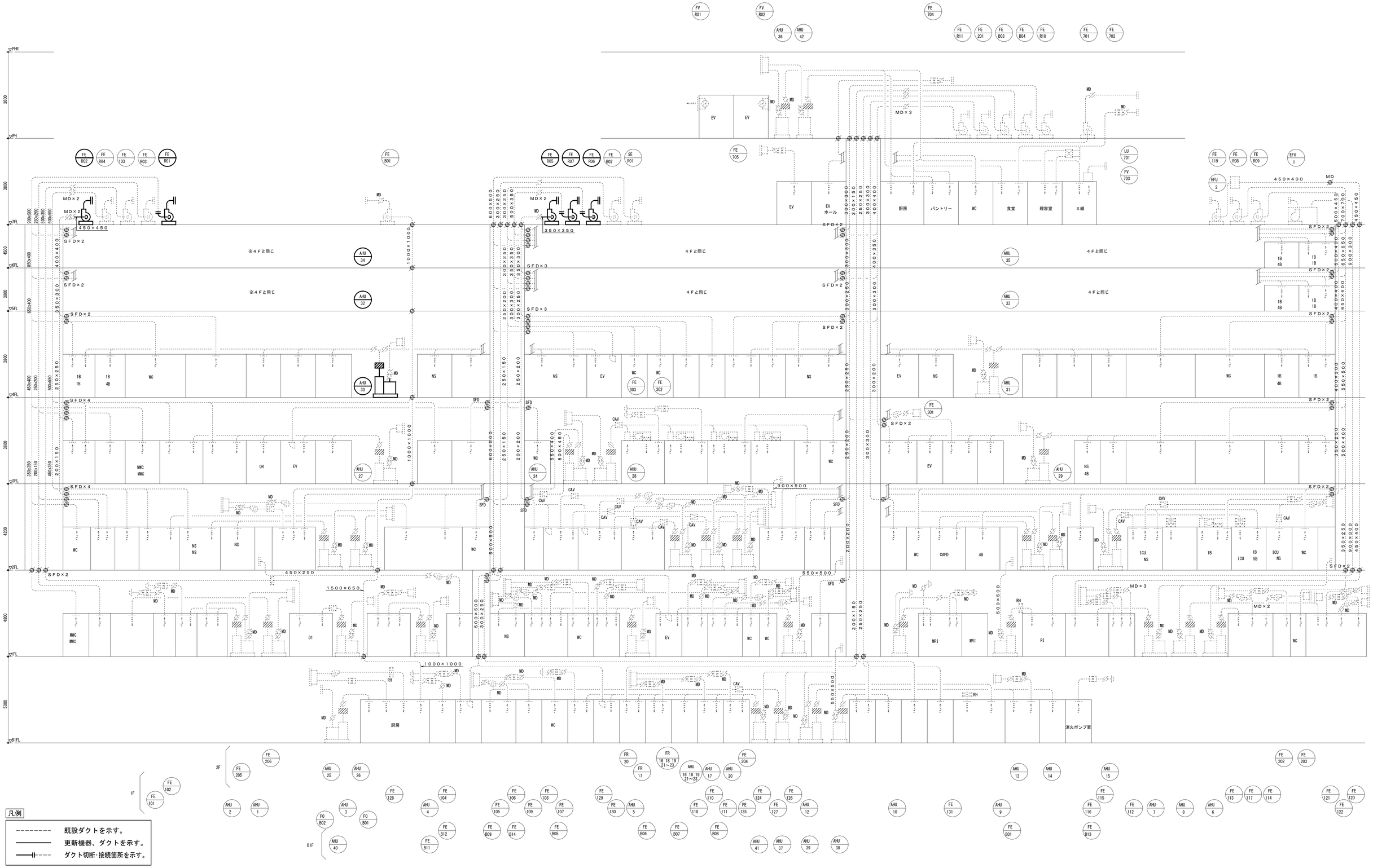
部屋名	吹出口										吸込口										天井隠蔽FCU　吹出口・吸込口										備考
	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	
			m3/h		m3/h								m3/h		m3/h								m3/h		m3/h						
451 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
452 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
453 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
454 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-											
455 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-											
456 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
457 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室3	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
仮眠室(1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
460 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
461 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
462 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
463 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
465 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
466 (4床)	AHU-30	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
467 (3床)	AHU-30	SA	100	1	100	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	100	-	100	-		-	-	-	FBP-24	SA	130	3	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
多目的トイレ											FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-											
468 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
470 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室 (1床)	AHU-30	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室 (4床)	AHU-30	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FV-3	EA	200	-	200	-		-	-	-	FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
																					FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	AHU-30	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	75	2	150	HS		150×150	350×350×350	-											
準備室	AHU-30	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室2	AHU-30	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	1	200	HS		150×150	350×350×350	-											
SWC											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
休憩室	AHU-30	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室	AHU-30	SA	250	1	250	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ME事務室	AHU-30	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
ﾃﾞｨﾙｰﾑ	AHU-30	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	125	2	250	HS		150×150	350×350×350	-											
廊下	AHU-30	SA	214	6	1285	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
男子便所											FE-R01	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
女子便所											FE-R01	EA	170	2	340	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室1											FE-R01	EA	260	1	260	HS		150×150	350×350×350	-											
車いすWC											FE-R01	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室2											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗濯室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗髪室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
ｼｬﾜｰ室脱衣室											FE-R02	EA	200	2	400	HS		300×200	400×400×400	-											
リネン庫											FE-R02	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
多目的WC											FE-R02	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
洗面											FE-R02	EA	200	1	200	HS		200×200	400×400×400	-											
ポータブル庫											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
リネン庫											FE-R07	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
ゴミ集積室											FE-R05	EA	500	1	500	HS		350×200	400×400×400	-											改修なし
職員用トイレ											FE-R06	EA	250	1	250	HS		250×150	350×350×350	-											改修なし
搬送室	AHU-30	SA	150	1	150	VHS		150×150	350×350×350	GW25t																					改修なし
EVホール	AHU-30	SA	75	2	150	BL-S		1000	-	GW25t																					改修なし

制気口リスト(2)(5階)

部屋名	吹出口										吸込口										天井隠蔽FCU　吹出口・吸込口										備考
	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	
			m3/h		m3/h								m3/h		m3/h								m3/h		m3/h						
551 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
551 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
553 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
554 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	-	-		-	-	-											
555 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	-	-		-	-	-											
556 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
557 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室3	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
仮眠室　(1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
560 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
561 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
562 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
563 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
565 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
566 (4床)	AHU-32	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
567 (3床)	AHU-32	SA	100	1	100	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	100	-	100	-		-	-	-	FBP-24	SA	130	3	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
多目的トイレ											FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-											
568 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
570 (1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室　(1床)	AHU-32	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室　(4床)	AHU-32	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FV-3	EA	200	-	200	-		-	-	-	FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
																					FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	AHU-32	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	75	2	150	HS		150×150	350×350×350	-											
準備室	AHU-32	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室2	AHU-32	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	1	200	HS		150×150	350×350×350	-											
SWC											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
休憩室	AHU-32	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室	AHU-32	SA	250	1	250	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ME事務室	AHU-32	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
ﾃﾞｨﾙｰﾑ	AHU-32	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	125	2	250	HS		150×150	350×350×350	-											
廊下	AHU-32	SA	216	6	1285	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
男子便所											FE-R01	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
女子便所											FE-R01	EA	170	2	340	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室1											FE-R01	EA	260	1	260	HS		150×150	350×350×350	-											
車いすWC											FE-R01	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室2											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗濯室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗髪室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
ｼｬﾜｰ室脱衣室											FE-R02	EA	200	2	400	HS		300×200	400×400×400	-											
リネン庫											FE-R02	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
多目的WC											FE-R02	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
洗面											FE-R02	EA	200	1	200	HS		200×200	400×400×400	-											
ポータブル庫											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
リネン庫											FE-R07	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
ゴミ集積室											FE-R05	EA	500	1	500	HS		350×200	400×400×400	-											改修なし
職員用トイレ											FE-R06	EA	250	1	250	HS		250×150	350×350×350	-											改修なし
搬送室	AHU-32	SA	150	1	150	VHS		150×150	350×350×350	GW25t																					改修なし
EVホール	AHU-32	SA	75	2	150	BL-S		1000	-	GW25t																					改修なし

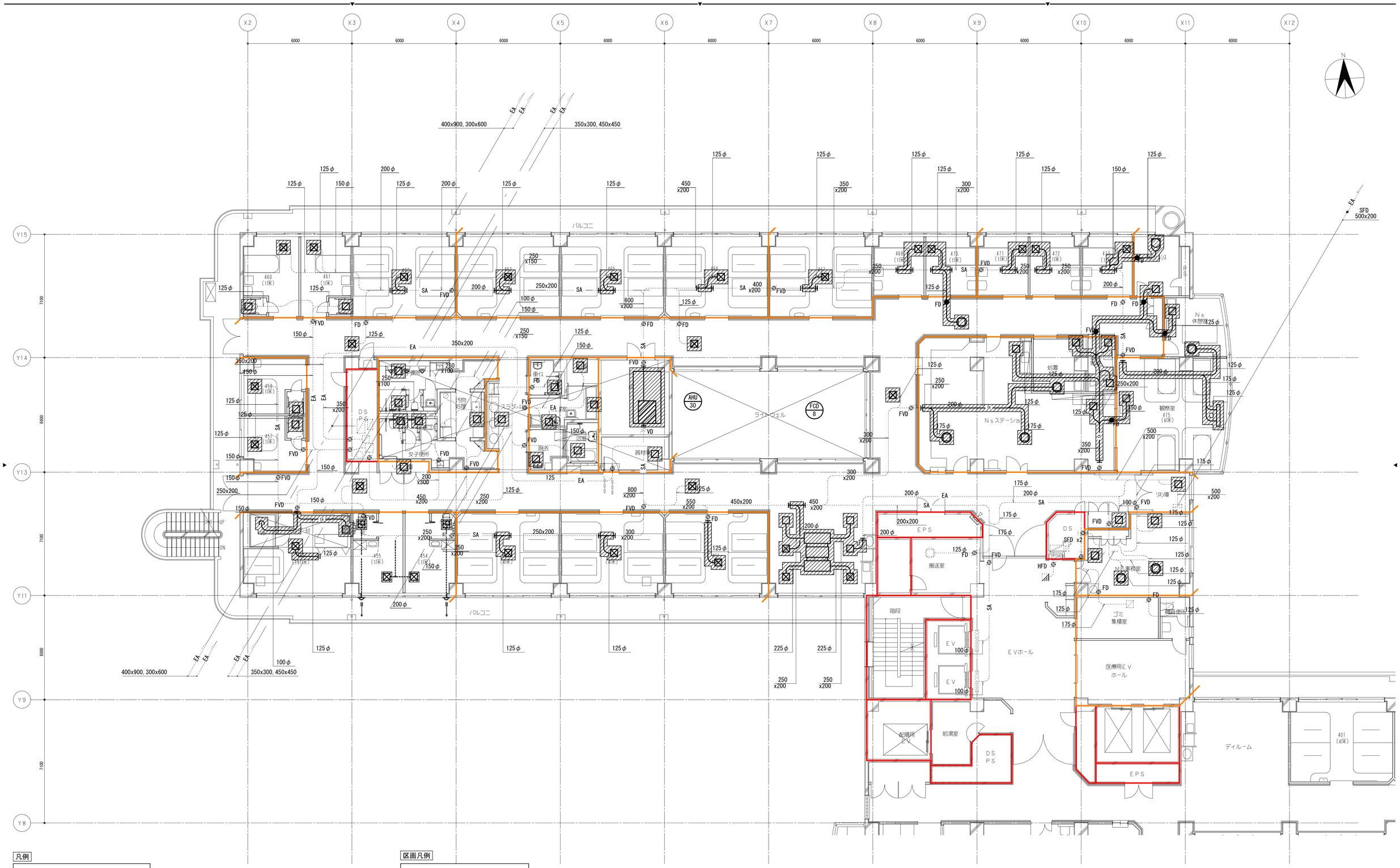
制気口リスト(3)(6階)

部屋名	吹出口										吸込口										天井隠蔽FCU　吹出口・吸込口										備考
	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	系統名	用途	風量	制気口個数	合計風量	器具名称	結露防止仕様	サイズ	BOXサイズ	内貼	
			m3/h		m3/h								m3/h		m3/h								m3/h		m3/h						
651 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
652 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
653 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
654 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-											
655 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-											
656 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
657 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室3	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
仮眠室　(1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
660 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
661 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FE-R01	EA	75	1	75	HS		150×150	350×350×350	-											
662 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
663 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
665 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
666 (4床)	AHU-34	SA	120	1	120	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-	FBP-24	SA	98	4	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
667 (3床)	AHU-34	SA	100	1	100	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-2	EA	100	-	100	-		-	-	-	FBP-24	SA	130	3	390	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	
																					FBP-24	RA	390	1	390	HS		250×250	450×450×400	-	
多目的トイレ											FV-2	EA	120	-	120	-		-	-	-											
668 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
670 (1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室　(1床)	AHU-34	SA	75	1	75	VHS		150×150	350×350×350	GW25t	FV-1	EA	75	-	75	-		-	-	-	FBP-13	SA	240	1	240	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	
																					FBP-13	RA	240	1	240	HS		200×200	400×400×400	-	
観察室　(4床)	AHU-34	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FV-3	EA	200	-	200	-		-	-	-	FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
																					FBP-34	SA	240	2	480	VHS		250×250	450×450×400	GW25t	
																					FBP-34	RA	480	1	480	HS		250×250	450×450×400	-	
ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	AHU-34	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	75	2	150	HS		150×150	350×350×350	-											
準備室	AHU-34	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室2	AHU-34	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	1	200	HS		150×150	350×350×350	-											
SWC											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
休憩室	AHU-34	SA	200	1	200	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室	AHU-34	SA	250	1	250	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
ME事務室	AHU-34	SA	200	2	400	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
ﾃﾞｨﾙｰﾑ	AHU-34	SA	250	2	500	VHS		200×200	400×400×400	GW25t	FE-R07	EA	125	2	250	HS		150×150	350×350×350	-											
廊下	AHU-34	SA	214	6	1285	VHS		200×200	400×400×400	GW25t																					
男子便所											FE-R01	EA	200	2	400	HS		200×200	400×400×400	-											
女子便所											FE-R01	EA	170	2	340	HS		150×150	350×350×350	-											
汚物処理室1											FE-R01	EA	260	1	260	HS		150×150	350×350×350	-											
車いすWC											FE-R01	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
器材室2											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗濯室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
洗髪室											FE-R02	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
ｼｬﾜｰ室脱衣室											FE-R02	EA	200	2	400	HS		300×200	400×400×400	-											
リネン庫											FE-R02	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
多目的WC											FE-R02	EA	150	1	150	HS		150×150	350×350×350	-											
洗面											FE-R02	EA	200	1	200	HS		200×200	400×400×400	-											
ポータブル庫											FE-R07	EA	100	1	100	HS		150×150	350×350×350	-											
リネン庫											FE-R07	EA	50	1	50	HS		150×150	350×350×350	-											
ゴミ集積室											FE-R05	EA	500	1	500	HS		350×200	400×400×400	-											改修なし
職員用トイレ											FE-R06	EA	250	1	250	HS		250×150	350×350×350	-											改修なし
搬送室	AHU-34	SA	150	1	150	VHS		150×150	350×350×350	GW25t																					改修なし
EVホール	AHU-34	SA	75	2	150	BL-S		1000	-	GW25t																					改修なし



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		1 2 3 4 5				一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3
									空調換気設備 ダクト系統図(撤去・改修)	A1:- A3:-

MA-011



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 撤去ダクトを示す。
- ダクト切断箇所を示す。

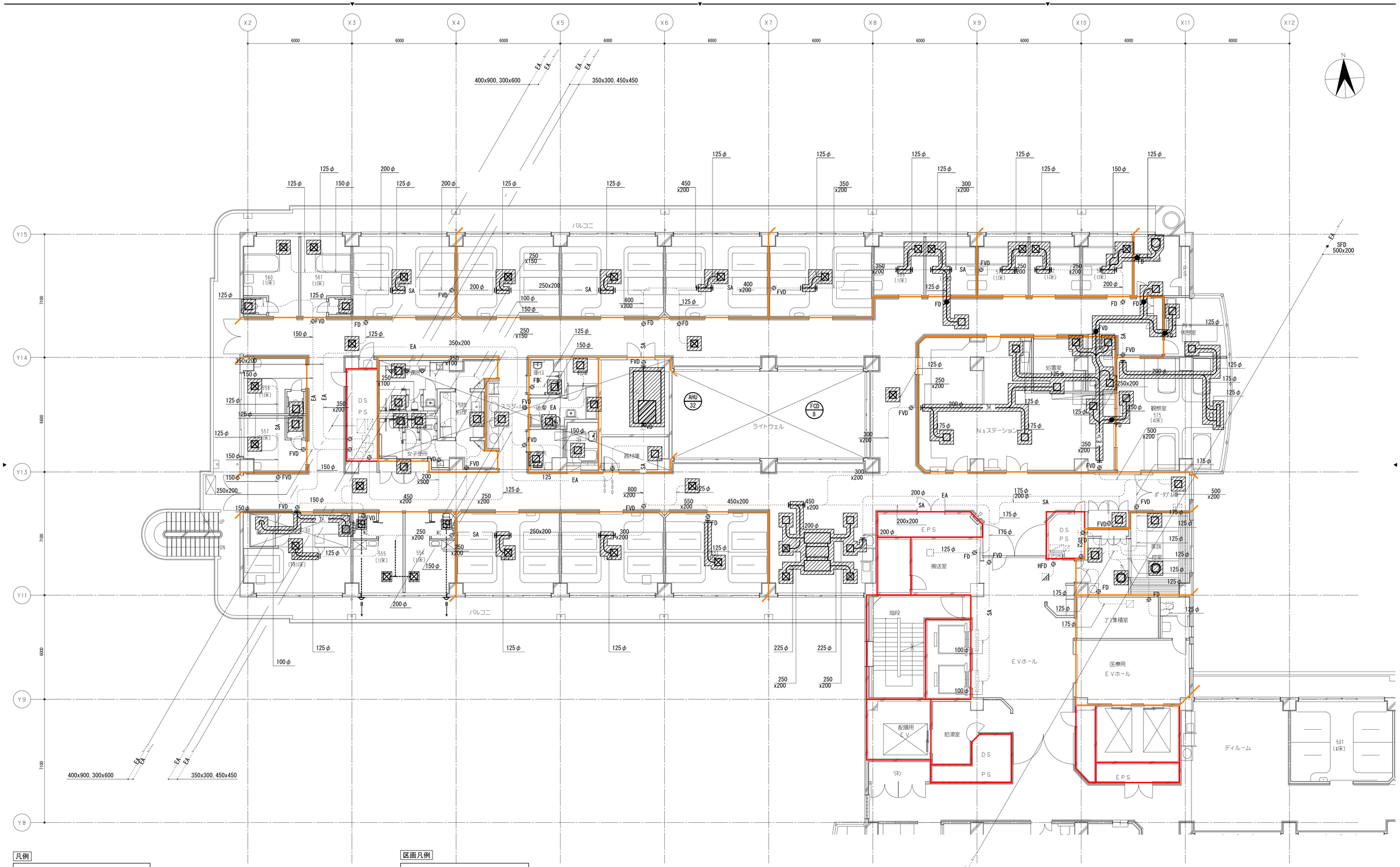
注記）天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。

注記）図中制気口のみハッチの場合、制気口の撤去を示す。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		1 2 3 4 5			一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-012
								空調換気設備 ダクト4階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 撤去ダクトを示す。
- ダクト切断箇所を示す。

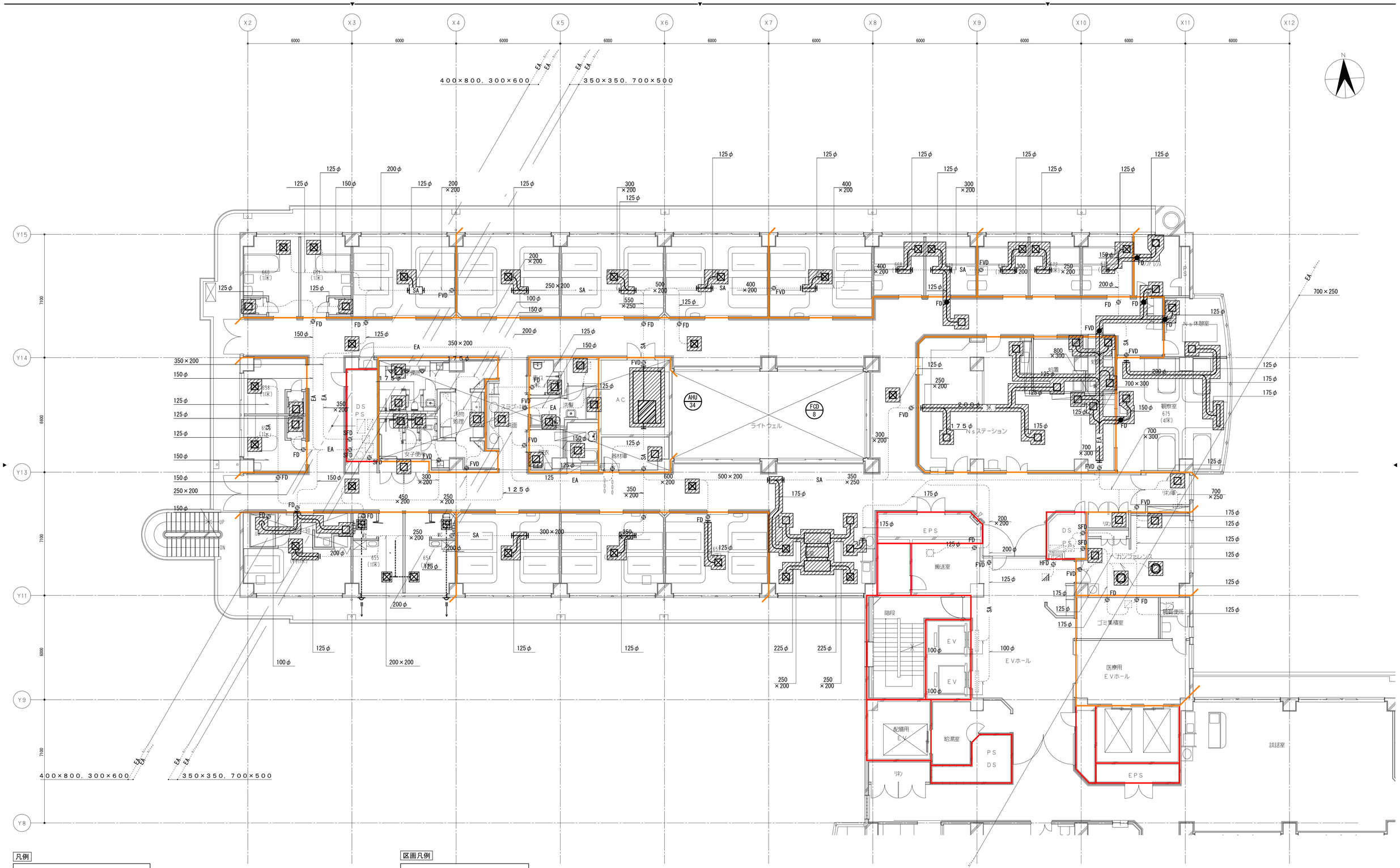
注記）天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。

注記）図中制気口のみハッチの場合、制気口の撤去を示す。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		1 2 3 4 5				一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-013
									空調換気設備 ダクト5階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 撤去ダクトを示す。
- ダクト切断箇所を示す。

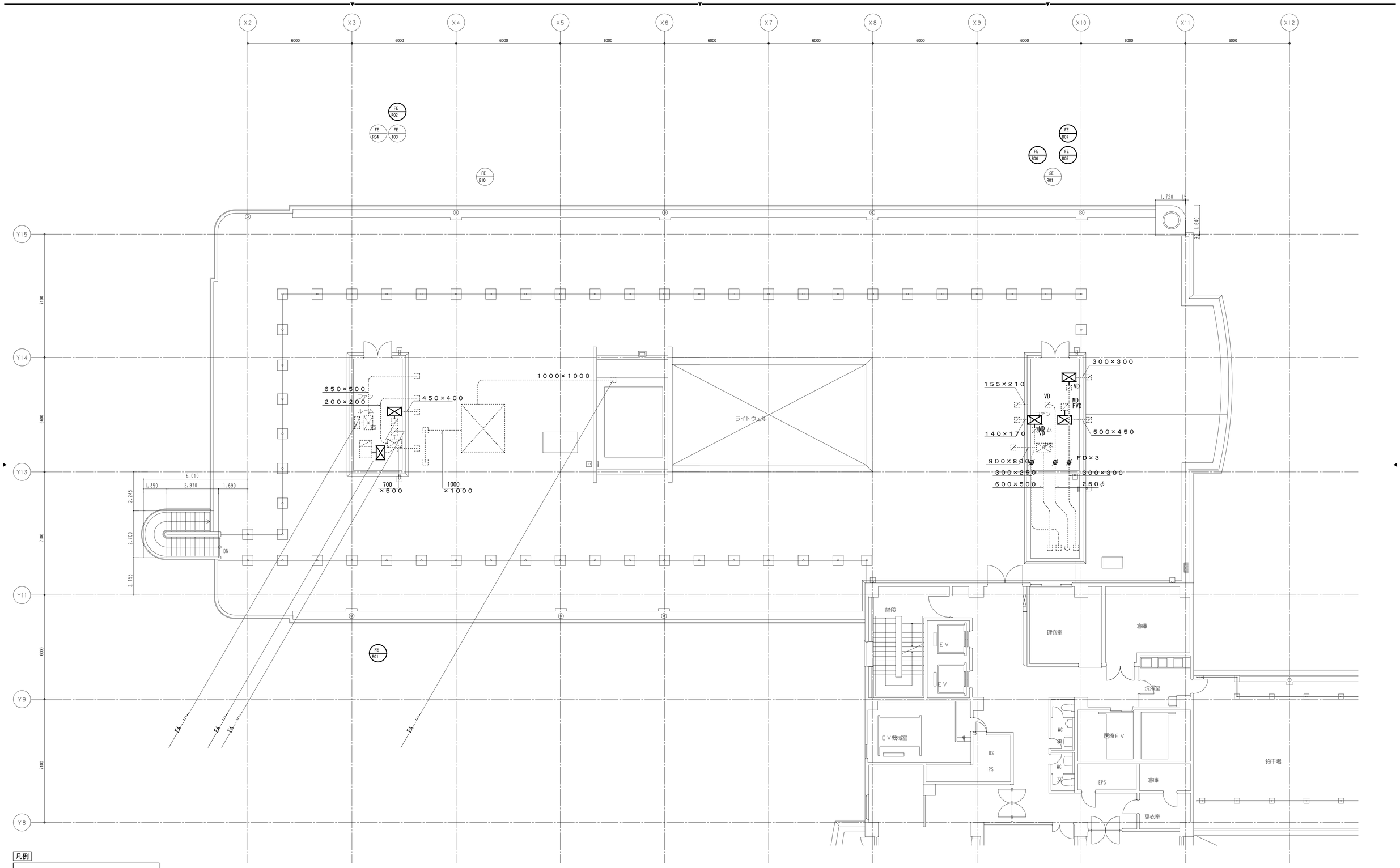
注記）天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。

注記）図中制気口のみハッチの場合、制気口の撤去を示す。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	1 2 3 4 5	一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-014
					空調換気設備 ダクト6階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	

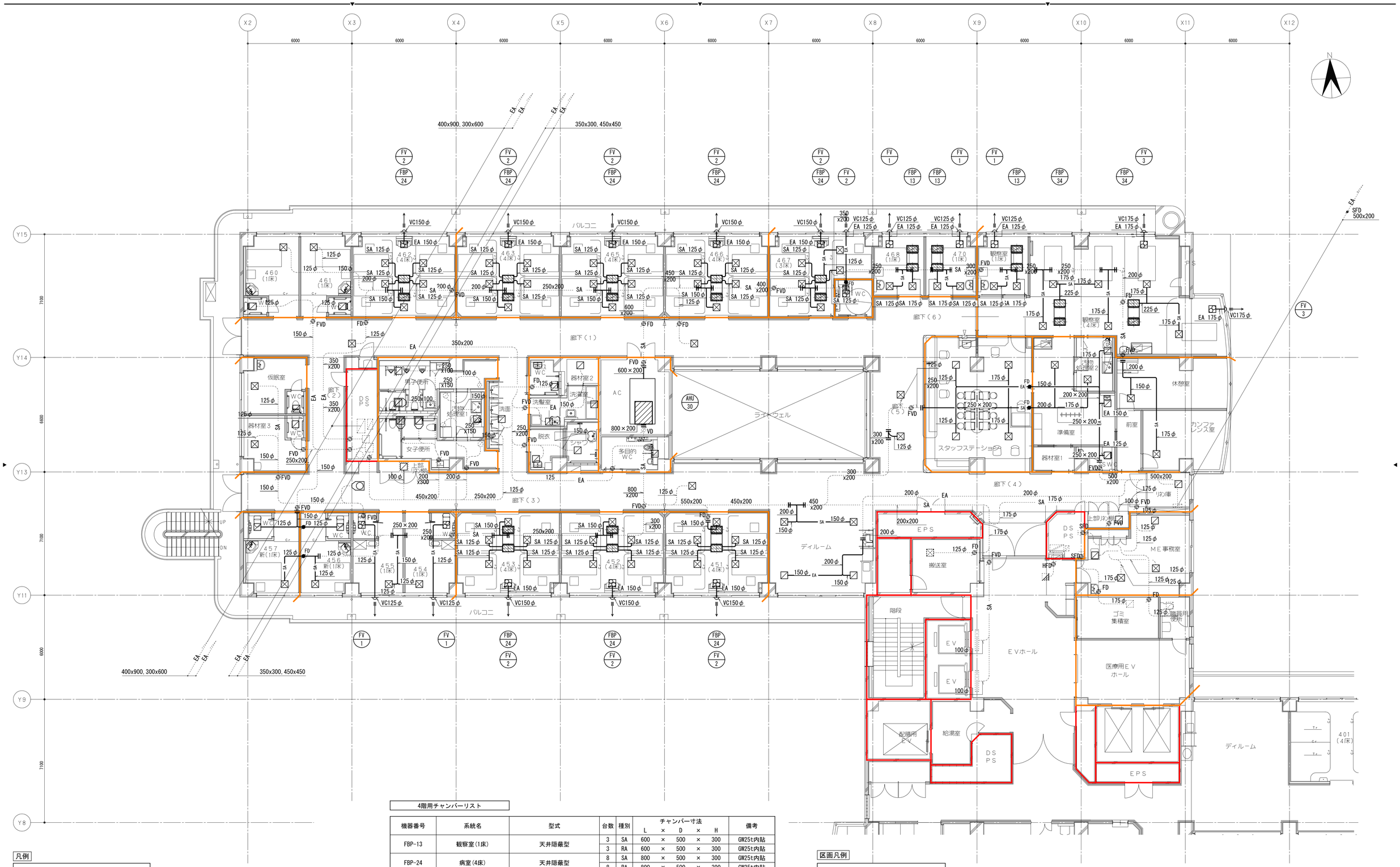


凡例

- - - - - - - -	既設配管を示す。
————	更新機器、ダクトを示す。
—‖— - - -	配管切断箇所を示す。

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		1 2 3 4 5			一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3
								空調換気設備 ダクトR階平面図(撤去・改修)	A1:1/100 A3:1/200

MA-015



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 新設ダクトを示す。
- ダクト接続箇所を示す。

注記）1.天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。
2.図中制気口のみ実線の場合、制気口のみ新設を示す。

4階用チャンバーリスト

機器番号	系統名	型式	台数	種別	チャンバー寸法 L × D × H	備考
FBP-13	観察室(1床)	天井隠蔽型	3	SA	600 × 500 × 300	GW25t内貼
			3	RA	600 × 500 × 300	GW25t内貼
FBP-24	病室(4床)	天井隠蔽型	8	SA	800 × 500 × 300	GW25t内貼
			8	RA	800 × 500 × 300	GW25t内貼
FBP-34	観察室(4床)	天井隠蔽型	2	SA	800 × 500 × 300	GW25t内貼
			2	RA	800 × 500 × 300	GW25t内貼
AHU-30	4階外調機	外調機(床置形)	1	SA	1,300 × 1,000 × 400	GW25t内貼

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

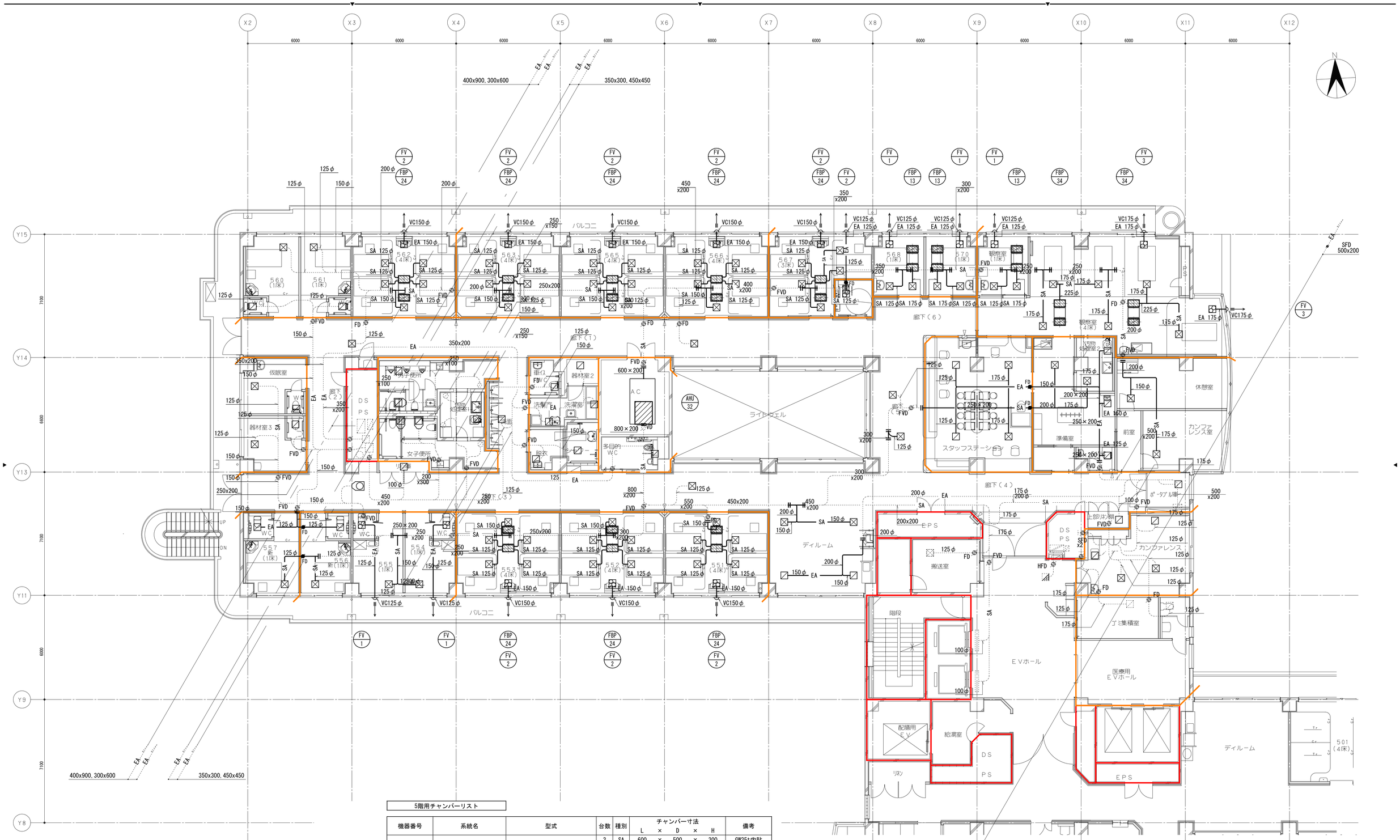
一級建築士登録 第215902号
鮫 島 慎 一

鳥取市立病院西病棟改修工事

空調換気設備 ダクト4階平面図(改修)

2026.3
A1:1/100
A3:1/200

MA-016



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 新設ダクトを示す。
- ダクト接続箇所を示す。

注記）1.天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。
2.図中制気口のみ実線の場合、制気口のみ新設を示す。

5階用チャンバーリスト

機器番号	系統名	型式	台数	種別	チャンバー寸法 L	×	D	×	H	備考
FBP-13	観察室(1床)	天井隠蔽型	3	SA	600	×	500	×	300	GW25t内貼
			3	RA	600	×	500	×	300	GW25t内貼
FBP-24	病室(4床)	天井隠蔽型	8	SA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
			8	RA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
FBP-34	観察室(4床)	天井隠蔽型	2	SA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
			2	RA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
AHU-32	5階外調機	外調機(床置形)	1	SA	1,300	×	1,000	×	400	GW25t内貼

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

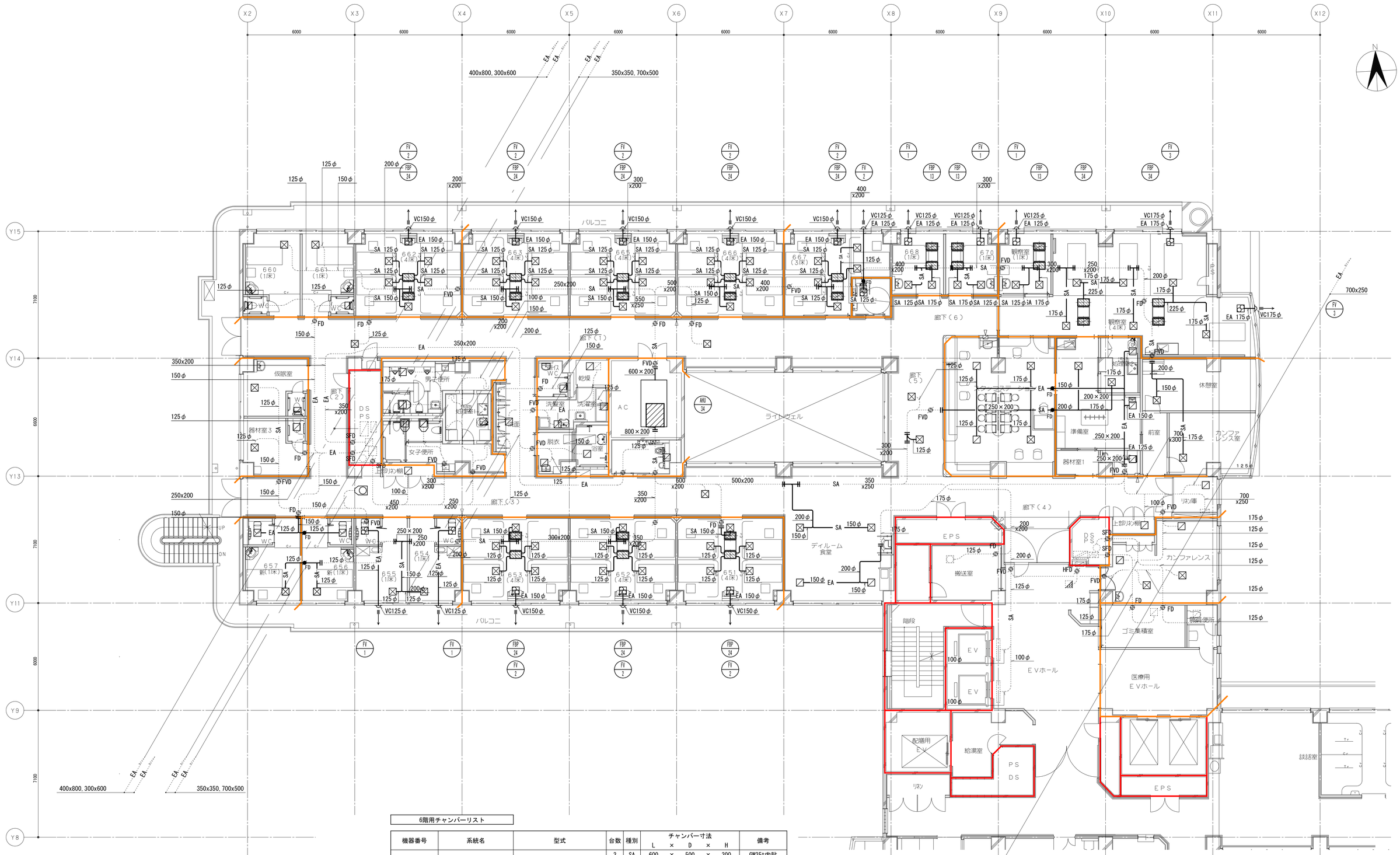
株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第215902号
鮫島 慎一

鳥取市立病院西病棟改修工事
空調換気設備 ダクト5階平面図(改修)

2026.3
A1:1/100
A3:1/200

MA-017



凡例

- 既設ダクトを示す。
- 新設ダクトを示す。
- ダクト接続箇所を示す。

注記）1.天井改修範囲内の給気ダクトについて、保温の改修を見込むこと。
2.図中制気口のみ実線の場合、制気口のみ新設を示す。

6階用チャンバーリスト

機器番号	系統名	型式	台数	種別	チャンバー寸法 L	×	D	×	H	備考
FBP-13	観察室(1床)	天井隠蔽型	3	SA	600	×	500	×	300	GW25t内貼
			3	RA	600	×	500	×	300	GW25t内貼
FBP-24	病室(4床)	天井隠蔽型	8	SA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
			8	RA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
FBP-34	観察室(4床)	天井隠蔽型	2	SA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
			2	RA	800	×	500	×	300	GW25t内貼
AHU-34	6階外調機	外調機(床置形)	1	SA	1,300	×	1,000	×	400	GW25t内貼

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

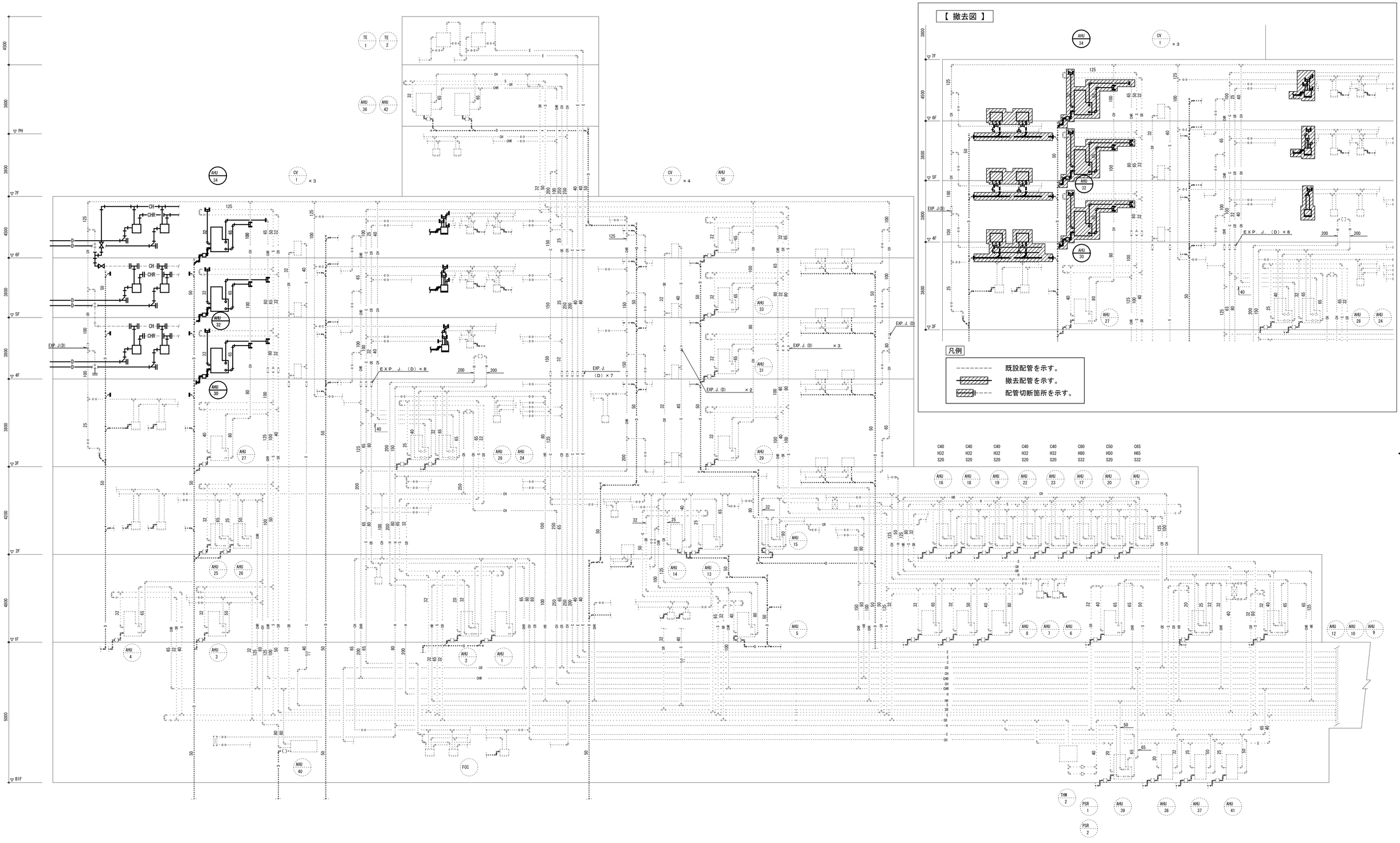
一級建築士登録 第215902号
鮫 島 慎 一

鳥取市立病院西病棟改修工事

空調換気設備 ダクト6階平面図(改修)

2026.3
A1:1/100
A3:1/200

MA-018



凡例

----------	既設配管を示す。
————	新設配管を示す。
—‖—	配管接続箇所を示す。

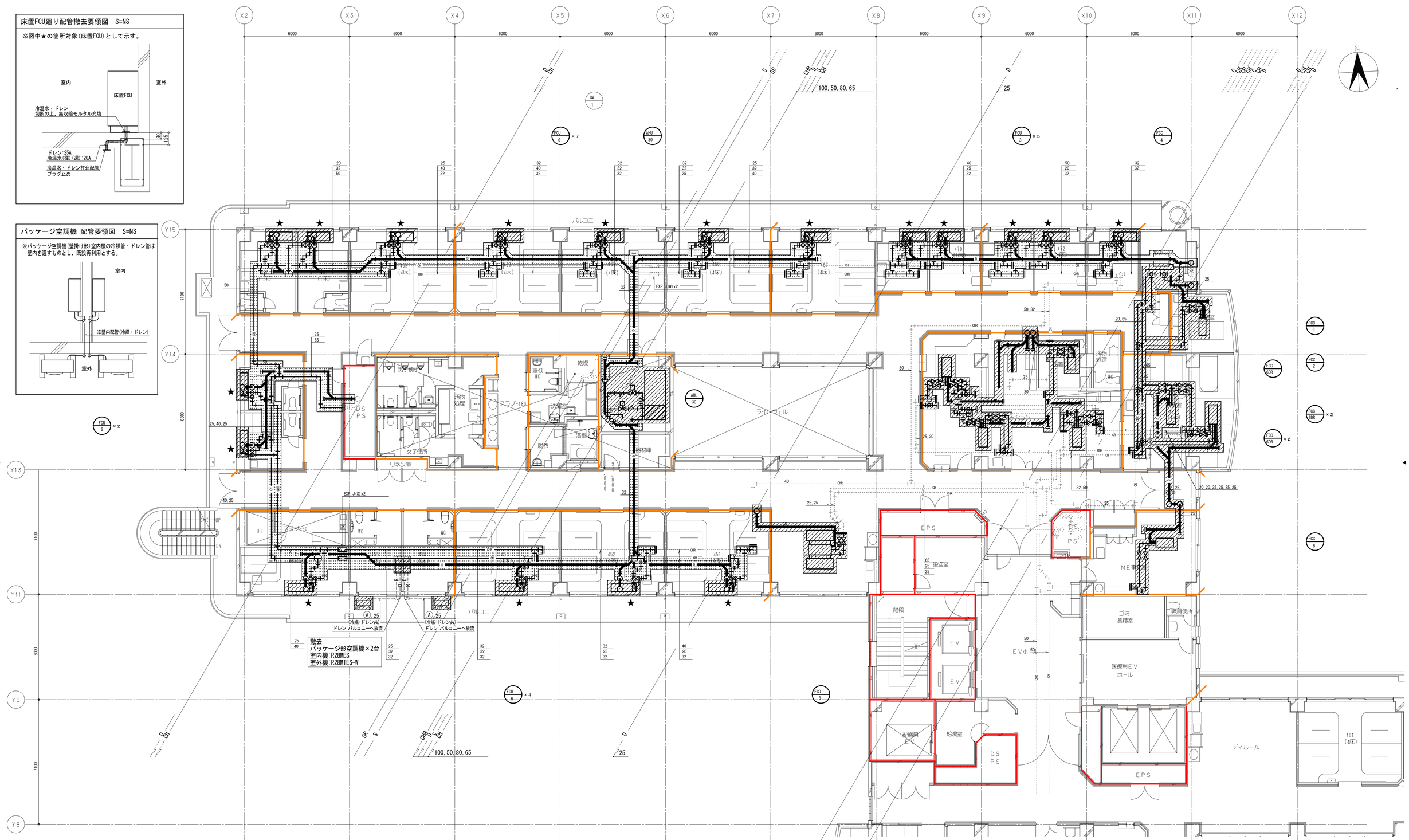
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	1 2 3 4 5	一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一	鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-019
			空調換気設備 配管系統図(撤去・改修)	A1:- A3:-	

床置FCU廻り配管撤去要領図　S=NS

※図中★の箇所対象(床置FCU)として示す。

パッケージ空調機 配管要領図　S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の冷媒管・ドレン管は壁内を通すものとし、既設再利用とする。



凡例

- 既設配管を示す。
- 撤去配管(床上・天井)を示す。
- 撤去配管(床下)を示す。
- 配管切断箇所を示す。

冷媒管サイズリスト　(参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

撤去工事要領(4階)

①4階PSにて4階用冷温水バルブを閉め、3階PSにて水抜きを行う。
②3階天井裏にて、4階床置FCU用の冷温水配管を全て撤去する。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第215902号
鮫 島 慎 一

鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3
空調換気設備　配管4階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200

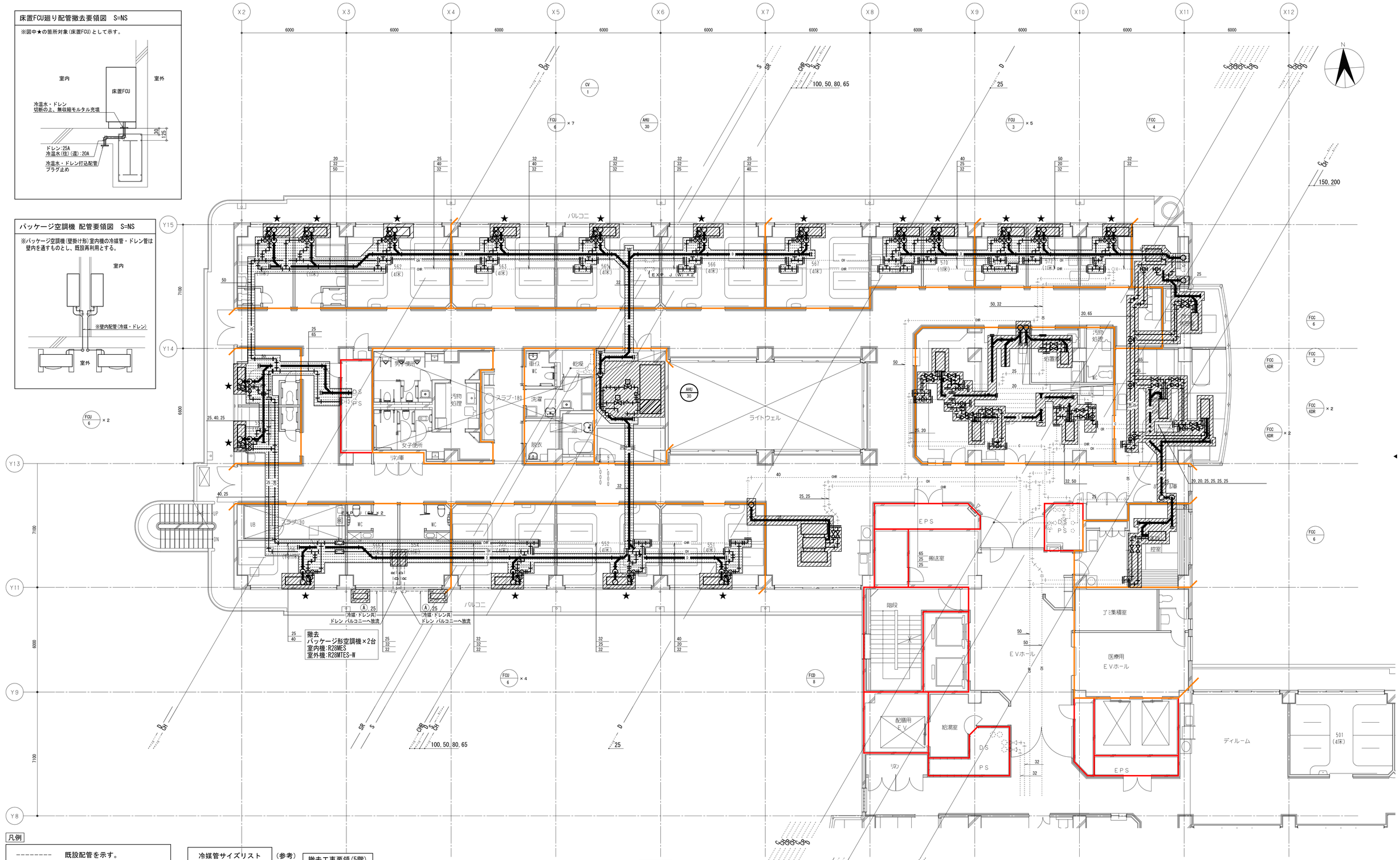
MA-020

床置FCU廻り配管撤去要領図　S=NS

※図中★の箇所対象(床置FCU)として示す。

パッケージ空調機 配管要領図　S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の冷媒管・ドレン管は壁内を通すものとし、既設再利用とする。



凡例

- 既設配管を示す。
- 撤去配管(床上・天井)を示す。
- 撤去配管(床下)を示す。
- 配管切断箇所を示す。

冷媒管サイズリスト　(参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

撤去工事要領(5階)

①5階PSにて5階用冷温水バルブを閉め、4階PSにて水抜きを行う。
②5階工事では、床上配管と床置FCUを撤去、4階天井裏にて冷温水配管の切断と仮プラグ止めを行う。
③4階天井裏の床置FCU周辺の冷温水配管撤去は、4階工事の際、行う。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

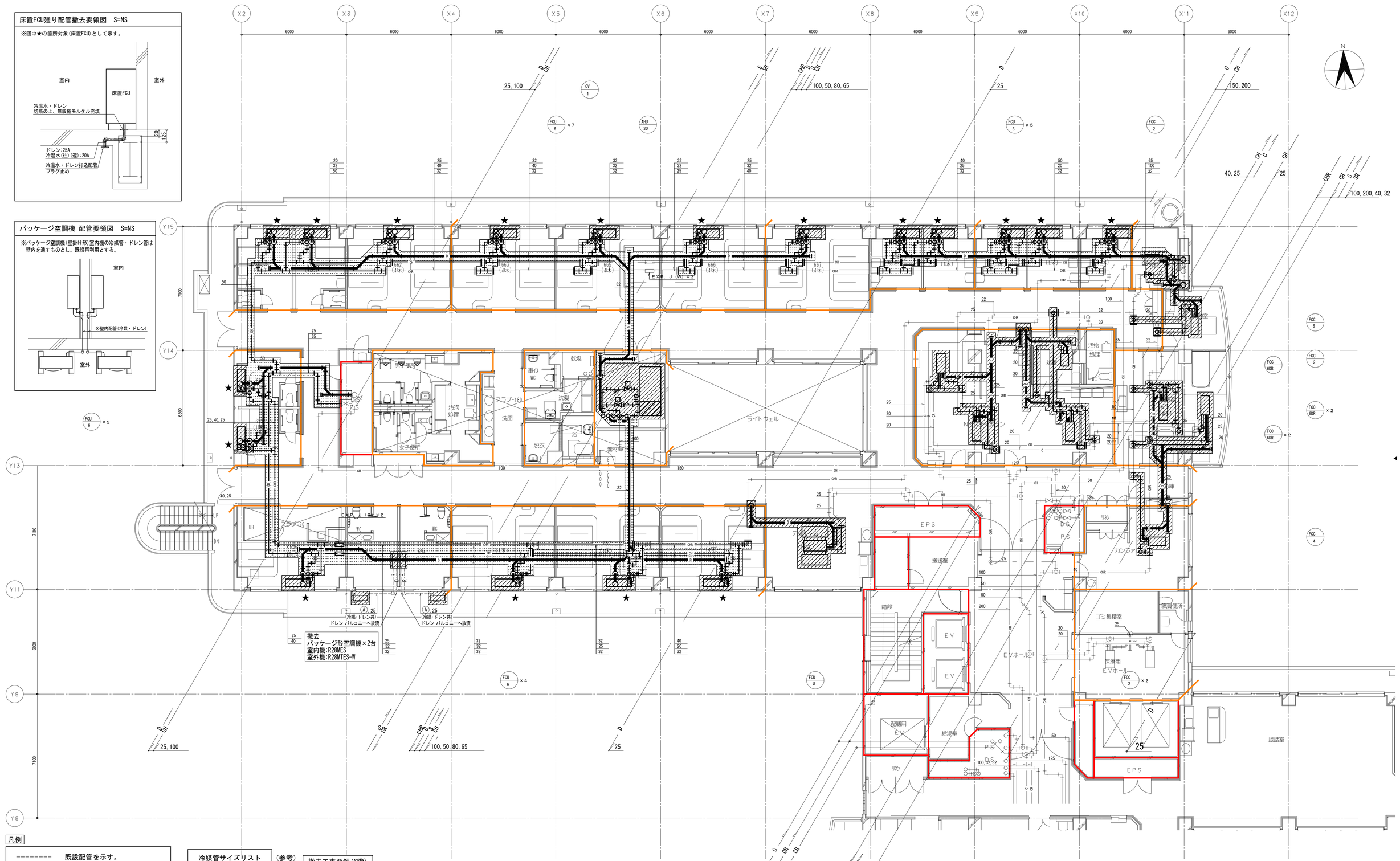
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	1 2 3 4 5	一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一	鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-021
			空調換気設備　配管5階平面図(撤去)	A1:1/100 A3:1/200	

床置FCU廻り配管撤去要領図　S=NS

※図中★の箇所対象(床置FCU)として示す。

パッケージ空調機 配管要領図　S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の冷媒管・ドレン管は壁内を通すものとし、既設再利用とする。



凡例

- 既設配管を示す。
- 撤去配管(床上・天井)を示す。
- 撤去配管(床下)を示す。
- 配管切断箇所を示す。

冷媒管サイズリスト　(参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

撤去工事要領(6階)

①6階PSにて6階用冷温水バルブを閉め、5階PSにて水抜きを行う。
②6階工事では、床上配管と床置FCUを撤去、5階天井裏にて冷温水配管の切断と仮プラグ止めを行う。
③5階天井裏の床置FCU周辺の冷温水配管撤去は、5階工事の際、行う。

区画凡例

- 防火区画（竪穴区画 兼 面積区画）
- 防火上主要な間仕切壁（天井裏まで）

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

1					
2					
3					
4					
5					

一級建築士登録　第215902号
鮫 島 慎 一

鳥取市立病院西病棟改修工事

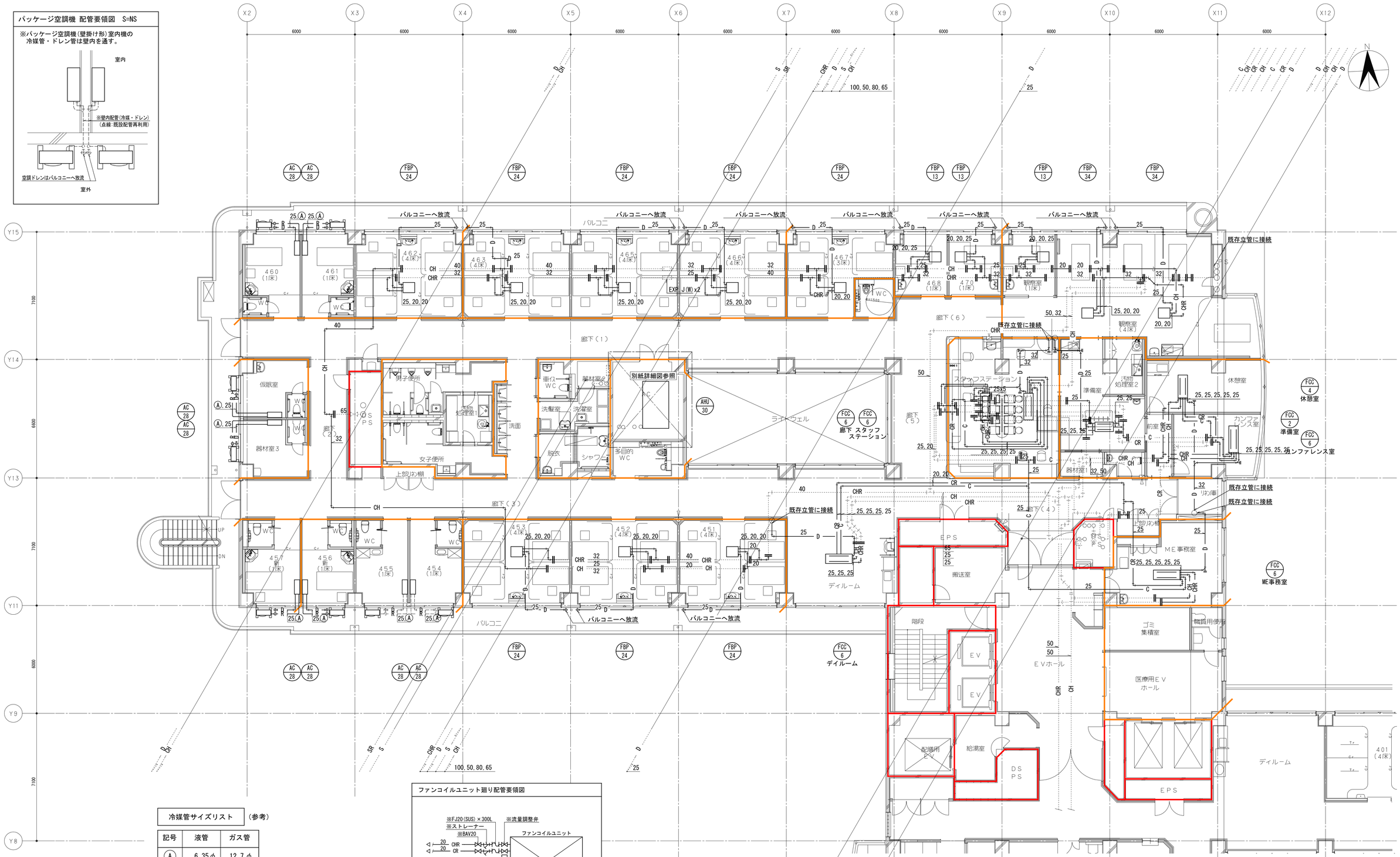
空調換気設備　配管6階平面図(撤去)

2026.3
A1:1/100
A3:1/200

MA-022

パッケージ空調機 配管要領図 S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の
冷媒管・ドレン管は壁内を通す。



凡例

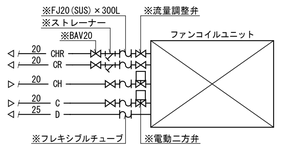
- 既設配管を示す。
- 新設配管を示す。
- 配管接続箇所を示す。

冷媒管サイズリスト (参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

注記) 1. 室内機・室外機の渡り配線は冷媒配管共巻きとする。
2. 特記なき空調室内機接続ﾄﾞﾚﾝ管は25Aとする。
3. 特記なき限り天井配管を示す。
4. 既設再利用のCH・CHR・C・CR配管全ての保温やり替えを見込む。
5. 配管作業により天井下地撤去した場合、復旧は本工事で見込む。

ファンコイルユニット廻り配管要領図



注1)※は、ファンコイルユニット付属を示す。
注2)C・CR配管はカセット形のみ(天井隠蔽形は2管式)
注3)特記なき限り配管サイズは上記の通りとする。

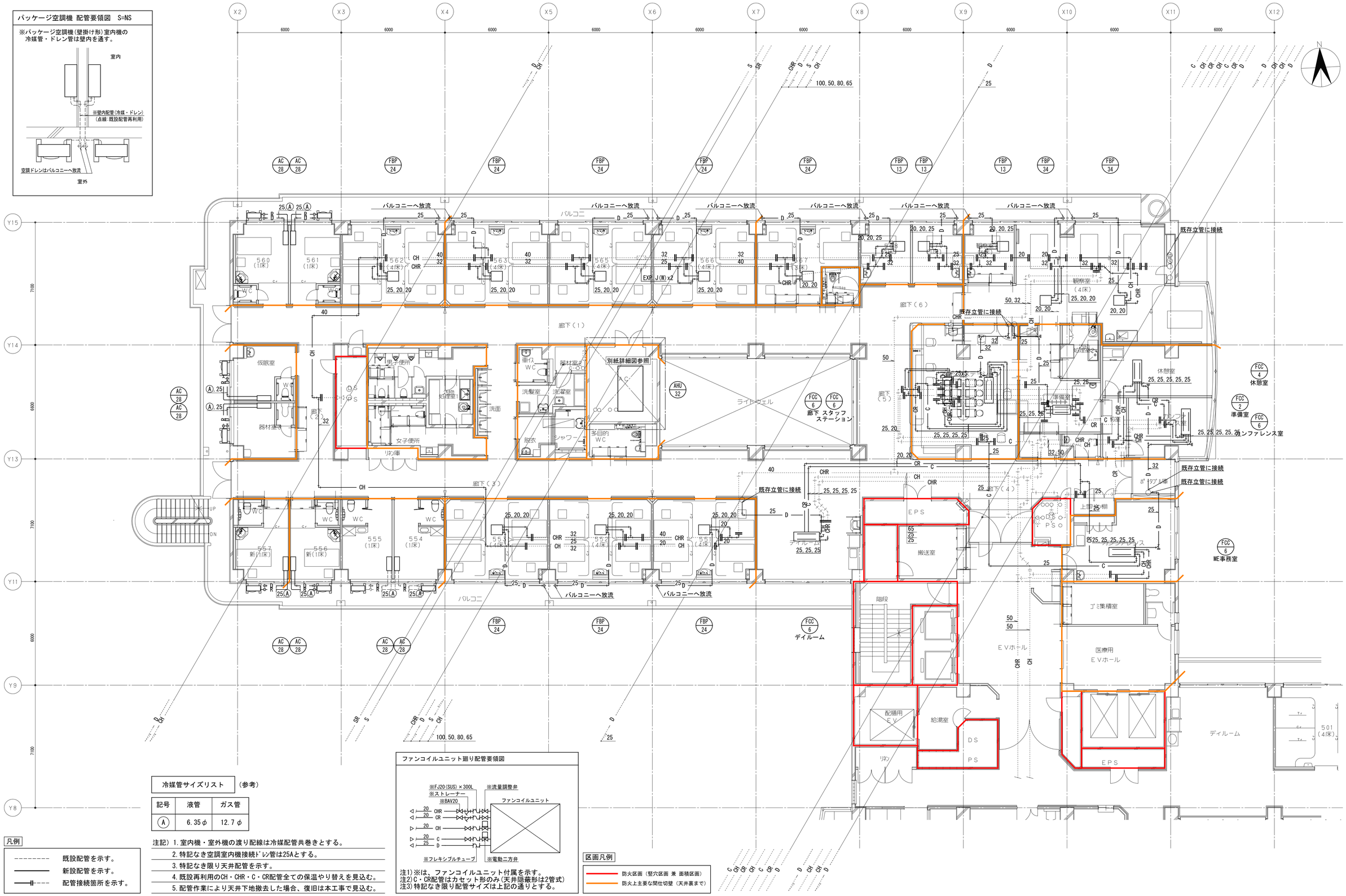
区画凡例

- 防火区画(竪穴区画 兼 面積区画)
- 防火上主要な間仕切壁(天井裏まで)

株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.	1 2 3 4 5	一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA-023
					空調換気設備 配管4階平面図(改修)	A1:1/100 A3:1/200	

パッケージ空調機 配管要領図 S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の
冷媒管・ドレン管は壁内を通す。



冷媒管サイズリスト (参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

注記) 1. 室内機・室外機の渡り配線は冷媒配管共巻きとする。
2. 特記なき空調室内機接続ﾄﾞﾚﾝ管は25Aとする。
3. 特記なき限り天井配管を示す。
4. 既設再利用のCH・CHR・C・CR配管全ての保温やり替えを見込む。
5. 配管作業により天井下地撤去した場合、復旧は本工事で見込む。

ファンコイルユニット廻り配管要領図

注1)※は、ファンコイルユニット付属を示す。
注2)C・CR配管はカセット形のみ(天井隠蔽形は2管式)
注3)特記なき限り配管サイズは上記の通りとする。

凡例

- 既設配管を示す。
- 新設配管を示す。
- 配管接続箇所を示す。

区画凡例

- 防火区画(竪穴区画 兼 面積区画)
- 防火上主要な間仕切壁(天井裏まで)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.

一級建築士登録 第215902号
鮫島 慎一

鳥取市立病院西病棟改修工事

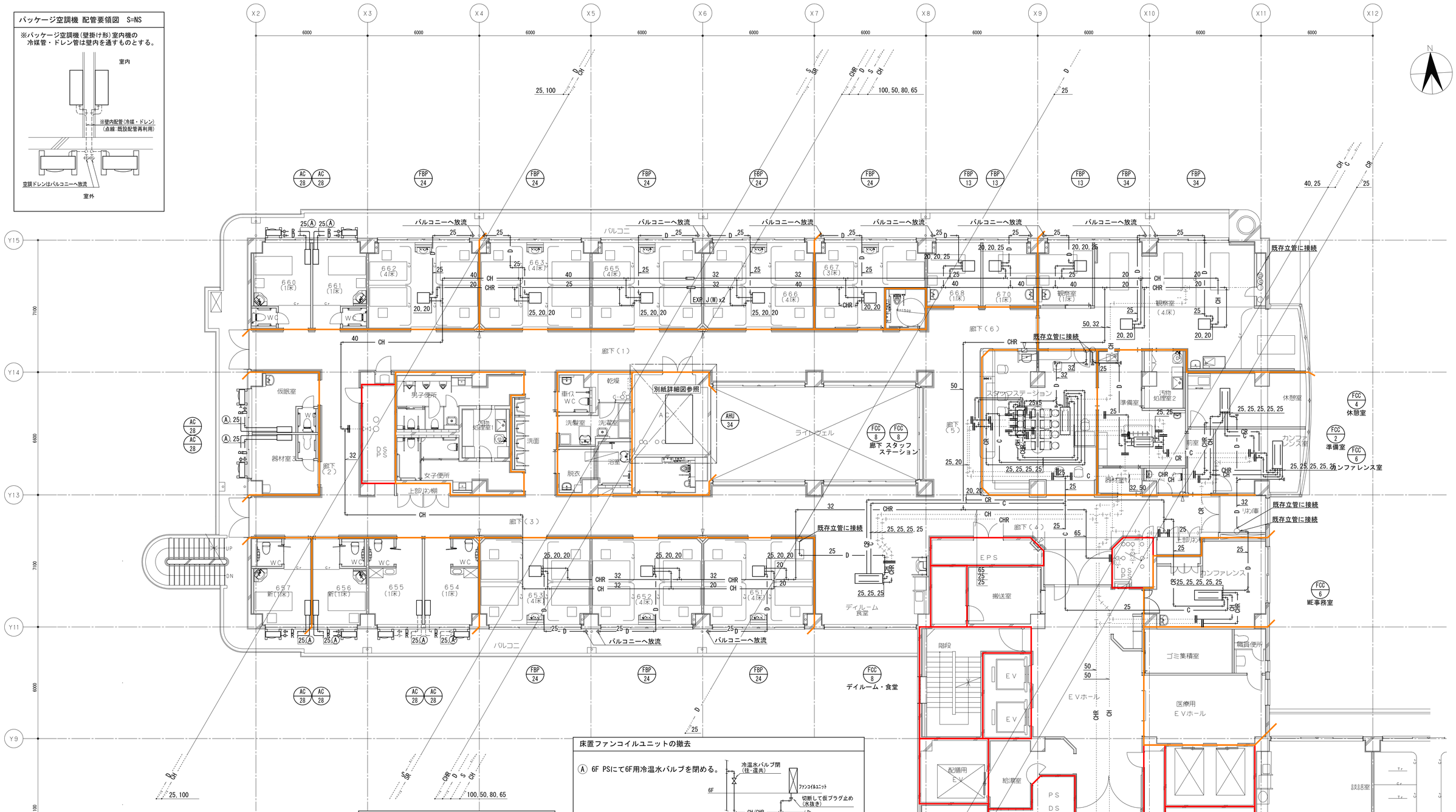
空調換気設備 配管5階平面図(改修)

2026.3
A1:1/100
A3:1/200

MA-024

パッケージ空調機 配管要領図 S=NS

※パッケージ空調機(壁掛け形)室内機の
冷媒管・ドレン管は壁内を通すものとする。



凡例

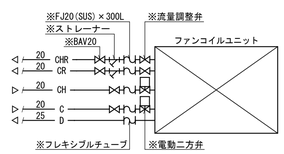
- 既設配管を示す。
- 新設配管を示す。
- 配管接続箇所を示す。

冷媒管サイズリスト (参考)

記号	液管	ガス管
Ⓐ	6.35φ	12.7φ

注記) 1. 室内機・室外機の渡り配線は冷媒配管共巻きとする。
2. 特記なき空調室内機接続ﾄﾞﾚﾝ管は25Aとする。
3. 特記なき限り天井配管を示す。
4. 既設再利用のCH・CHR・C・CR配管全ての保温やり替えを見込む。
5. 配管作業により天井下地撤去した場合、復旧は本工事で見込む。

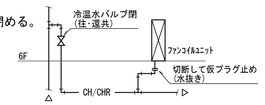
ファンコイルユニット廻り配管要領図



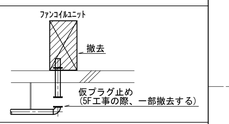
注1)※は、ファンコイルユニット付属を示す。
注2)C・CR配管はカセット形のみ(天井隠蔽形は2管式)
注3)特記なき限り配管サイズは上記の通りとする。

床置ファンコイルユニットの撤去

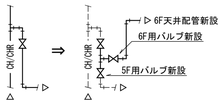
Ⓐ 6F PSにて6F用冷温水バルブを閉める。



Ⓑ 6F 床置ファンコイルユニット本体を撤去。
床置ファンコイルユニット用冷温水
(往・還・ドレン)配管を床面まで撤去
(床仕上が出来る様、モルタル押え)



Ⓒ 6F 天井隠蔽形ファンコイルユニット用に
冷温水配管とバルブを新設する。



区画凡例

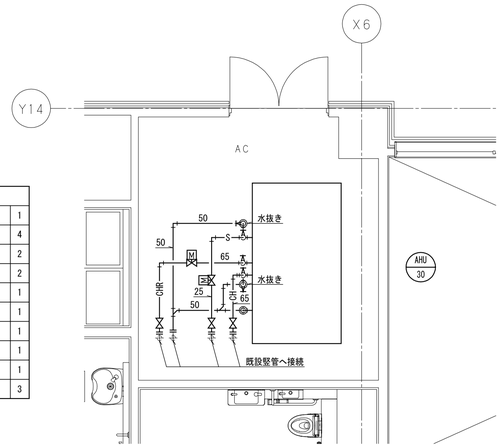
- 防火区画(竪穴区画 兼 面積区画)
- 防火上主要な間仕切壁(天井裏まで)

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録 第215902号
鮫島 慎一

鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3
空調換気設備 配管6階平面図(改修)	A1:1/100 A3:1/200

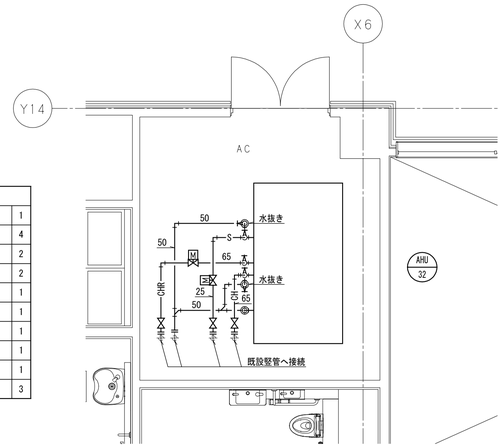
MA-025

AHU-30　外調機廻り		
冷温水	二方弁装置65	1
	BV65	4
	温度計	2
	圧力計	2
	瞬間流量計	1
	水抜きGV20	1
蒸気	二方弁装置25	1
	GV25	1
	水抜きGV20	1
ﾄﾞﾚﾝ	間接排水口100×50	3



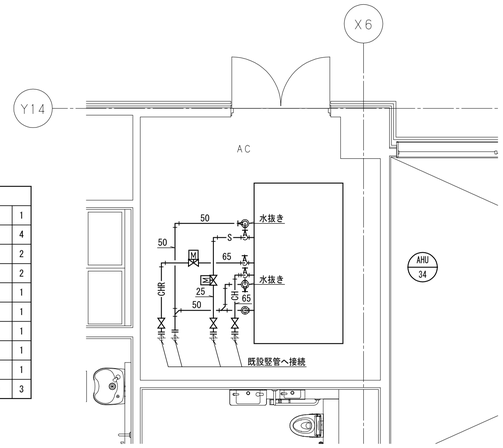
4階 AC廻り配管詳細図(AHU-30)

AHU-32　外調機廻り		
冷温水	二方弁装置65	1
	BV65	4
	温度計	2
	圧力計	2
	瞬間流量計	1
	水抜きGV20	1
蒸気	二方弁装置25	1
	GV25	1
	水抜きGV20	1
ﾄﾞﾚﾝ	間接排水口100×50	3



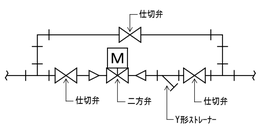
5階 AC廻り配管詳細図(AHU-32)

AHU-34　外調機廻り		
冷温水	二方弁装置65	1
	BV65	4
	温度計	2
	圧力計	2
	瞬間流量計	1
	水抜きGV20	1
蒸気	二方弁装置25	1
	GV25	1
	水抜きGV20	1
ﾄﾞﾚﾝ	間接排水口100×50	3

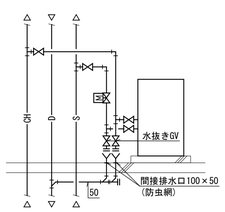


6階 AC廻り配管詳細図(AHU-34)

二方弁廻り要領図

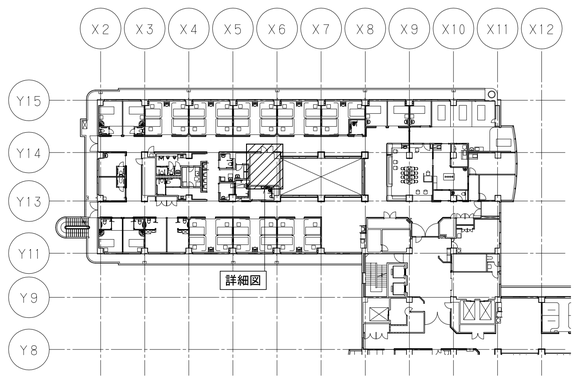


水抜きバルブ設置 要領図(外調機廻り)



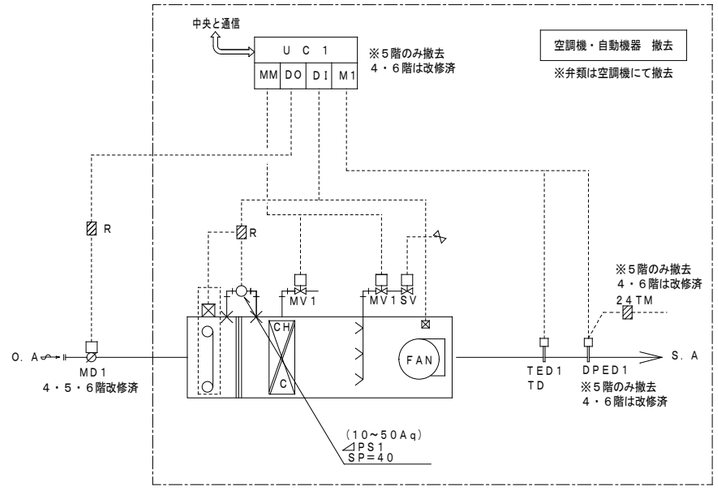
・バルブはメンテナンスしやすい高さ
（1m～1.5m程度）に設置すること。
・ドレンの間接排水口は、ドレン立管の
排水があふれないように設置すること。
・間接排水口は吐水口空間を確保すること。

キープラン　S=NS



現状

1　外気処理空調機制御　3 組



［給気温度制御］
給気温度により、冷温水二方弁を比例制御します。

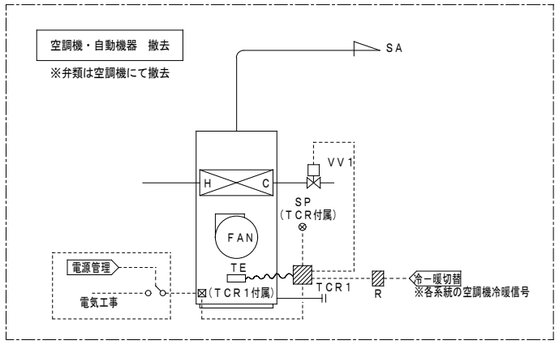
［湿度制御］
給気露点温度により、蒸気二方弁を比例制御します。

［ファンインターロック制御］
ファン停止時、二方弁、外気ダンパーを全閉にします。

［中央と通信］
冷ー暖切換、給気計測、給気設定、フィルター警報を表示します。

階	記　号	系　統	収納盤
4F	AHU−30	西病棟4F	CP−4−1（4M−1）
5F	AHU−32	西病棟5F	CP−5−1（5M−1）
6F	AHU−34	西病棟6F	CP−6−1（6M−1）

2　ファンコイル制御（1）　（床置）　54 組



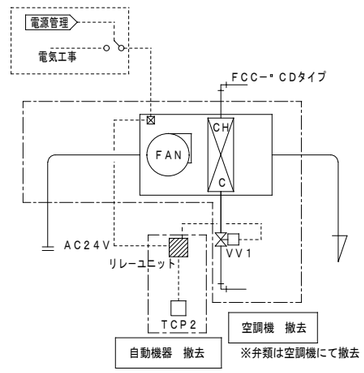
階	室　名	記　号
4F	460室	FCU3
	461室	FCU3
	462室	FCU6
	463室	FCU6
	465室	FCU6
	466室	FCU6
	467室	FCU6
	468室	FCU3
	470室	FCU3
	471室	FCU3
	472室	FCU3
	473室	FCU3
	458室	FCU6
	457室	FCU6
	456室	FCU6
	453室	FCU6
	452室	FCU6
	451室	FCU6
		18セット

階	室　名	記　号
5F	560室	FCU3
	561室	FCU3
	562室	FCU6
	563室	FCU6
	565室	FCU6
	566室	FCU6
	567室	FCU6
	568室	FCU3
	570室	FCU3
	571室	FCU3
	572室	FCU3
	573室	FCU3
	558室	FCU6
	557室	FCU6
	556室	FCU6
	553室	FCU6
	552室	FCU6
	551室	FCU6
		18セット

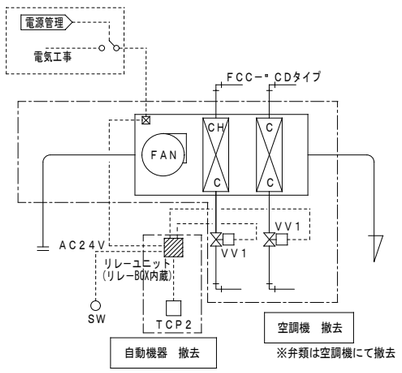
階	室　名	記　号
6F	660室	FCU3
	661室	FCU3
	662室	FCU6
	663室	FCU6
	665室	FCU6
	666室	FCU6
	667室	FCU6
	668室	FCU3
	670室	FCU3
	671室	FCU3
	672室	FCU3
	673室	FCU3
	658室	FCU6
	657室	FCU6
	656室	FCU6
	653室	FCU6
	652室	FCU6
	651室	FCU6
		18セット

3　ファンコイル制御（2）　（天吊）　30 組 → 21 組

【 FCU制御A 】



【 FCU制御B 】



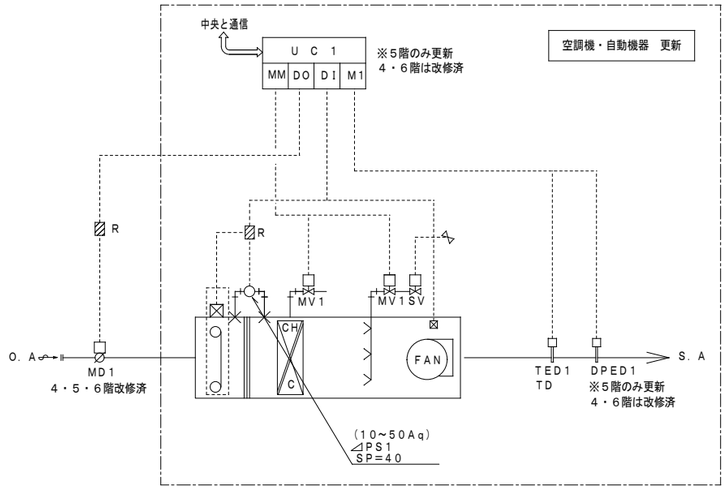
［温度制御］
室内温度にて冷水弁，温水弁をＯＮ−ＯＦＦ制御する。
但し，ファン停止時は各弁とも，全閉にする。

階	室　名	記　号	制 御
4F	カンファレンス室	FCC4	A
	NS休憩室	FCC6	A
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	475室	FCC6DR FCC6DR	B
	デイルーム	FCD8	A
	処置室	FCC2	A
	家族控室	FCC6	A
		10セット	

階	室　名	記　号	制 御
5F	カンファレンス室	FCC4	A
	NS休憩室	FCC6	A
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	575室	FCC6DR FCC6DR	B
	デイルーム	FCD8	A
	処置室	FCC2	A
	家族控室	FCC6	A
		10セット	

階	室　名	記　号	制 御
6F	カンファレンス室	FCC4	A
	NS休憩室	FCC6	A
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	スタッフステーション	FCC6DR	B
	675室	FCC6DR FCC6DR	B
	デイルーム食堂	FCD8	A
	処置室	FCC2	A
	家族控室	FCC6	A
		10セット	

改修後



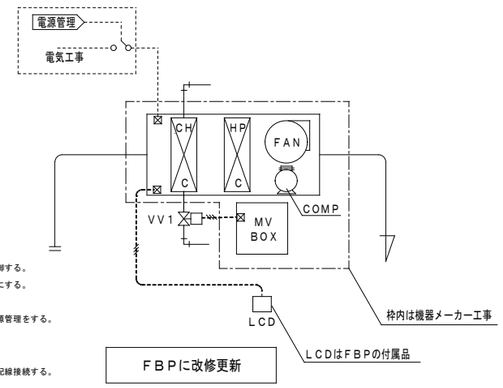
［給気温度制御］
給気温度により、冷温水二方弁を比例制御します。

［湿度制御］
給気露点温度により、蒸気二方弁を比例制御します。

［ファンインターロック制御］
ファン停止時、二方弁、外気ダンパーを全閉にします。

［中央と通信］
冷ー暖切換、給気計測、給気設定、フィルター警報を表示します。

階	記　号	系　統	収納盤
4F	AHU−30	西病棟4F	CP−4−1（4M−1）
5F	AHU−32	西病棟5F	CP−5−1（5M−1）
6F	AHU−34	西病棟6F	CP−6−1（6M−1）



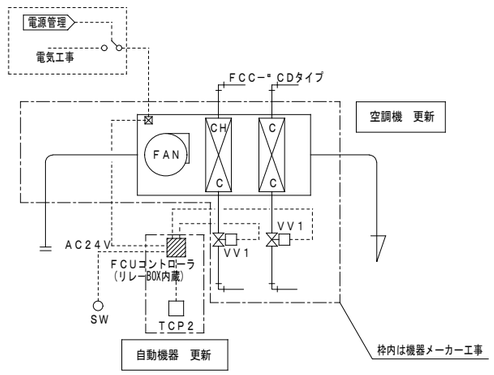
［温度制御］
室内温度にて冷水弁をＯＮ−ＯＦＦ制御する。
但し，ファン停止時は各弁とも，全閉にする。
［中央と通信］
各フロアのスタッフステーションで電源管理をする。
（5参照）
［VV1とMVの配線］
VV1（1φ100V）とMVは自動制御工事で配線接続する。

FBPに改修更新

階	現状室名	改修後室名	記　号
4F	462室	462室	FBP24
	463室	463室	FBP24
	465室	465室	FBP24
	466室	466室	FBP24
	467室	467室	FBP24
	468室	468室	FBP13
	470室	470室	FBP13
	471室	観察室	FBP13
	472室	観察室	FBP39
	473室	観察室	FBP39
	453室	453室	FBP24
	452室	452室	FBP24
	451室	451室	FBP24
			13セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
5F	562室	562室	FBP24
	563室	563室	FBP24
	565室	565室	FBP24
	566室	566室	FBP24
	567室	567室	FBP24
	568室	568室	FBP13
	570室	570室	FBP13
	571室	観察室	FBP13
	572室	観察室	FBP39
	573室	観察室	FBP39
	553室	553室	FBP24
	552室	552室	FBP24
	551室	551室	FBP24
			13セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
6F	662室	662室	FBP24
	663室	663室	FBP24
	665室	665室	FBP24
	666室	666室	FBP24
	667室	667室	FBP24
	668室	668室	FBP13
	670室	670室	FBP13
	671室	観察室	FBP13
	672室	観察室	FBP39
	673室	観察室	FBP39
	653室	653室	FBP24
	652室	652室	FBP24
	651室	651室	FBP24
			13セット



［温度制御］
室内温度にて冷水弁，温水弁をＯＮ−ＯＦＦ制御する。
但し，ファン停止時は各弁とも，全閉にする。
すべての系統を4管式（ＦＣＵ制御Ｂ）とする。

階	現状室名	改修後室名	記　号
4F	カンファレンス室	−	−
	NS休憩室	−	−
	デイルーム	デイルーム	FCC6DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC6DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC6DR
	スタッフステーション	準備室	FCC3DR
	475室	休憩室	FCC4DR
		カンファレンス室	FCC6DR
	処置室	−	−
	家族控室	ME事務室	FCC6DR
			7セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
5F	カンファレンス室	−	−
	NS休憩室	−	−
	デイルーム	デイルーム	FCC6DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC6DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC6DR
	スタッフステーション	準備室	FCC3DR
	575室	休憩室	FCC4DR
		カンファレンス室	FCC6DR
	処置室	−	−
	家族控室	カンファレンス	FCC6DR
			7セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
6F	カンファレンス室	−	−
	NS休憩室	−	−
	デイルーム食堂	デイルーム食堂	FCC8DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC8DR
	スタッフステーション	スタッフステーション	FCC8DR
	スタッフステーション	準備室	FCC3DR
	675室	休憩室	FCC4DR
		カンファレンス室	FCC6DR
	処置室	−	−
	家族控室	カンファレンス	FCC6DR
			7セット

株式会社 横河建築設計事務所
YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.
一級建築士登録　第215902号
鮫　島　慎　一

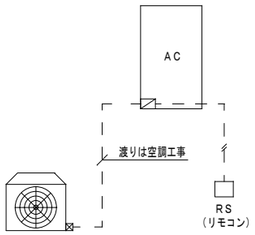
鳥取市立病院西病棟改修工事

空調換気設備　自動制御　計装図（1）

2026.3
A1:−
A3:−

MA − 027

4	エアコン廻り配線工事（ＦＣＵ→ＡＣ改修更新）	２４　組

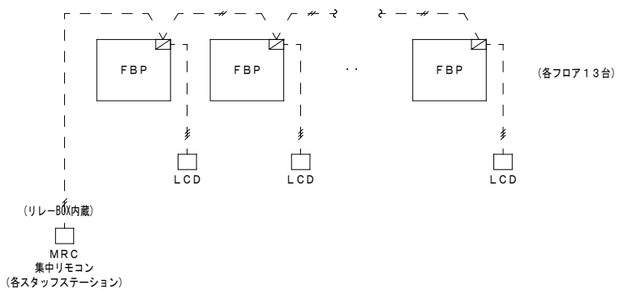


階	現状室名	改修後室名	記　号
4F	460室	460室	AC28
	461室	461室	AC28
	458室	仮眠室	AC28
	457室	機材室3	AC28
	456室	457室	AC28
		456室	AC28
	455室	455室	AC28
	454室	454室	AC28
			8セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
5F	560室	560室	AC28
	561室	561室	AC28
	558室	仮眠室	AC28
	557室	機材室3	AC28
	556室	557室	AC28
		556室	AC28
	555室	555室	AC28
		554室	AC28
			8セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
6F	660室	660室	AC28
	661室	661室	AC28
	658室	仮眠室	AC28
	657室	機材室3	AC28
	656室	657室	AC28
		656室	AC28
	655室	655室	AC28
		654室	AC28
			8セット

5	ヒートポンプＦＣＵ廻り配線工事（ＦＣＵ→ＦＢＰ改修更新）	３　組



階	現状室名	改修後室名	記　号
4F	462室	462室	FBP24
	463室	463室	FBP24
	465室	465室	FBP24
	466室	466室	FBP24
	467室	467室	FBP24
	468室	468室	FBP13
	470室	470室	FBP13
	471室	観察室	FBP13
	472室	観察室	FBP39
	473室	観察室	FBP39
	453室	453室	FBP24
	452室	452室	FBP24
	451室	451室	FBP24
			13セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
5F	562室	562室	FBP24
	563室	563室	FBP24
	565室	565室	FBP24
	566室	566室	FBP24
	567室	567室	FBP24
	568室	568室	FBP13
	570室	570室	FBP13
	571室	観察室	FBP13
	572室	観察室	FBP39
	573室	観察室	FBP39
	553室	553室	FBP24
	552室	552室	FBP24
	551室	551室	FBP24
			13セット

階	現状室名	改修後室名	記　号
6F	662室	662室	FBP24
	663室	663室	FBP24
	665室	665室	FBP24
	666室	666室	FBP24
	667室	667室	FBP24
	668室	668室	FBP13
	670室	670室	FBP13
	671室	観察室	FBP13
	672室	観察室	FBP39
	673室	観察室	FBP39
	653室	653室	FBP24
	652室	652室	FBP24
	651室	651室	FBP24
			13セット

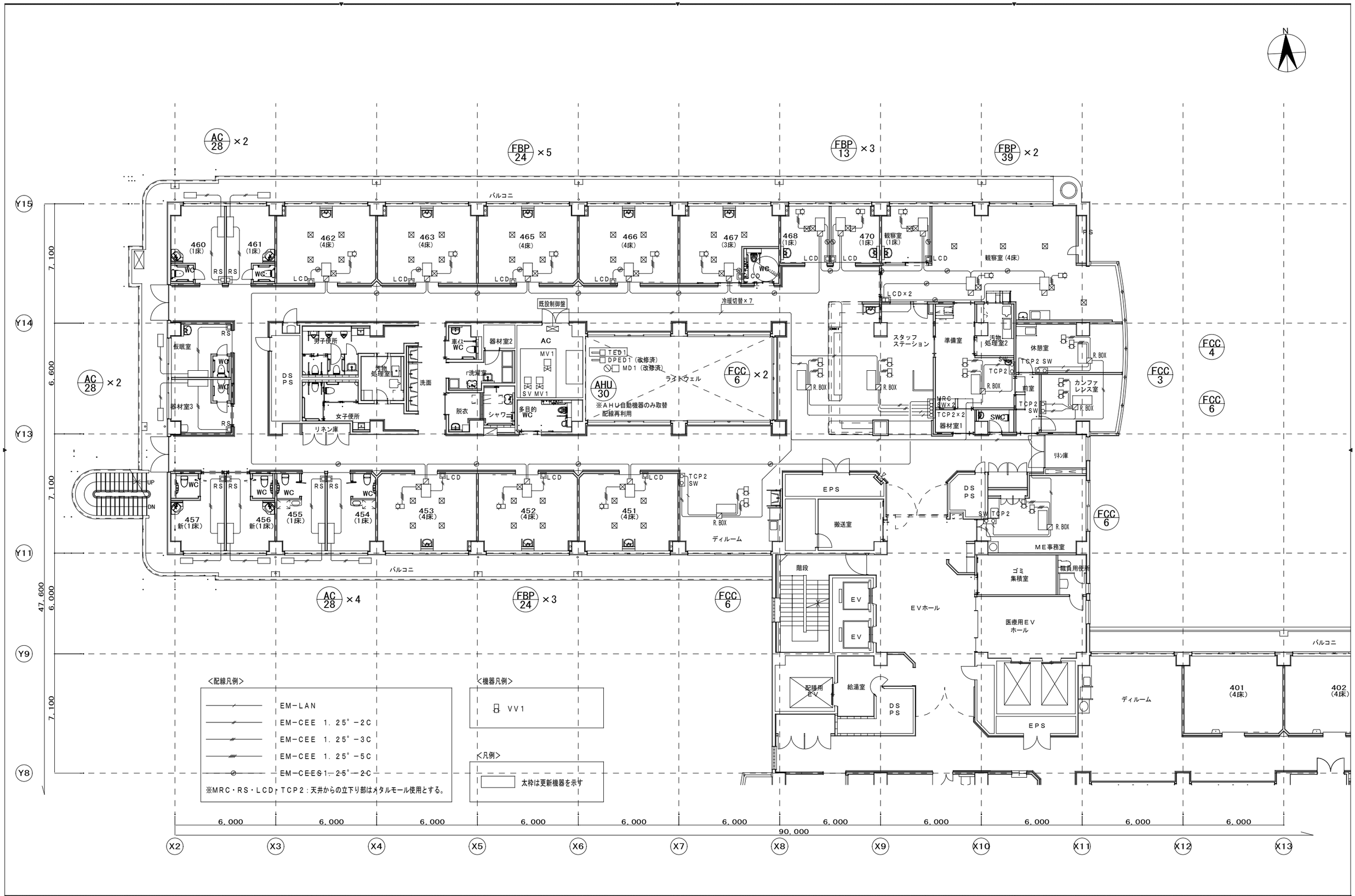
6	自動制御機器一覧表

記　号	名　称	型　番	備　考
TED1	挿入型温度センサ	TY7803Z	
DPED1	ダクト用露点温度センサ	HY7905T → HTY7905T	５階のみ更新（４・６階改修済）
MV1	電動二方弁	VY5110J	
SV	電磁弁	N−15S ， N−20S	
VV1	電動二方ボール弁	VY6202A	
TE	ＴＣＲ付属品		
SP	ＴＣＲ付属品		
TCR1	温度調節器	TY7600A → QY7215A	
TCP2	温度調節器	TY7600A → QY7215A	
UC1	汎用コントローラ	WY7111A → WY5111W	５階のみ更新（４・６階改修済）
24TM	タイマー	TSE−1D	５階のみ撤去（４・６階改修済）
	リレーユニット	リレーユニット→FCUコントローラWJ-1202W	リレーＢＯＸに内蔵
R	補助リレー	MY4N	
RS	リモコンスイッチ	エアコン付属品	
LCD	リモコンスイッチ	メーカー品	
MVBOX	モータバルブボックス	メーカー品	
MRC	集中リモコン	メーカー品	
SW	強制冷房切替用スイッチ	既製品	

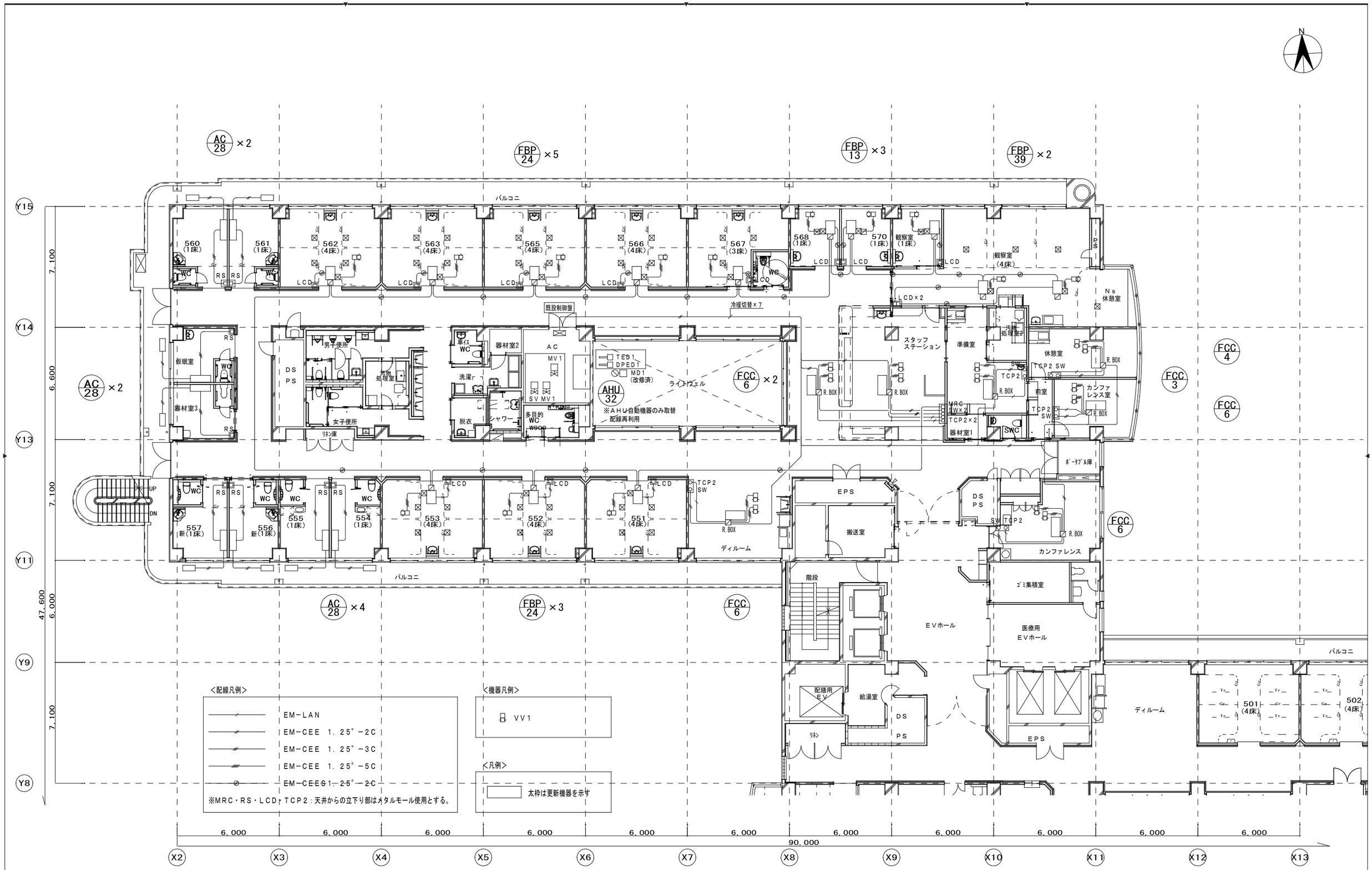
株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一		鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－029
				空調換気設備 自動制御 4階平面図（撤去）	A1:1/100 A3:1/200	

横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一		鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－030
				空調換気設備 自動制御 5階平面図（撤去）	A1:1/100 A3:1/200	

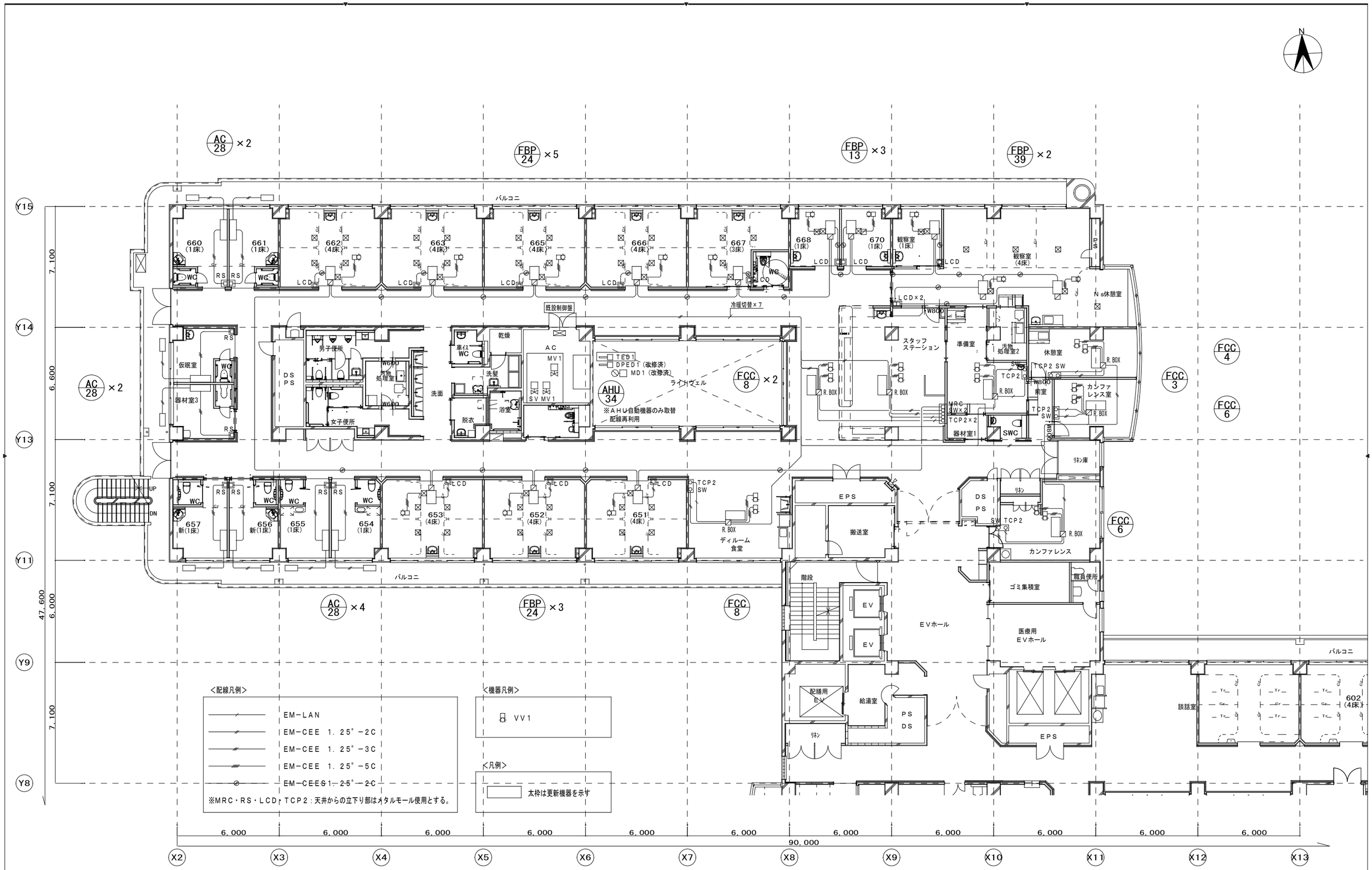
横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.				一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－031
							空調換気設備 自動制御 6階平面図（撤去）	A1:1/100 A3:1/200	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－032
					空調換気設備 自動制御 4階平面図（改修）	A1:1/100 A3:1/200	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一			鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－033
					空調換気設備 自動制御 5階平面図（改修）	A1:1/100 A3:1/200	



株式会社 横河建築設計事務所 YOKOGAWA Architects & Engineers, Inc.		一級建築士登録 第215902号 鮫島 慎一		鳥取市立病院西病棟改修工事	2026.3	MA－034
				空調換気設備 自動制御 6階平面図（改修）	A1:1/100 A3:1/200	